

科学技術に関する国民意識調査  
ー新型コロナウイルス感染症の  
ワクチン接種についてー

2021 年 9 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第 1 調査研究グループ

細坪護拳 加納圭 星野利彦

本 DISCUSSION PAPER は、所内での討論に用いるとともに、関係の方々からの御意見を頂くことを目的に作成したものである。

また、本 DISCUSSION PAPER の内容は、執筆者の見解に基づいてまとめられたものであり、必ずしも機関の公式の見解を示すものではないことに留意されたい。

The DISCUSSION PAPER series are published for discussion within the National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) as well as receiving comments from the community.

It should be noticed that the opinions in this DISCUSSION PAPER are the sole responsibility of the author(s) and do not necessarily reflect the official views of NISTEP.

#### 【調査研究体制】

細坪護拳	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官
加納 圭	科学技術・学術政策研究所 客員研究官 滋賀大学教育学部教授
星野利彦	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 総括上席研究官

#### 【Contributors】

HOSOTSUBO Moritaka Senior Research Fellow,  
1st Policy-Oriented Research Group,  
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT.

KANO Kei Affiliated Fellow, NISTEP, MEXT  
Professor, Department of Education, Shiga University

HOSHINO Toshihiko Director, 1st Policy-Oriented Research Group,  
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

本報告書の引用を行う際には、以下を参考に出典を明記願います。  
Please specify reference as the following example when citing this paper.

細坪護拳, 加納圭, 星野利彦, 「科学技術に関する国民意識調査－新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について－」, *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.201, 文部科学省科学技術・学術政策研究所. DOI: <https://doi.org/10.15108/dp201>

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and HOSHINO Toshihiko, “Public Attitudes to Science and Technology – About vaccination of new coronavirus infection –” *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.201, National Institute of Science and Technology Policy, Tokyo.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp201>

# 科学技術に関する国民意識調査－新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について－

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

細坪護孝 加納圭 星野利彦

## 要旨

今般の調査は、特に新型コロナウイルスのワクチン接種を契機とした科学や科学者への信頼感に対する影響を把握することを目的としたものである。

このため2021年6月、インターネット調査を行った結果、新型コロナウイルスのワクチン接種について、「今後(継続的に摂取することになった場合)」では69%が(どちらかという)接種しようと思うと考えており、ワクチン接種を継続することについて一定の理解がみられた。また、将来接種したいワクチンとして、「外国産でも国産でも構わない」が37%の一方、「(どちらかという)国産がよいと思う」は58%と過半数を占めており、国産ワクチンへの期待は高いことが分かった。

主題に立ち返ると、機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思うかどうか尋ねたところ、(できれば)聞いてみたい、が63%を占め、過半数となった。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、昨今のTVや新聞で専門家による意見等が紹介されてはいるが、さらなる情報提供が求められていることが分かった。また、ワクチンに関する情報源への信頼感、公的研究機関(75%)、科学者(74%)、新聞(電子版を含む)が74%と高かった。

## Public Attitudes to Science and Technology - About vaccination of new coronavirus infection -

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and HOSHINO Toshihiko

1st Policy-Oriented Research Group, National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

## ABSTRACT

Our research this time is aimed at understanding the impact of vaccination with the new coronavirus on science and confidence in scientists.

As a result of an internet survey conducted in June 2021, 69% in the "future(continuously)" are willing to (rather) inoculate, and there was some understanding of continuing vaccination. In addition, 37% of the respondents said that they would like to inoculate a vaccine in the future, either foreign or domestic, while 58% of the respondents think that domestic vaccine is better. It became clear that expectations for the vaccine were rising.

To return from the digression, when asked if they would like to hear from scientists and technicians about vaccines for coronavirus infections, if they had the opportunity, 63% said they would (if possible), with a majority. Although the opinions of experts have been introduced on recent TV and newspapers regarding vaccination against the new coronavirus infection, it was found that further information is required. In addition, trust in information sources on vaccines was high at 75% for public research institutes, 74% for scientists, and 74% for newspapers (including electronic versions).

## 目次

概要	i ~ x ix
1. はじめに	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間及び調査方法	1
(3) 調査時点	1
(4) 調査項目	1
3. 調査結果	
(1) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の概要について回答された割合	1
(2) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する情報について回答された割合	8
(3) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する施策について回答された割合	12
(4) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種以外の科学技術政策に関する変量について回答された割合	20
4. おわりに	37
5. 参考文献	37
インターネット調査質問票その 1	39
インターネット調査質問票その 2	63



## 【概要】

### (1)はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2021 年度調査(2021 年 6 月及び 7 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 3,000 人にインターネットを使って調査したものである。

### (2)調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

#### 1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

#### 2)調査期間及び調査方法

2021 年 6 月及び 7 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=3,000(2 社×1,500)で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数、10 代から 60 代まで各年代で同数とした。

#### 3)調査時点

2021 年 6 月 28 日から 7 月 2 日にかけて実施した。

#### 4)調査項目

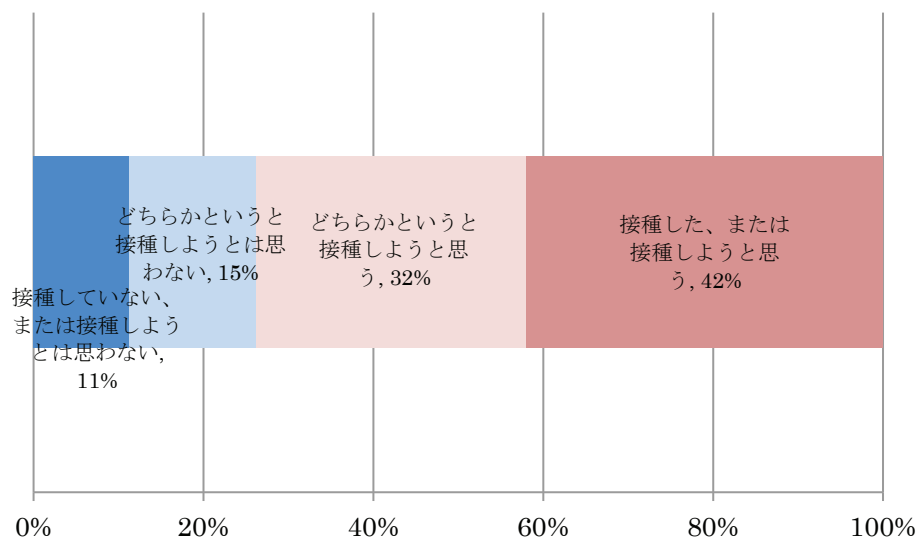
今般の調査は、特に新型コロナウイルスのワクチン接種を契機とした科学や科学者への信頼感に対する影響を把握することが目的である。

また、回答者には、居住している都道府県、学校での専攻分野、子どもの有無、科学技術に関するニュースや話題への関心の有無などの個人の属性・意識についてもたずねた。

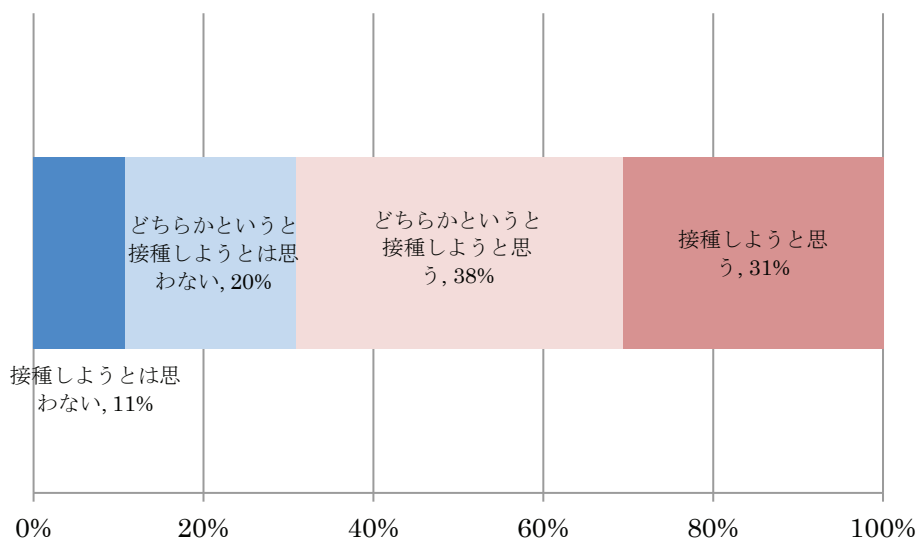
### (3)調査結果の概要

概要では、調査結果のうち、新型コロナウイルスのワクチン接種に関する主な結果について示す。

## 1) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の概要について回答された割合



概要図表 1-1 現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いますか



概要図表 2-1 今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか

新型コロナウイルスのワクチン接種の希望について、伺ったところ、「現在」(概要図表 1-1)と「今後(継続的に摂取することになった場合)」(概要図表 2-1)で希望に少し差が見られた。「現在」では 74%が(どちらかという)接種しようと思う、と回答したに反して、「今後(継続的に摂取することになった場合)」では 69%が(どちらかという)接種しようと思うと考えており、ワクチン接種の継続について一定の理解がみられた。

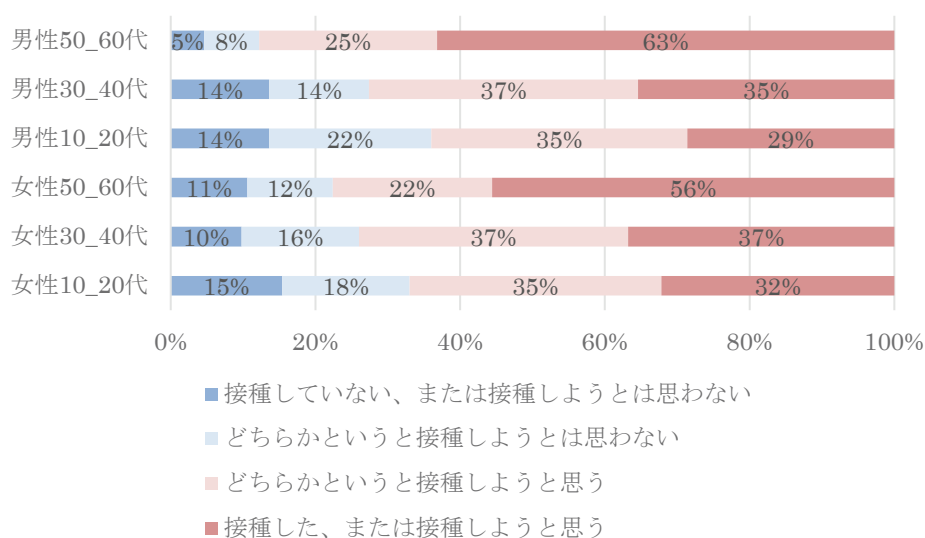
概要図表 1-1 と概要図表 2-1 から、ワクチンの接種希望者の割合が少ないのではないかという見方があることに対しては、ワクチンというものが重要であっても不安全であるという意見が日本では強く、2016 年の 67 か国のサーベイ論文<sup>[1]</sup>では 1 位のフランス、2 位のボスニアヘルツェゴビナに次いで 3 位が日本と極めて高くなっている。

また、経済産業研究所 (RIETI) の研究グループが行った先行研究<sup>[2]</sup>では 2021 年 4 月 23 日～5 月 6 日にインターネット調査を行っており、接種しなかった人々を分母として、それぞれの回答を分子とすると、「接種するつもり」は 60.9%で、「まだ決めていない」が 30.1%、「接種しないつもり」が 9.0%だった。この RIETI の研究結果は、本稿の概要図表 1-1 及び概要図表 1-2 と矛盾しないと考えられる。

さらに、国立精神・神経医療研究センター (NCNP) が行った先行研究<sup>[3]</sup>では 2021 年 2 月に 2 万 6000 人を対象にインターネット調査を行い、接種したくないと答えた人は、15～39 歳の女性で 15.6%、同男性で 14.2%と全年齢平均の 11.3%より高かったことが分かった。NCNP の調査は、本稿の概要図表 1-1 及び概要図表 1-2 と比べ、全体的に数値が低めであるが、NCNP の調査の回答選択肢が肯定否定で対照とはなっていない(ワクチン接種希望者(「接種したい」「様子を見てから接種したい」)、ワクチン忌避者(「接種したくない」))点に留意する必要がある。

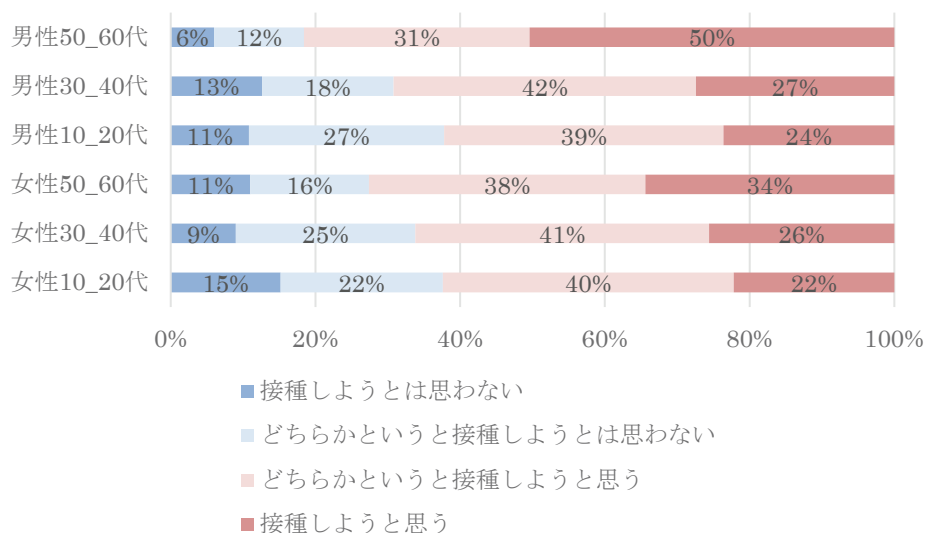
他方、ニッセイ基礎研究所<sup>[4]</sup>は、全国の 20～69 歳の男女(調査会社のモニタ)を対象とする WEB 調査を 2021 年 3 月 26 日～29 日に実施し、2,070 人から回答を得た「第 4 回新型コロナウイルスによる暮らしの変化に関する調査」を実施した。この調査では、およそ半数の 51.2%がしばらく様子を見ることを希望しており、「あまり接種したくない(15.9%)」「絶対に接種したくない(7.5%)」などのすぐには接種を希望していない人は 23.4%と高い数値となっていた。

加えて、東京感染症対策センター(東京 iCDC)専門家ボードのリスクコミュニケーションチーム<sup>[5]</sup>では、7 月 16、17 日に、都内在住の 20～70 代の男女 1 千人からインターネットで回答を得た。その結果、「おそらく接種しない」と「絶対に接種しない」を合わせた割合は、20 代男女でそれぞれ 19.0%、18.8%。30 代男女は 16.7%と 19.1%。50 代男性(12.1%)や 40 代女性(10.5%)など、若年層では 40 代以上の年代と比べてワクチンに否定的な傾向が見られた。



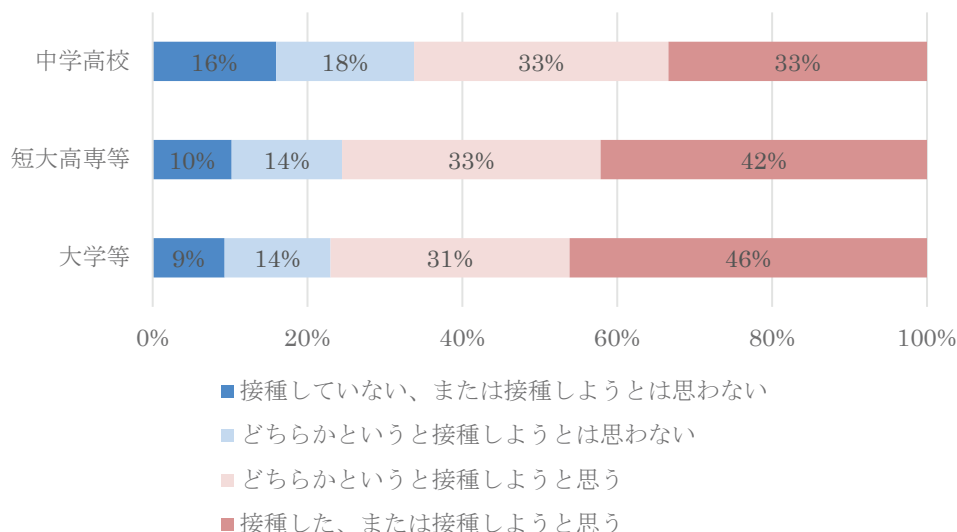
概要図表 1-2 現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種

に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いますか(性別×年代別)

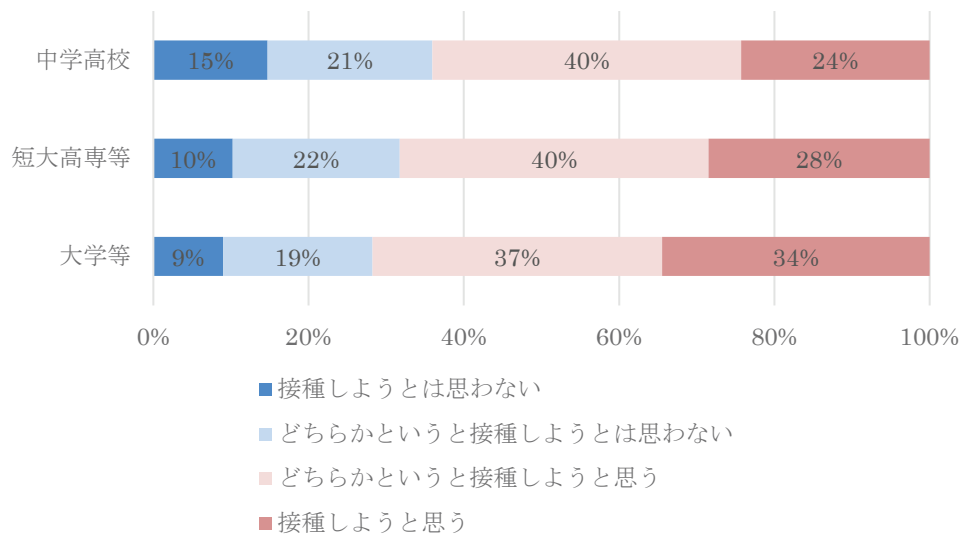


概要図表 2-2 今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか(性別×年代別)

回答を性別と年代別で集計したところ、概要図表 1-2 と概要図表 2-2 の結果が得られた。ここからどの年齢も総じて接種意向が高いことが分かった。

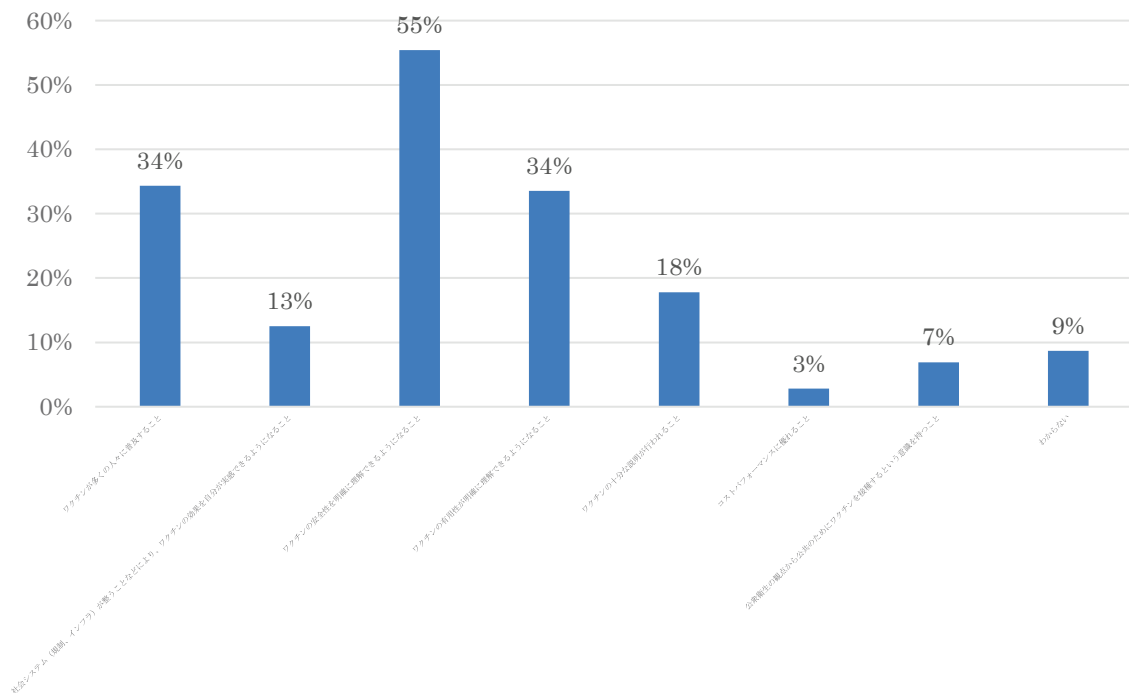


概要図表 1-3 現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いますか(最終学歴別)



概要図表 2-3 今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか(最終学歴別)

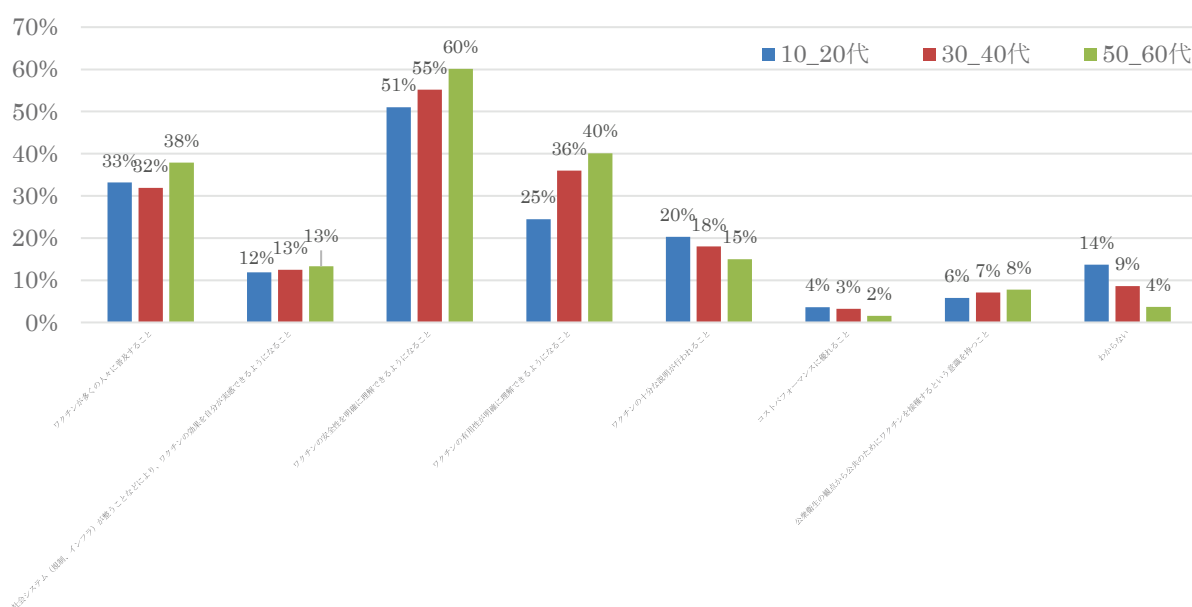
最終学歴別の集計では概要図表 1-3 及び概要図表 2-3 となり、中学・高校卒業者より大卒等の方がワクチンを接種しようと思っていることが分かった。概要図表 1-1 と概要図表 1-2 の結果も合わせて考察されることとしては、若年層にわかりやすく情報を提供するとともに、自ら考える力を涵養することで、強制ではなく、自己判断できるようにしていくことが重要と考えられる。



概要図表 3-1 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、どの

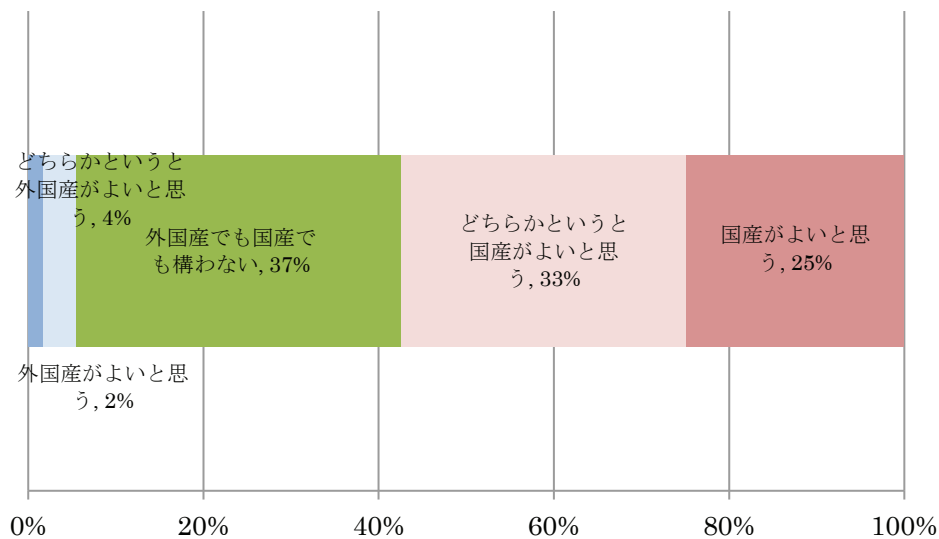
## ようなことが必要と考えますか

加えて、あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用の際には、どのようなことが必要と考えるか訊いたところ（概要図表 3-1）、ワクチンの安全性を明確に理解できるようになることが 55%と過半数を占めている。また、ワクチンが多くの人々に普及すること、ワクチンの有用性が明確に理解できるようになること（ともに 34%）がそれに次いでいる。逆に、コストパフォーマンスに優れること（3%）、公衆衛生の観点から公共のためにワクチンを接種するという意識を持つこと（7%）は低くなっている。特に後者に関しては、「ワクチンが有効であり、かつ接種を受けることについての選択の自由が本人または保護者にあるならば、多少の副反応があっても社会にとっての有用性は大きい」という論理との関連性が高い。この論理は世界的には受け入れられているが、わが国においては事実上認められていないという指摘<sup>[6]</sup>と整合性がある。



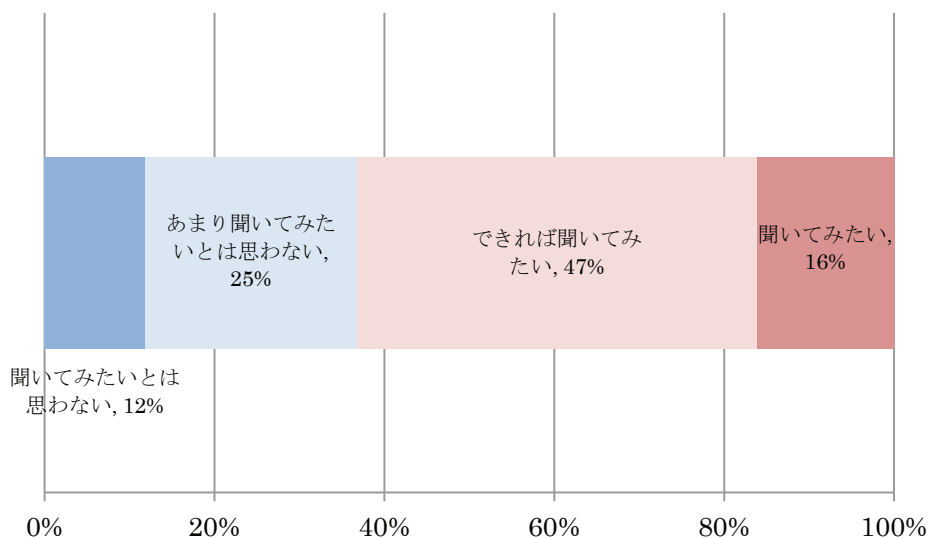
概要図表 3-2 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか（年代別）

また、回答を年代別に整理すると概要図表 3-2 となり、年代が高くなるにつれて、ワクチンの安全性に理解を示しており、ワクチンの有用性への理解も年代が高くなるにつれて高くなっていることが分かった。



概要図表 4 将来、あなたはどのような新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種したいと思いますか

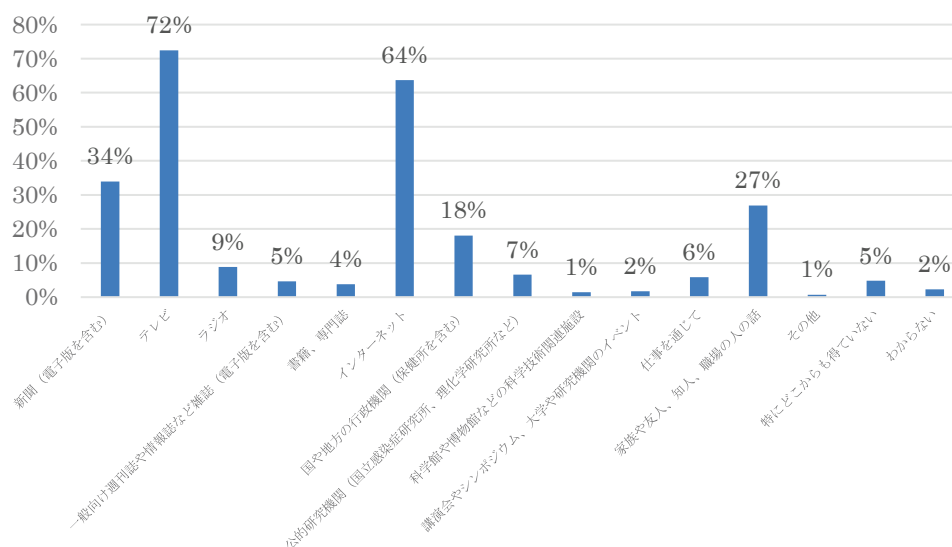
また、将来接種したいワクチンとして、「外国産でも国産でも構わない」が 37%である一方、(どちらかというとも)国産がよいと思う人は 58%と過半数を占めており(概要図表 4)、国産のワクチンへの期待が高まっている状況が明らかとなった。



概要図表 5 あなたは、機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか

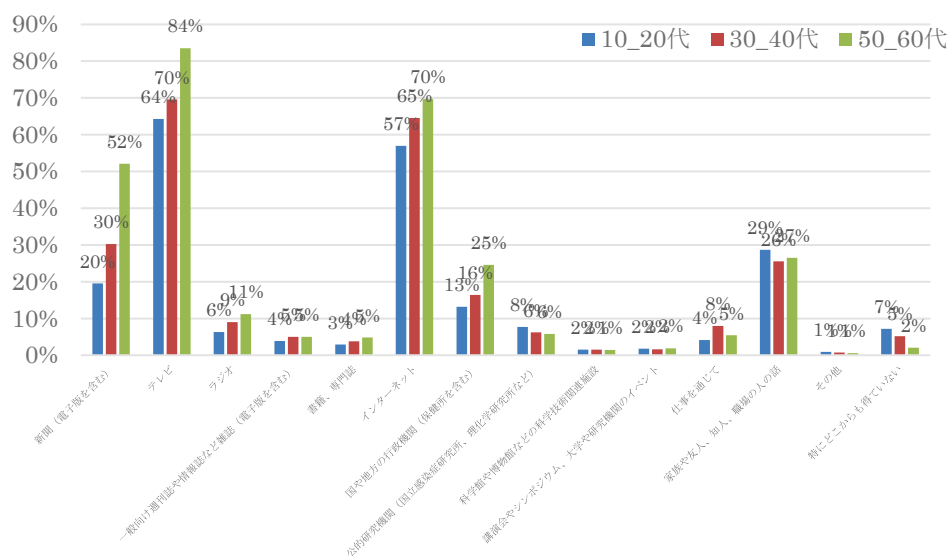
機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思うかでは、「(できれば)聞いてみたい」が 63%と過半数を占め、昨今 TV や新聞で専門家の意見等が紹介されてはいるが、さらなる情報提供が求められていることが分かった。

## 2) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する情報について回答された割合



概要図表 6-1 普段、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報をどこから得ていますか、又は得ようと思いますか

新型コロナウイルスのワクチンに関する情報源(概要図表 6)はテレビ(72%)やインターネット(64%)が他の選択肢より圧倒的に高い。

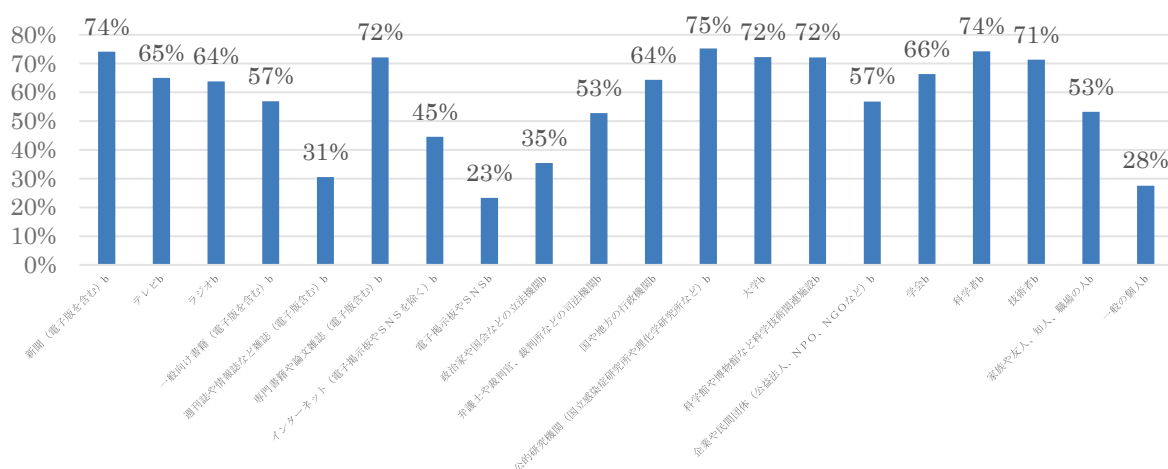


概要図表 6-2 普段、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報をどこから得ていますか、又は得ようと思いますか(年代別)

年代別で調べると概要図表 6-2 となり、年代が高くなるにつれ、使用頻度が高まることが分かつ

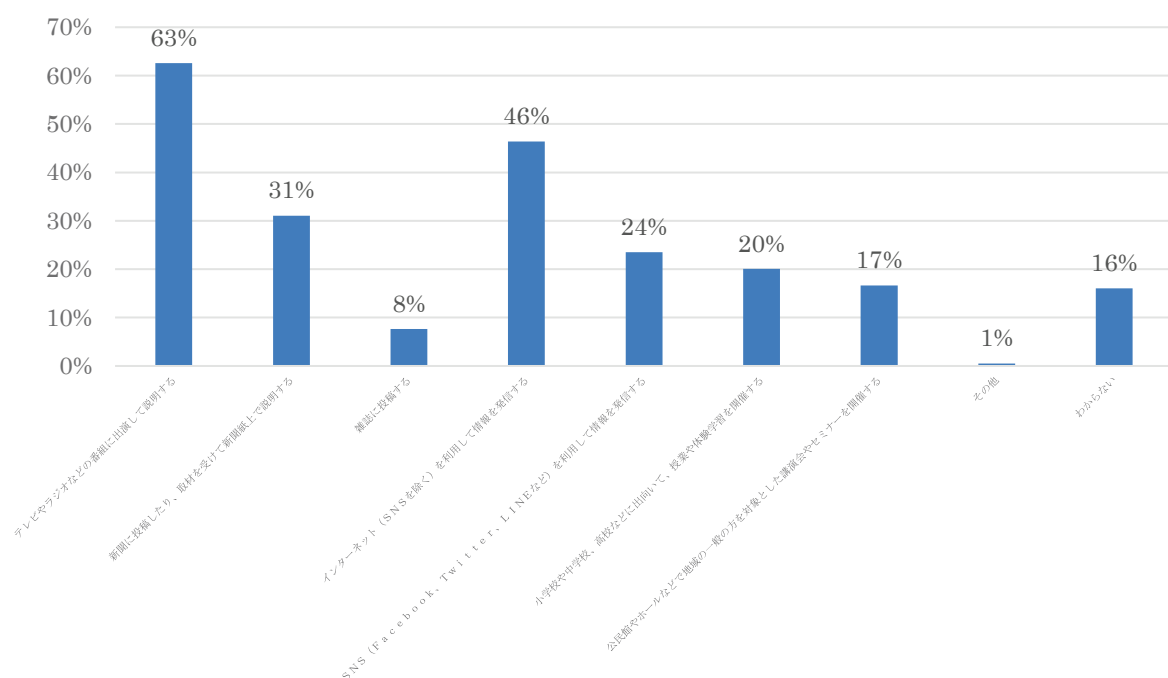


た。特に新聞（電子版を含む）についてはその傾向が顕著であることも分かった。



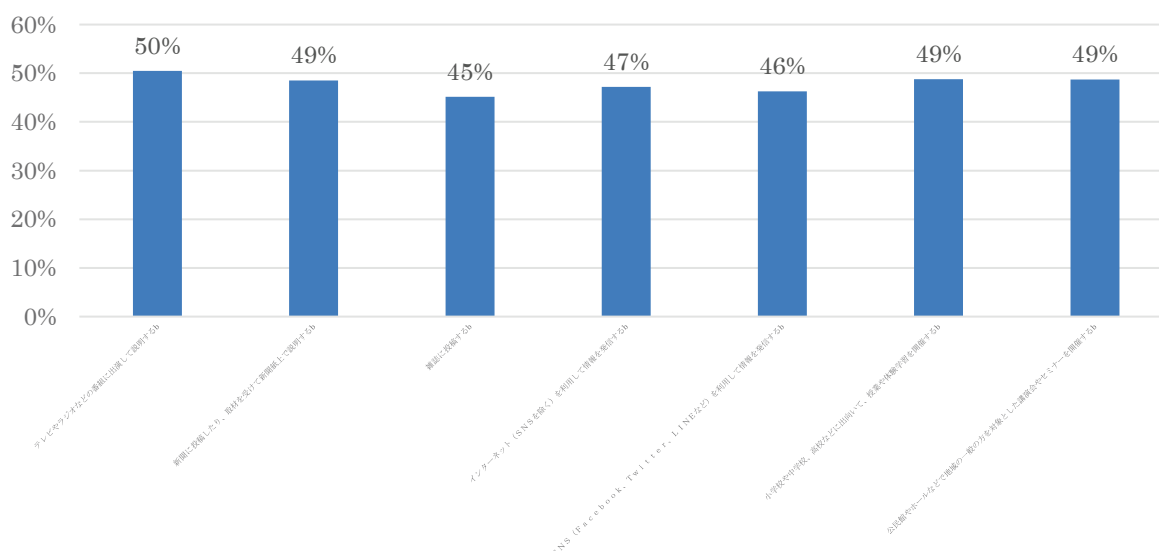
概要図表 7 新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報の発信媒体、発信組織、発信者などの情報源について、どの程度信頼できますか

一方、これらの情報源に対してどの程度信頼されているのかを見ると(概要図表 7) 公的研究機関(75%)、科学者(74%)、新聞(電子版を含む)が 74%等と高くなっている。



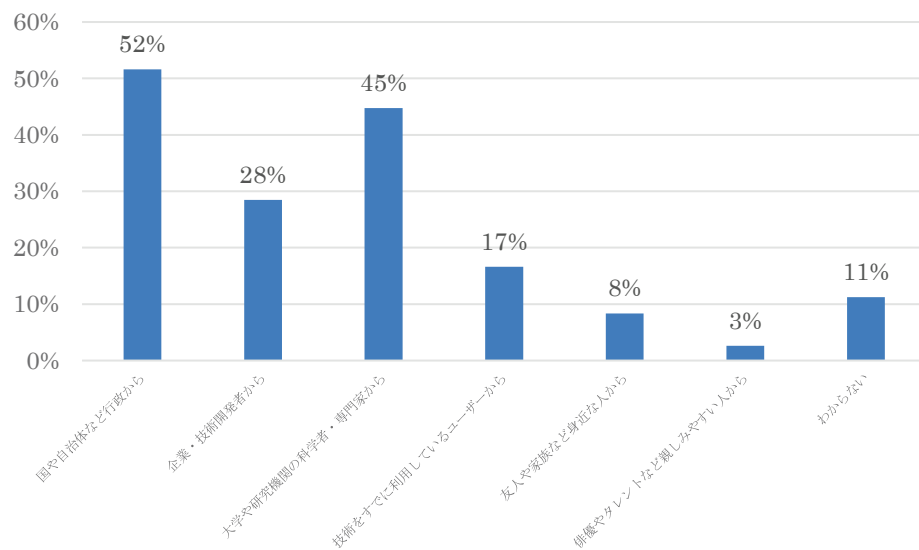
概要図表 8 科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、どのような方法でそのような活動を促進したらよいと思いますか

また、科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、どのような方法でそのような活動を促進したらよいと思うか訊いたところ概要図表 8 となり、テレビやラジオなどの番組に出演して説明する(63%)、インターネット(SNS を除く)を利用して情報を発信する(46%)などで高くなっている。



**概要図表 9 科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、以下の方法について、どの程度信頼できますか**

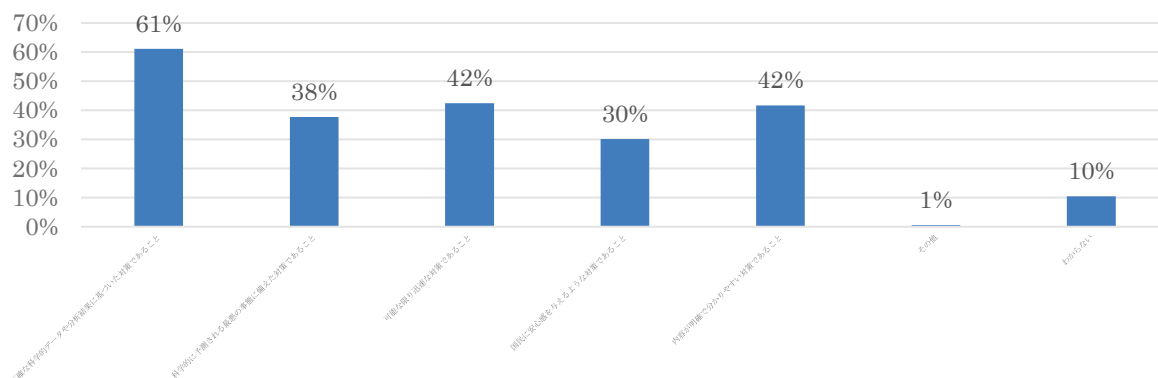
他方、科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、以下の方法について、どの程度信頼できるか訊いたところ(概要図表 9)、選択肢間で大きな差はなく、テレビやラジオなどの番組に出演して説明する(50%)、新聞に投稿したり、取材を受けて新聞紙上で説明する(49%)、小学校や中学校、高校などに出向いて、授業や体験学習を開催する(49%)、公民館やホールなどで地域の一般の方を対象とした講演会やセミナーを開催する(49%)などが続いている。最も低い雑誌に投稿する(45%)と最高値の差は 5 ポイントしかない。



**概要図表 10 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか**

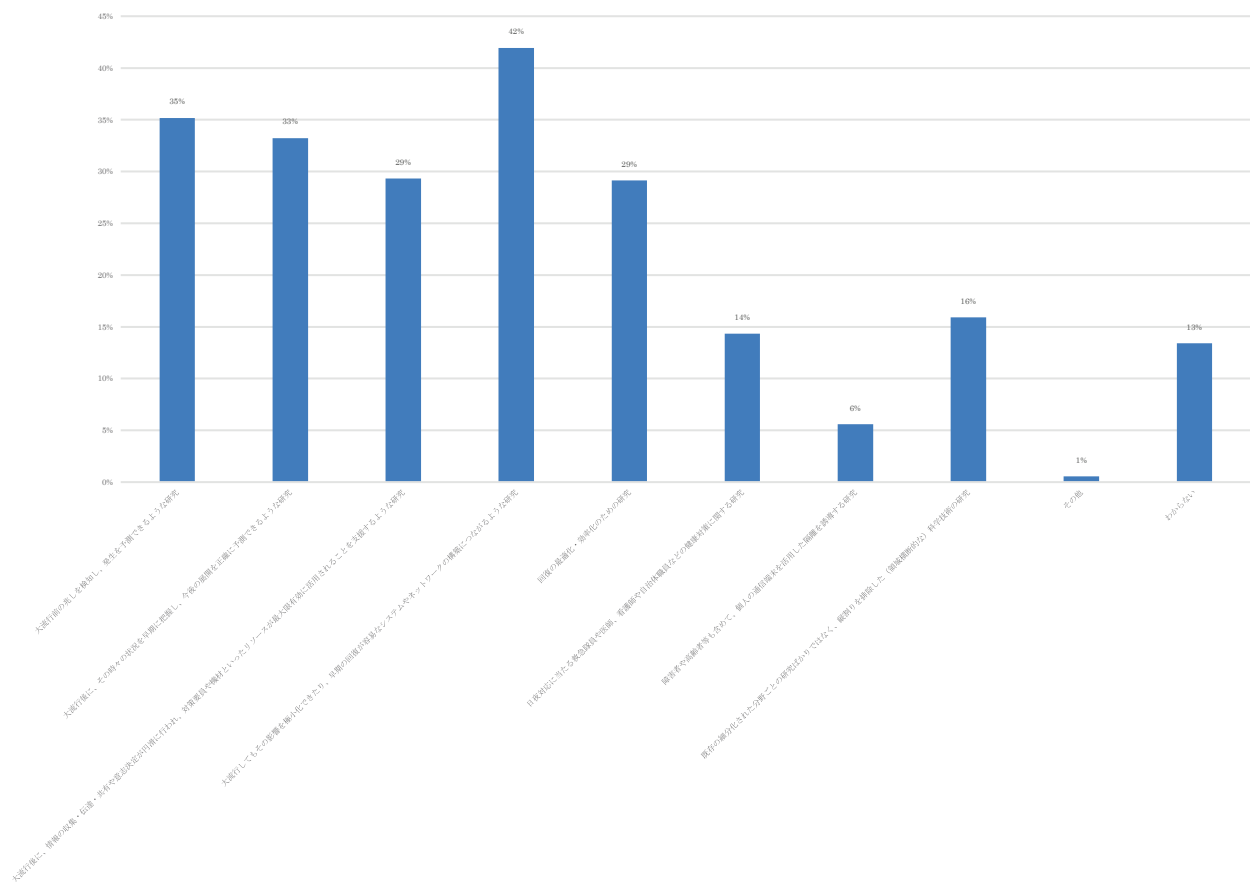
加えて、あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えるかを訊いたところ概要図表 10 となり、国や自治体など行政から (52%) が最も高く、次いで大学や研究機関の科学者・専門家からが 45% などとなっている。

### 3) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する施策について回答された割合



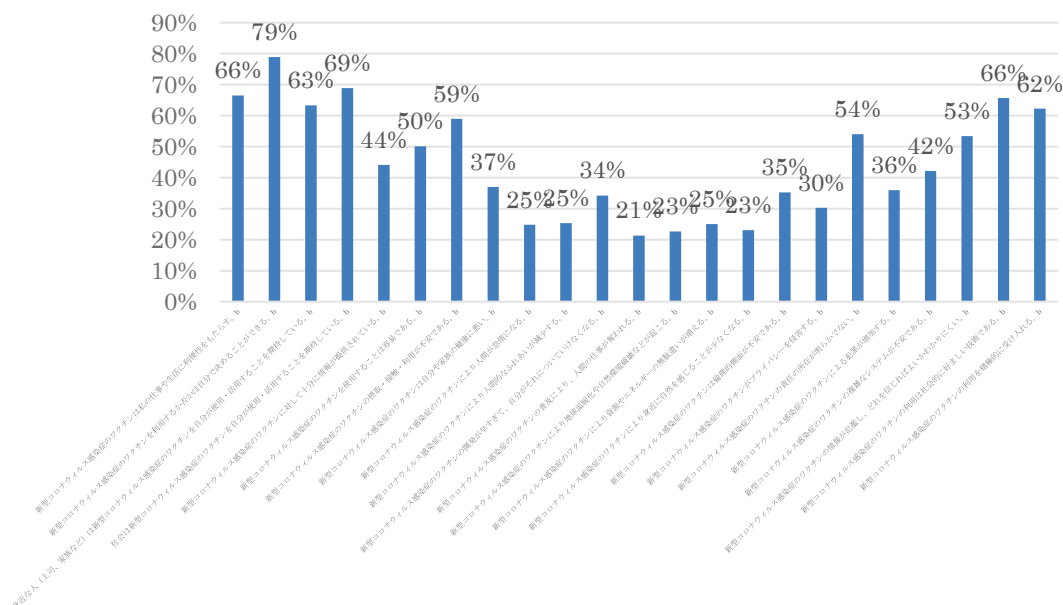
概要図表 11 新型コロナウイルス感染症の大規模発生などの緊急時にとるべき対策（国民の安全確保対策、その他の応急対策など）は、どのようなものであるべきと思われますか

新型コロナウイルス感染症の大規模発生などの緊急時にとるべき対策（国民の安全確保対策、その他の応急対策など）は、どのようなものであるべきと思われるか聞いたところ（概要図表 11）、正確な科学的データや分析結果に基づいた対策であることで 61%と最も高く、次いで、可能な限り迅速な対策であること、内容が明確で分かりやすい対策であること（ともに 42%）となっている。何よりも正確さを求めている国民の意識が分かる。



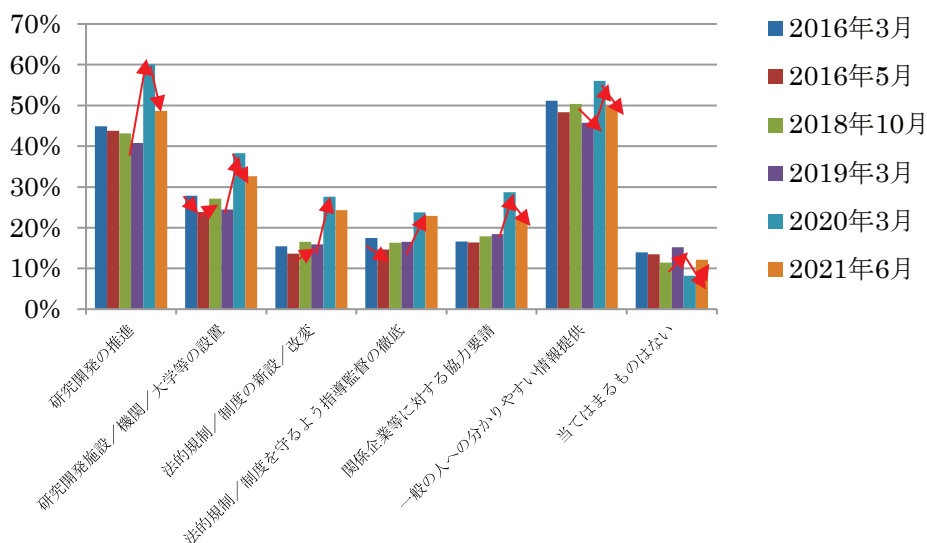
概要図表 12 新型コロナウイルス感染症の対策の強化のためには、科学者や技術者はどのような研究に力を入れるべきだと思いますか

次いで、新型コロナウイルス感染症の対策の強化のためには、科学者や技術者はどのような研究に力を入れるべきだと思うか訊いたところ(概要図表 12)、大流行してもその影響を極小化できたり、早期の回復が容易なシステムやネットワークの構築につながるような研究が 42%と最も高く、大流行前の兆しを検知し、発生を予測できるような研究がそれに次いで 35%となっている。続いて大流行後に、その時々や状況を早期に把握し、今後の展開を正確に予測できるような研究が 33%となっている。



概要図表 13 新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する次の意見や考えについて、どうお考えですか

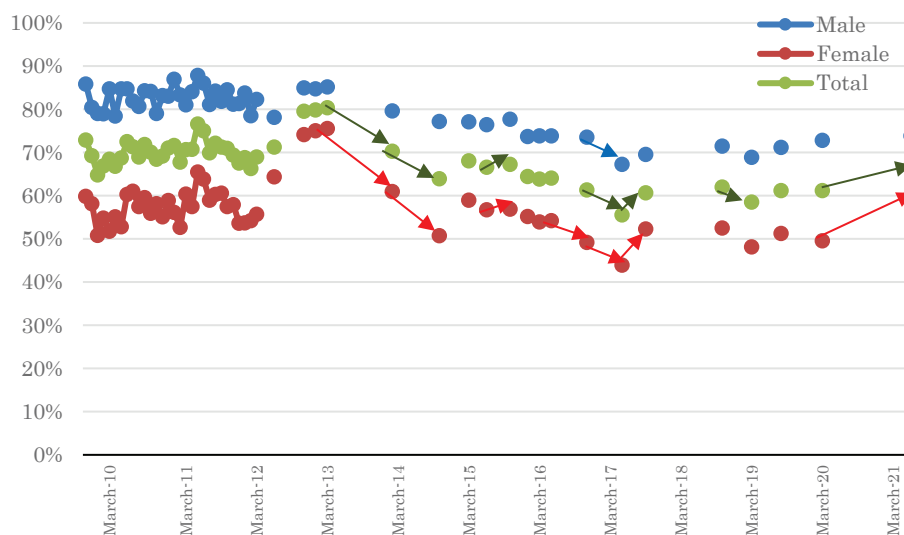
更に、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する次の意見や考えについて、どう考えるか聞いたところ(概要図表 13)、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、新型コロナウイルス感染症のワクチンを利用するか否かは自分で決めることができる(79%)、社会は新型コロナウイルス感染症のワクチンを自分が使用・活用することを期待している(69%)などが高くなっている。一方、新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及により、人間の仕事が奪われる(21%)、新型コロナウイルス感染症のワクチンにより地球温暖化や自然環境破壊などが起こる(23%)、新型コロナウイルス感染症のワクチンにより身近に自然を感じる事が少なくなる(23%)などは値が小さい。値が小さいものは因果関係が不明であったりすることが多いように思われる。



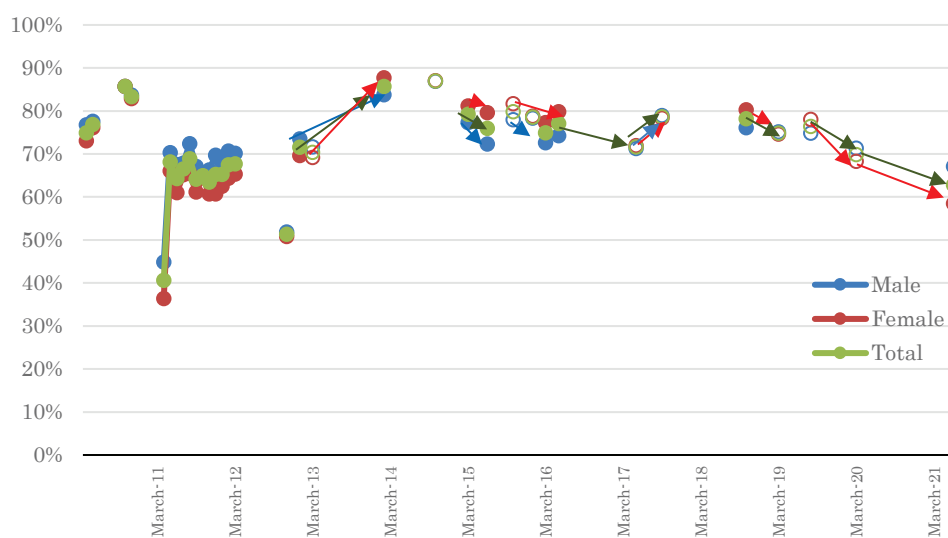
概要図表 14 新型コロナウイルス、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか

新型コロナウイルス、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うかとの問いに対して、「研究開発の推進」を選んだ人が全体の 48.6% (前回 20 年 3 月 60.1%)、「一般の人々への分かりやすい情報提供」を選んだ人が全体の 49.9% (前回 20 年 3 月 56.0%) であった。また、感染症に関しては 2016 年 3 月以降今回まで 6 回の調査で同様の質問をしている。研究開発の推進や一般の人への分かりやすい情報提供は、前回調査からの有意差も見られた。

4) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種以外の科学技術政策に関する変量について回答された割合



概要図表 15 科学技術関心度の性別変化

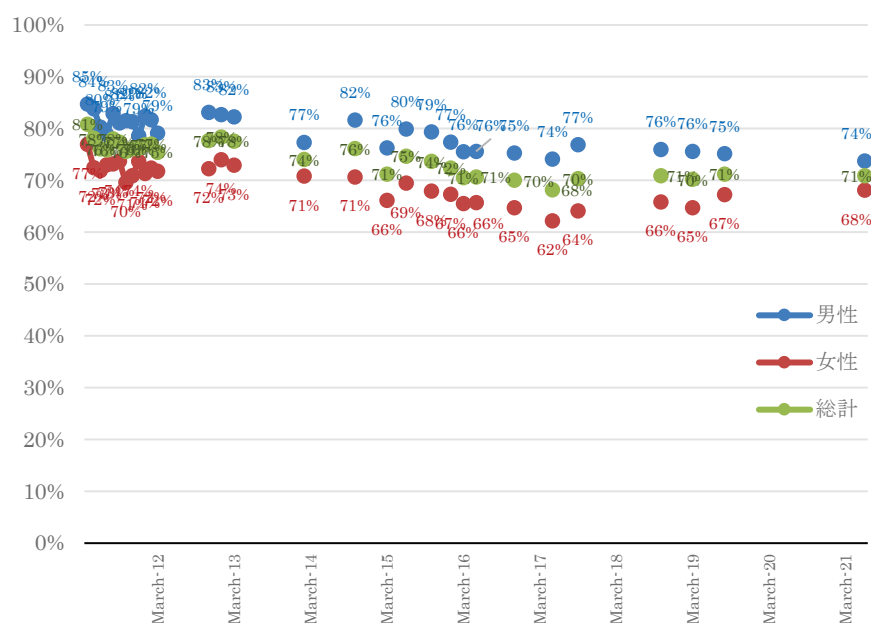


概要図表 16 科学者の信頼度の性別変化

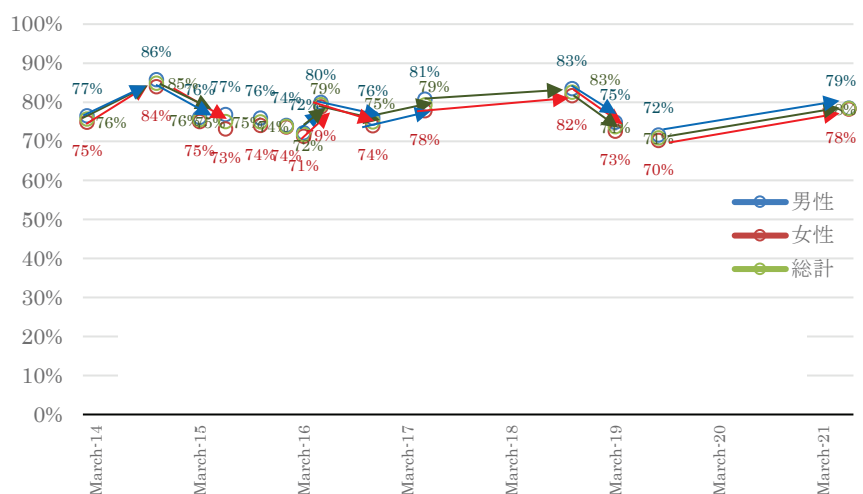
科学技術関心度(概要図表 16)は女性の関心増加により、全体は増加している一方、科学者の信頼度(概要図表 19)は女性の信頼低下により、全体低下している。

特に科学者の信頼度に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う専門家間の意見の相違が見られた結果、どれを信じればよいか分からなくなって結果、信頼度の低下に結びついていると考えられる。同じような解釈が 2011 年 3 月の東日本大震災にも適用される可能性がある。



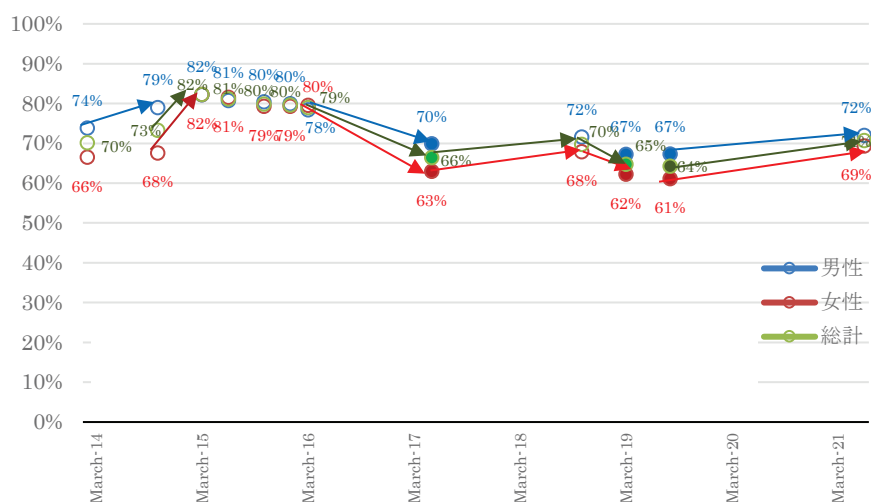


概要図表 17 科学技術発展をプラスとするかマイナスとするかの性別変化

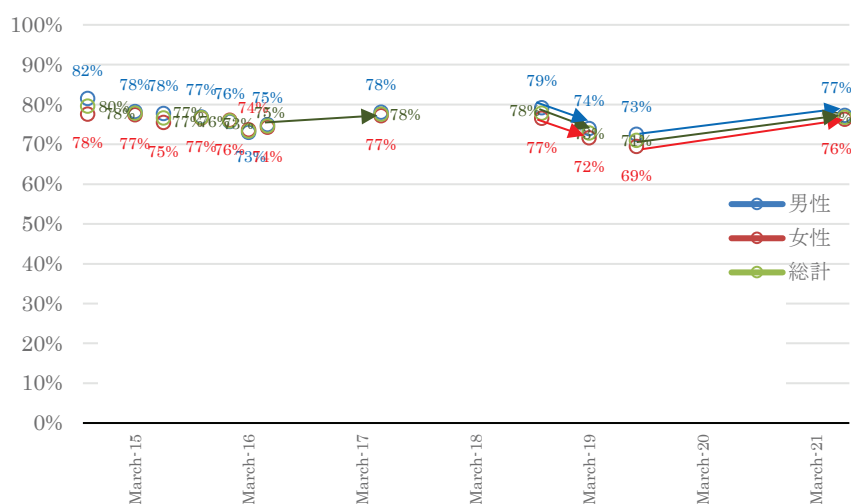


概要図表 18 科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになるの性別変化

科学技術発展をプラスとするかマイナスとするか(概要図表 17)では男女ともに特に変化がない一方、科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる(概要図表 18)では男女ともに増加傾向にある。



概要図表 19 日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことであるの性別変化



概要図表 20 たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべきの性別変化

また、日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである(概要図表 22)では男女ともに増加傾向にあり、たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべき(概要図表 20)でも男女ともに増加傾向にある。

#### (4)おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。

(5) 参照文献

- [1] The State of Vaccine Confidence 2016: Global Insights Through a 67-Country Survey, Heidi J. Larson, PhD, Alexandre de Figueiredo, MS, Zhao Xiahong, BS, William S. Schulz, MS, Pierre Verger, PhD, Iain G. Johnston, PhD, Alex R. Cook, PhD, Nick S. Jones, PhD, EBioMedicine 12 (2016) 295-301.
- [2] どういう人々が新型コロナウイルスのワクチンを接種したがるか: インターネット調査における検証(改訂版), 関沢 洋一, 経済産業研究所, 橋本 空, ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社, 越智 小枝, 東京慈恵会医科大学, 宗 未来, 東京歯科大学, 傳田 健三, 平松 記念病院, RIETI Discussion Paper Series 21-J-026.
- [3] 新型コロナウイルスワクチン忌避者は1割。忌避者の年齢・性別差、理由と関連する要因を明らかに: 日本初全国大規模インターネット調査より, 国立精神・神経医療研究センター(NCNP), 2021年6月25日, <https://www.ncnp.go.jp/topics/2021/20210625p.html>
- [4] 新型コロナワクチンをすぐには接種しない人の理由と特徴ー「安全性への不安」「順番待ち・様子見」「面倒」「ワクチン不要」, 基礎研REPORT(冊子版)8月号[vol.293], 保険研究部 准主任 研究員・ヘルスケアリサーチセンター兼任 村松 容子, 「第4回新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」, <https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=68413?site=nli>
- [5] 09 新型コロナウイルス感染症対策(ワクチン)に関する意識調査, (第60回)東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料(令和3年8月26日), <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/saigai/1013388/1014827.html>
- [6] 特別寄稿, 予防接種: 公衆衛生事業としての意義とわが国の課題, 田中 政宏, 大阪府立成人病センターがん予防情報センター, 医療経済研究 Vol.22 No.1 2010, pp.5-29.



## 【本文】

### 1. はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2021 年度調査(2021 年 6 月及び 7 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 3,000 人にインターネットを使って調査したものである。

### 2. 調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

#### (1) 調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

#### (2) 調査期間及び調査方法

2021 年 6 月及び 7 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=3,000(2 社×1,500)で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数、10 代から 60 代まで各年代で同数とした。

#### (3) 調査時点

2021 年 6 月 28 日から 7 月 2 日にかけて実施した。

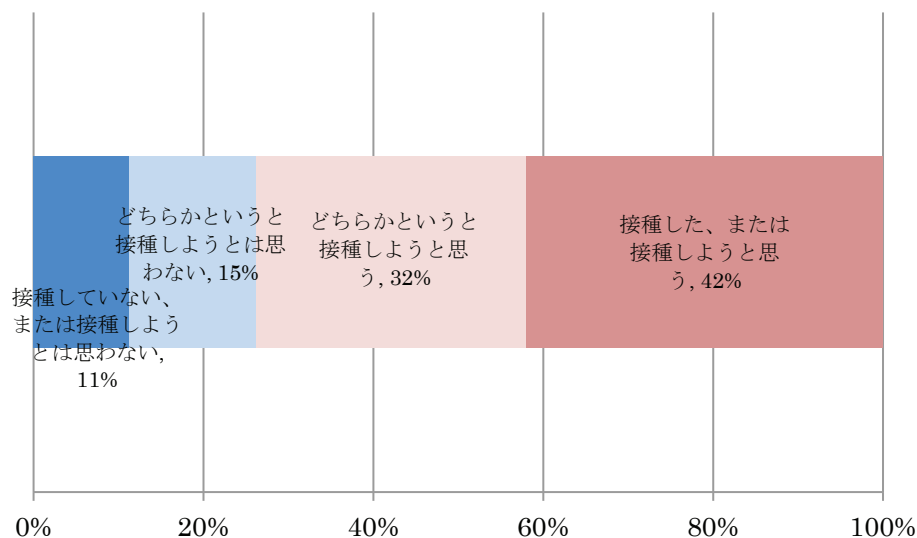
#### (4) 調査項目

今般の調査は、特に新型コロナウイルスのワクチン接種を契機とした科学や科学者への信頼感に対する影響を把握することが目的である。

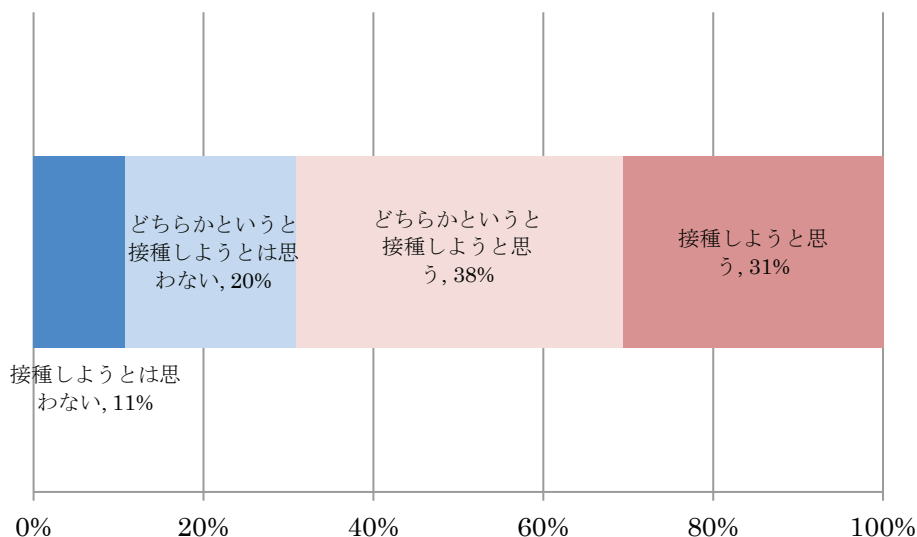
また、回答者には、居住している都道府県、学校での専攻分野、子どもの有無、科学技術に関するニュースや話題への関心の有無などの個人の属性・意識についてもたずねた。

### 3. 調査結果

#### (1) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の概要について回答された割合



図表 1-1 現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いますか



図表 2-1 今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか

新型コロナウイルスのワクチン接種の希望について、伺ったところ、「現在」(図表 1-1)と「今後(継続的に摂取することになった場合)」(図表 2-1)で希望に少し差が見られた。「現在」では74%が(どちらかという)接種しようと思う、と回答したに反して、「今後(継続的に摂取することになった場合)」では69%が(どちらかという)接種しようと思うと考えており、ワクチン接種の継続について一定の理解がみられた。

図表 1-1 と図表 2-1 から、ワクチンの接種希望者の割合が少ないのではないかという見方があることに対しては、ワクチンというものが重要であっても不安全であるという意見が日本では強く、2016

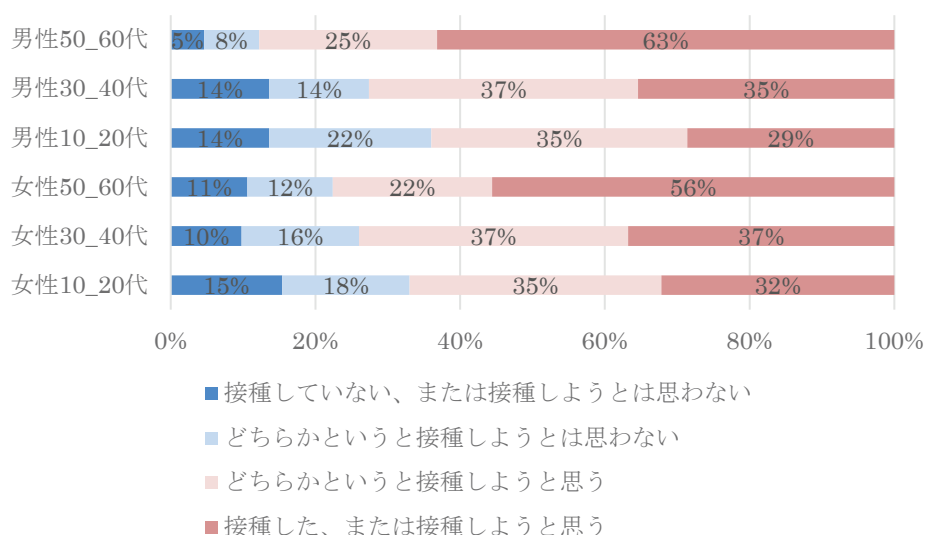
年の 67 か国のサーベイ論文<sup>[1]</sup>では 1 位のフランス、2 位のボスニアヘルツェゴビナに次いで 3 位が日本と極めて高くなっている。

また、経済産業研究所(RIETI)の研究グループが行った先行研究<sup>[2]</sup>では 2021 年 4 月 23 日～5 月 6 日にインターネット調査を行っており、接種しなかった人々を分母として、それぞれの回答を分子とすると、「接種するつもり」は 60.9%で、「まだ決めていない」が 30.1%、「接種しないつもり」が 9.0%だった。この RIETI の研究結果は、本稿の図表 1-1 及び図表 1-2 と矛盾しないと考えられる。

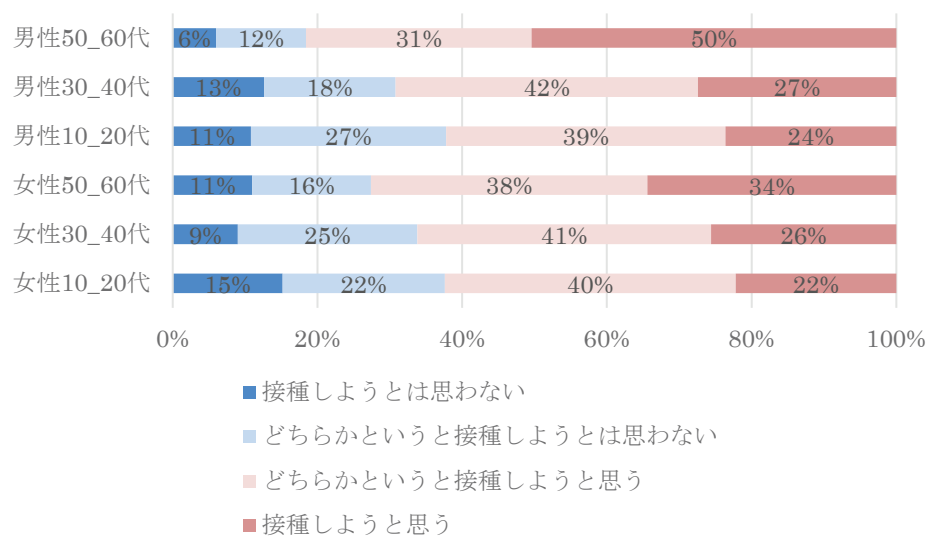
さらに、国立精神・神経医療研究センター(NCNP)が行った先行研究<sup>[3]</sup>では 2021 年 2 月に 2 万 6000 人を対象にインターネット調査を行い、接種したくないと答えた人は、15～39 歳の女性で 15.6%、同男性で 14.2%と全年齢平均の 11.3%より高かったことが分かった。NCNP の調査は、本稿の図表 1-1 及び図表 1-2 と比べ、全体的に数値が低めであるが、NCNP の調査の回答選択肢が肯定否定で対照とはなっていない(ワクチン接種希望者(「接種したい」「様子を見てから接種したい」)、ワクチン忌避者(「接種したくない」))点に留意する必要がある。

他方、ニッセイ基礎研究所<sup>[4]</sup>は、全国の 20～69 歳の男女(調査会社のモニタ)を対象とする WEB 調査を 2021 年 3 月 26 日～29 日に実施し、2,070 人から回答を得た「第 4 回新型コロナウイルスによる暮らしの変化に関する調査」を実施した。この調査では、およそ半数の 51.2%がしばらく様子を見ることを希望しており、「あまり接種したくない(15.9%)」「絶対に接種したくない(7.5%)」などのすぐには接種を希望していない人は 23.4%と高い数値となっていた。

加えて、東京感染症対策センター(東京 iCDC)専門家ボードのリスクコミュニケーションチーム<sup>[5]</sup>では、7 月 16、17 日に、都内在住の 20～70 代の男女 1 千人からインターネットで回答を得た。その結果、「おそらく接種しない」と「絶対に接種しない」を合わせた割合は、20 代男女でそれぞれ 19.0%、18.8%。30 代男女は 16.7%と 19.1%。50 代男性(12.1%)や 40 代女性(10.5%)など、若年層では 40 代以上の年代と比べてワクチンに否定的な傾向が見られた。

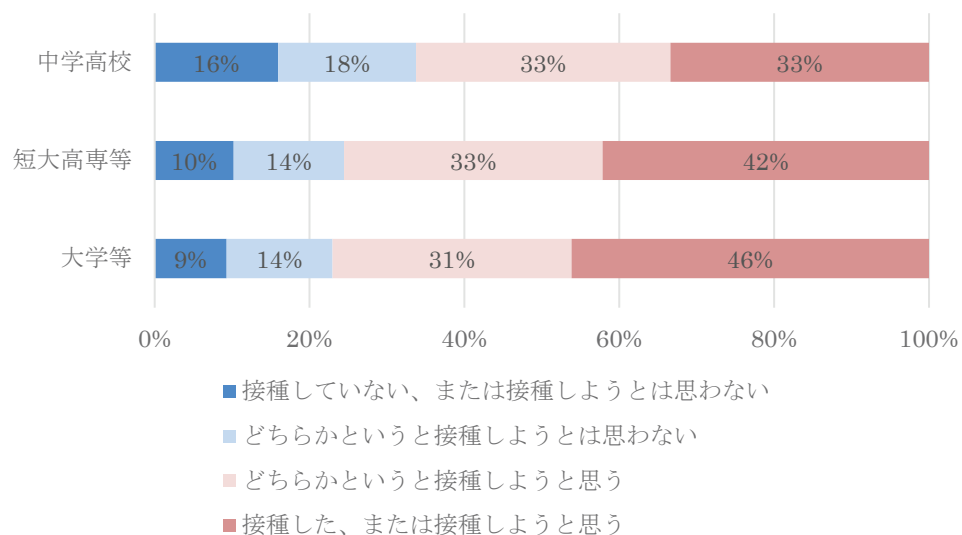


図表 1-2 現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いませんか(性別×年代別)



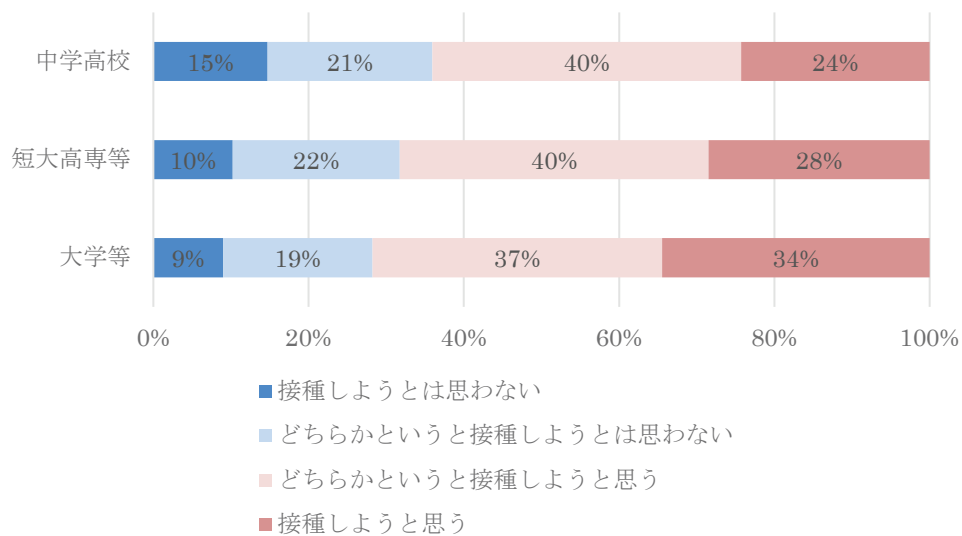
図表 2-2 今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか(性別×年代別)

回答を性別と年代別で集計したところ、図表 1-2 と図表 2-2 の結果が得られた。ここからどの年齢も総じて接種意向が高いことが分かった。



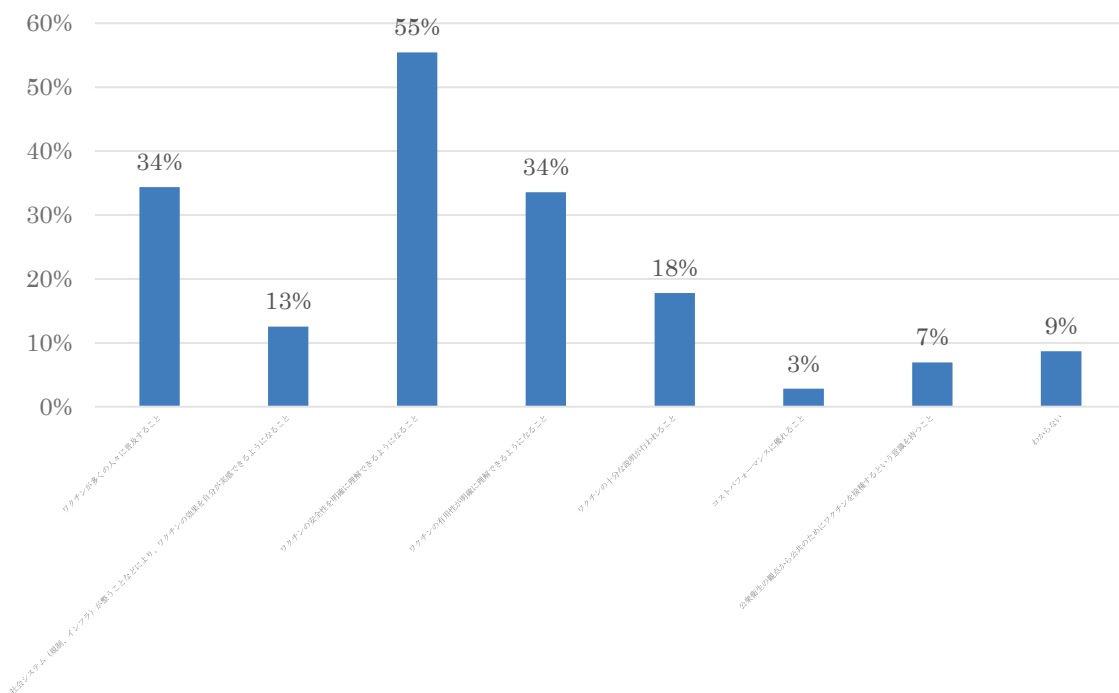
図表 1-3 現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いますか(最終学歴別)





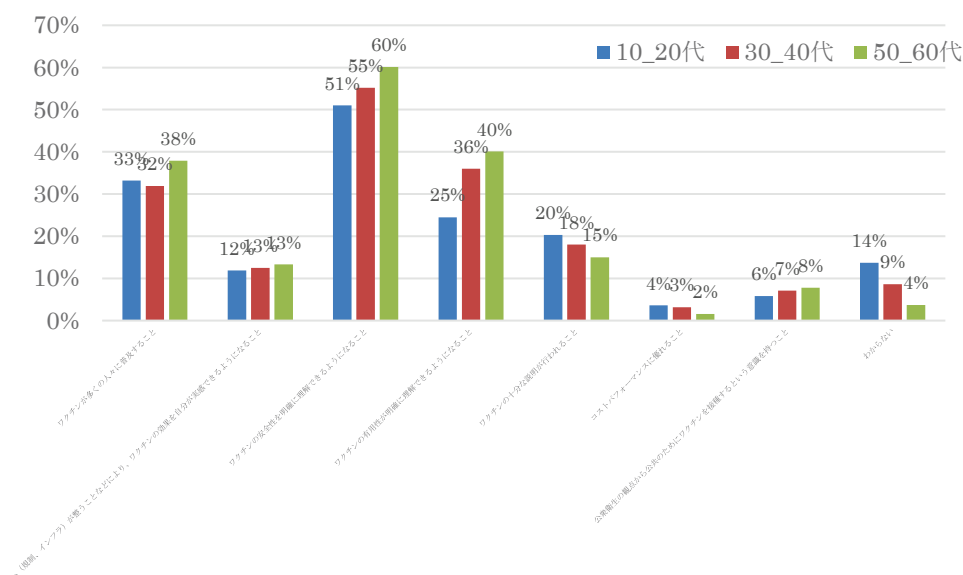
図表 2-3 今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか(最終学歴別)

最終学歴別の集計では図表 1-3 及び図表 2-3 となり、中学・高校卒業者より大卒等の方がワクチンを接種しようと思っていることが分かった。図表 1-1 と図表 1-2 の結果も合わせて考察されることとしては、若年層にわかりやすく情報を提供するとともに、自ら考える力を涵養することで、強制ではなく、自己判断できるようにしていくことが重要と考えられる。



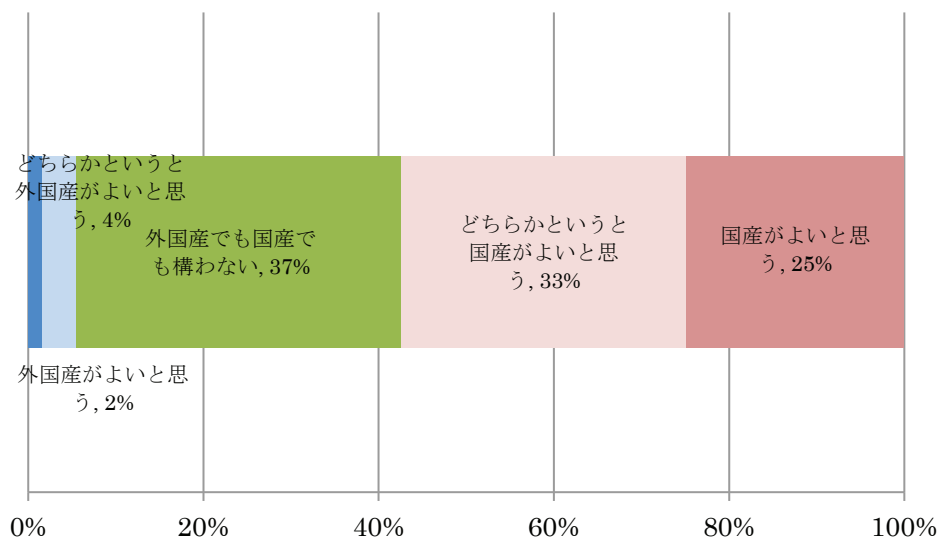
図表 3-1 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか

加えて、あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用の際には、どのようなことが必要と考えるか聞いたところ(図表 3-1)、ワクチンの安全性を明確に理解できるようになることが 55%と過半数を占めている。また、ワクチンが多くの人々に普及すること、ワクチンの有用性が明確に理解できるようになること(ともに 34%)がそれに次いでいる。逆に、コストパフォーマンスに優れること(3%)、公衆衛生の観点から公共のためにワクチンを接種するという意識を持つこと(7%)は低くなっている。特に後者に関しては、「ワクチンが有効であり、かつ接種を受けることについての選択の自由が本人または保護者にあるならば、多少の副反応があっても社会にとっての有用性は大きい」という論理との関連性が高い。この論理は世界的には受け入れられているが、わが国においては事実上認められていないという指摘<sup>[6]</sup>と整合性がある。



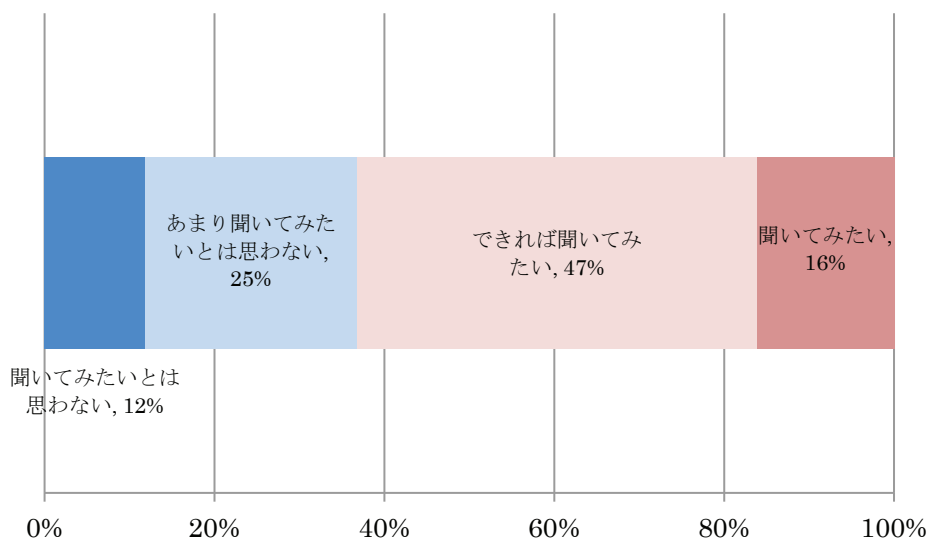
図表 3-2 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか(年代別)

また、回答を年代別に整理すると図表 3-2 となり、年代が高くなるにつれて、ワクチンの安全性に理解を示しており、ワクチンの有用性への理解も年代が高くなるにつれて高くなっていることが分かった。



図表 4 将来、あなたはどのような新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種したいと思いますか

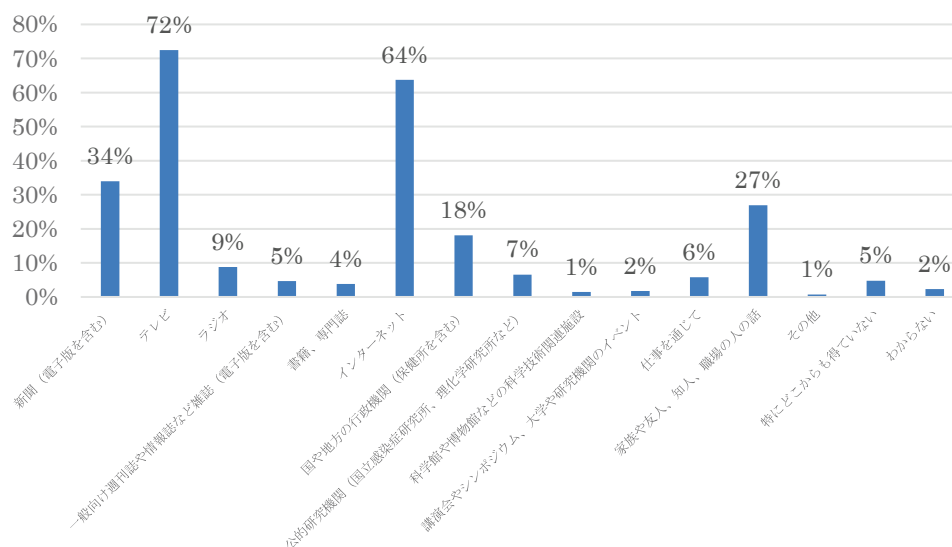
また、将来接種したいワクチンとして、「外国産でも国産でも構わない」が 37%である一方、(どちらかという)国産がよいと思う人は 58%と過半数を占めており(図表 4)、国産のワクチンへの期待が高まっている状況が明らかとなった。



図表 5 あなたは、機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか

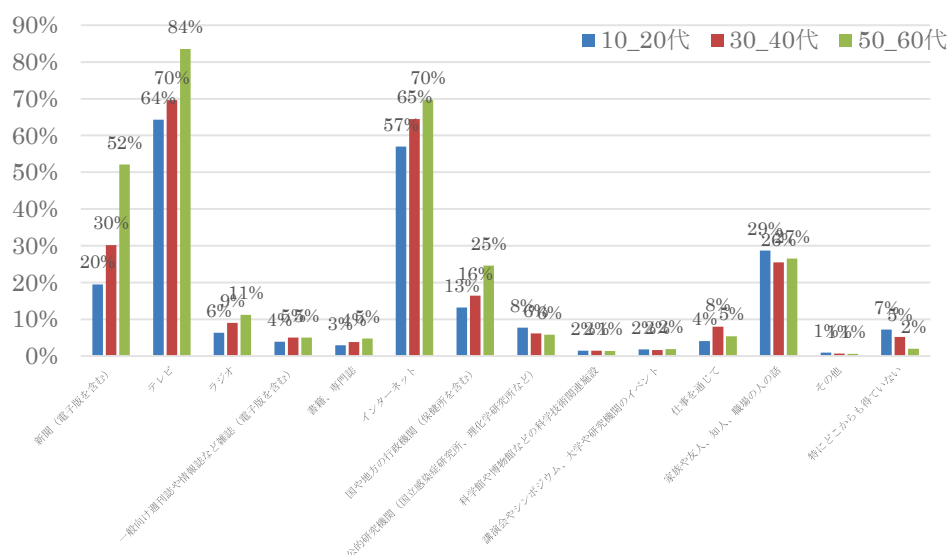
機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思うかでは、「(できれば)聞いてみたい」が 63%と過半数を占め、昨今 TV や新聞で専門家の意見等が紹介されているが、さらなる情報提供が求められていることが分かった。

## (2) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する情報について回答された割合



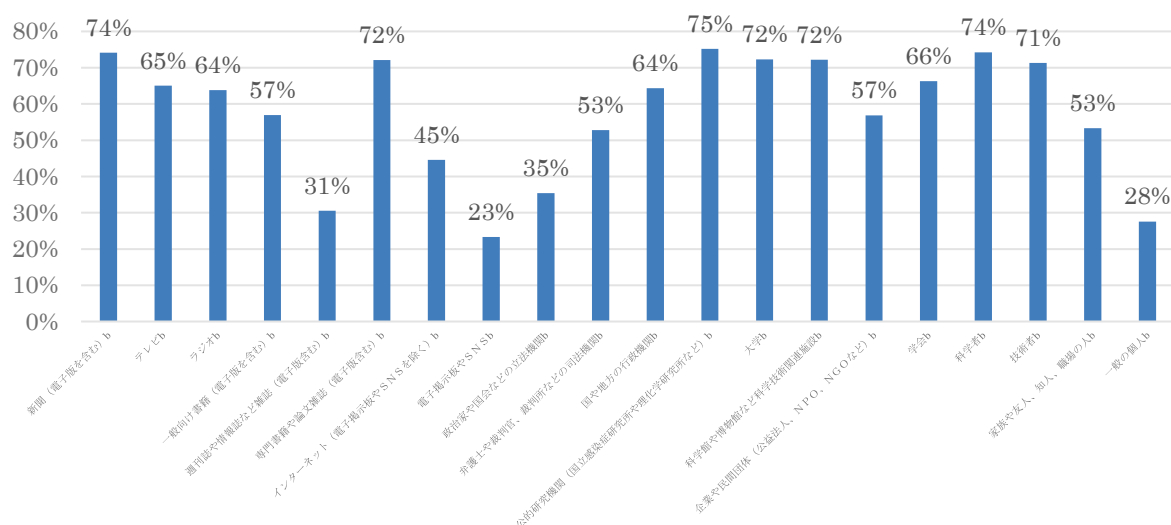
図表 6-1 普段、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報をどこから得ていますか、又は得ようと思いますか

新型コロナウイルスのワクチンに関する情報源(図表 6-1)はテレビ(72%)やインターネット(64%)が他の選択肢より圧倒的に高い。



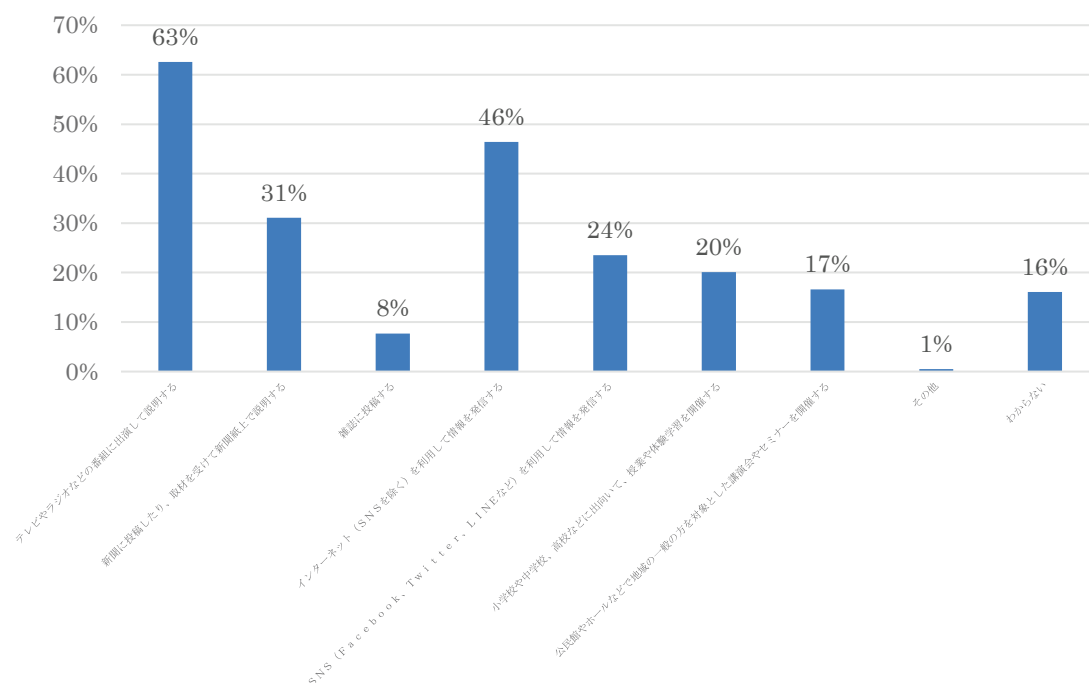
概要図表 6-2 普段、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報をどこから得ていますか、又は得ようと思いますか(年代別)

年代別で調べると概要図表 6-2 となり、年代が高くなるにつれ、使用頻度が高まることが分かった。特に新聞(電子版を含む)についてはその傾向が顕著であることも分かった。



図表 7 新型コロナウイルス感染症のワクチンの話題に関する情報の発信媒体、発信組織、発信者などの情報源について、どの程度信頼できますか

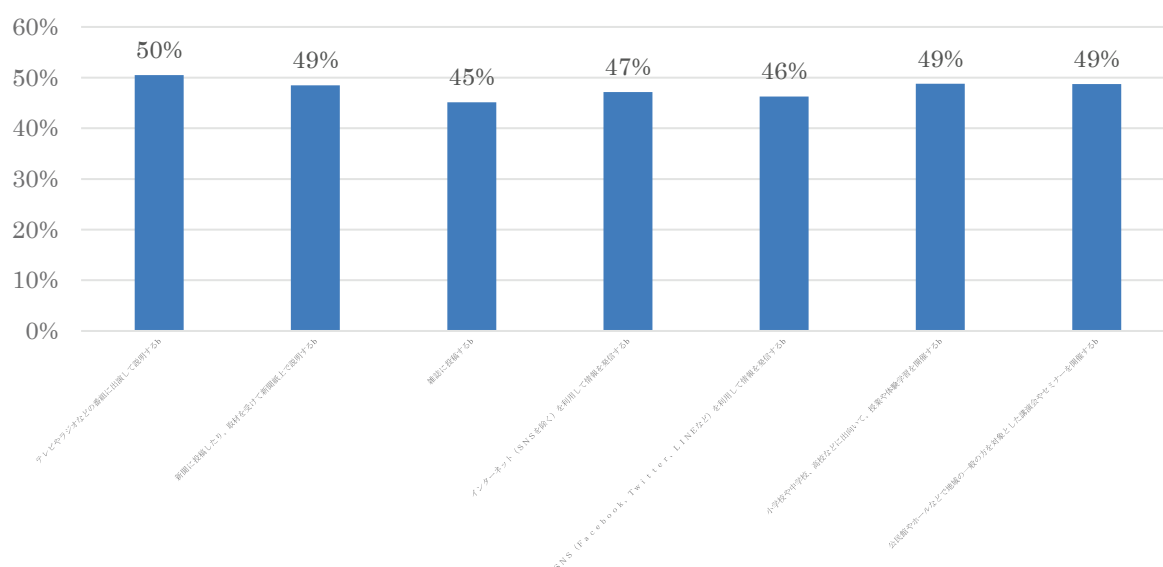
一方、これらの情報源に対してどの程度信頼されているのかを見る(図表 7)と、高い順に、公的研究機関(75%)、科学者(74%)、新聞(電子版を含む)(74%)、専門書籍や論文雑誌(電子版含む)(72%)、大学(72%)、科学館や博物館など科学技術関連施設(72%)、技術者(71%)であった。



図表 8 科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、どのような方法でそのような活動

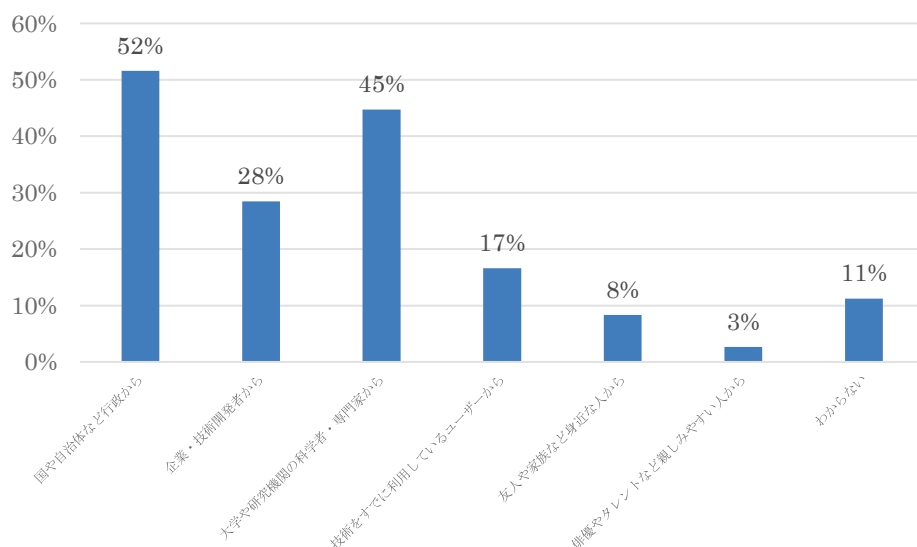
## を促進したらよいと思いますか

また、科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、どのような方法でそのような活動を促進したらよいと思うか訊いたところ図表 8 となり、テレビやラジオなどの番組に出演して説明する(63%)、インターネット(SNS を除く)を利用して情報を発信する(46%)などで高くなっている。



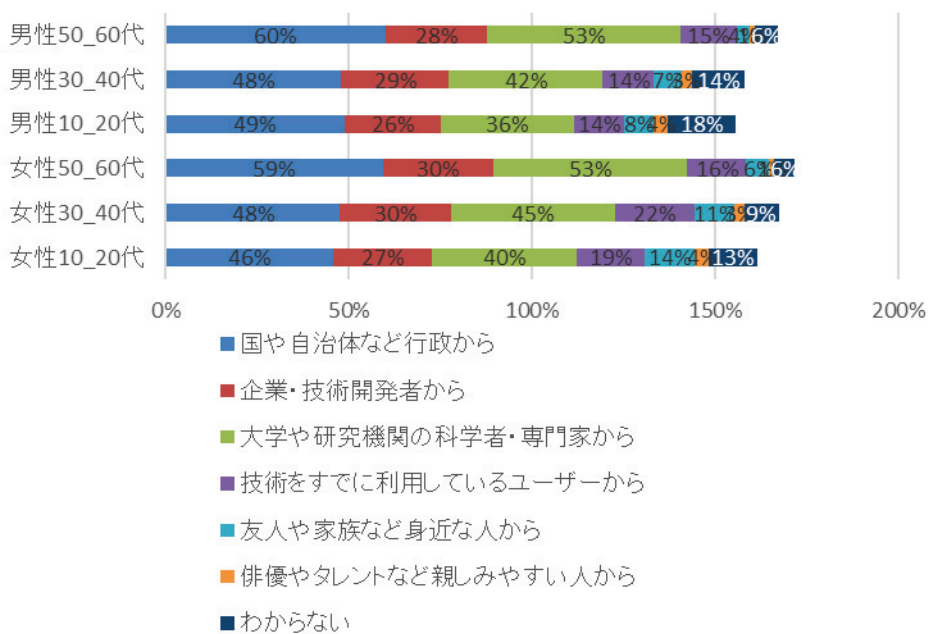
図表 9 科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、以下の方法について、どの程度信頼できますか

他方、科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、以下の方法について、どの程度信頼できるか訊いたところ(図表 9)、選択肢間で大きな差はなく、テレビやラジオなどの番組に出演して説明する(50%)、新聞に投稿したり、取材を受けて新聞紙上で説明する(49%)、小学校や中学校、高校などに出向いて、授業や体験学習を開催する(49%)、公民館やホールなどで地域の一般の方を対象とした講演会やセミナーを開催する(49%)などが続いている。最も低い雑誌に投稿する(45%)と最高値の差は 5 ポイントしかない。



図表 10-1 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか

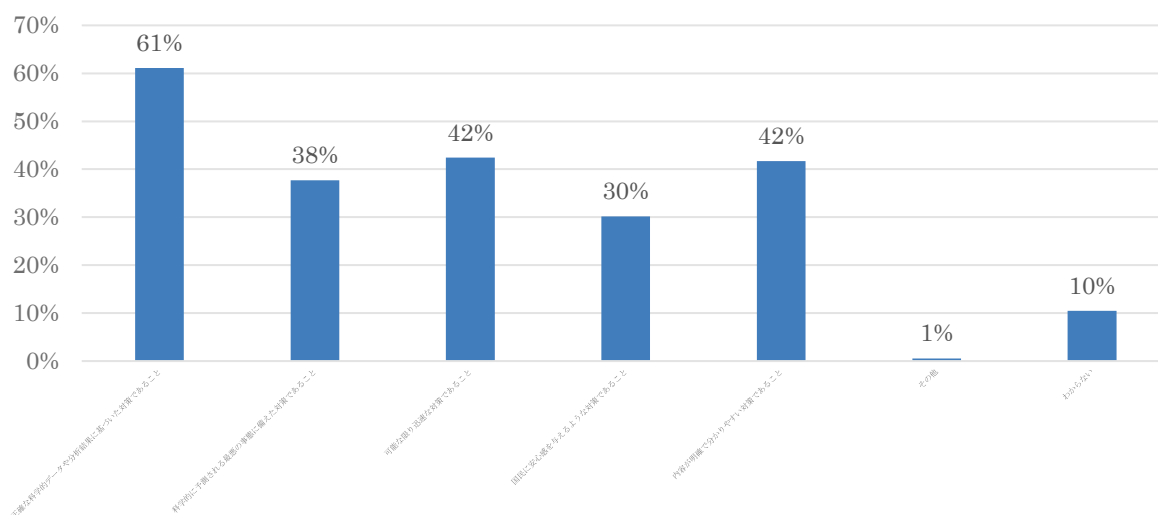
加えて、あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えるかを訊いたところ図表 10-1 となり、国や自治体など行政から（52%）が最も高く、次いで大学や研究機関の科学者・専門家からが 45%などとなっている。



図表 10-2 あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか(性・年代別)

性・年代別に見ると図表 10-2 となり、国や自治体など行政からが最も高いのは、男女とも 50 代・60 代が最も多く(60%,59%)、次いで大学や研究機関の科学者・専門家からも男女とも 50 代・60 代が最も多い(ともに 53%)。

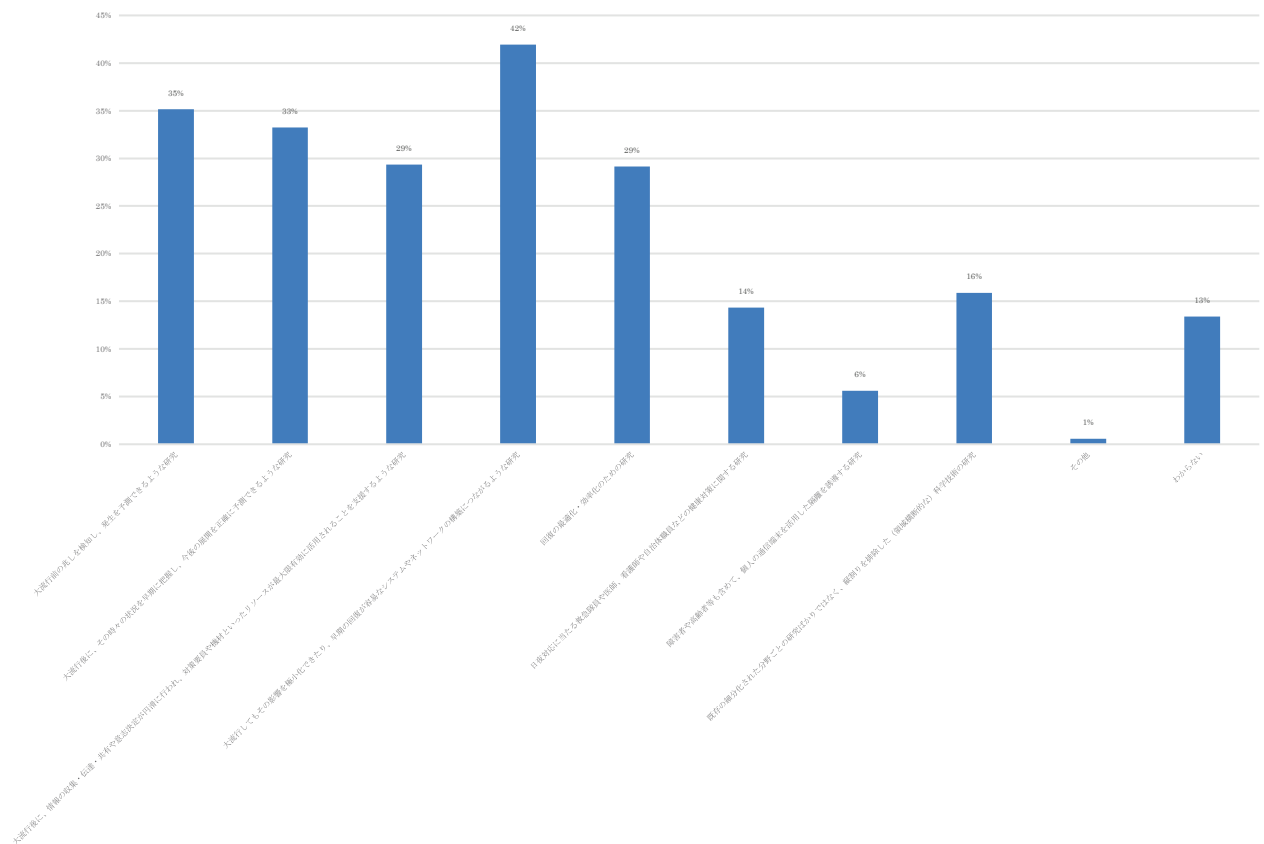
### (3) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する施策について回答された割合



図表 11 新型コロナウイルス感染症の大規模発生などの緊急時にとるべき対策(国民の安全確保対策、その他の応急対策など)は、どのようなものであるべきと思われますか

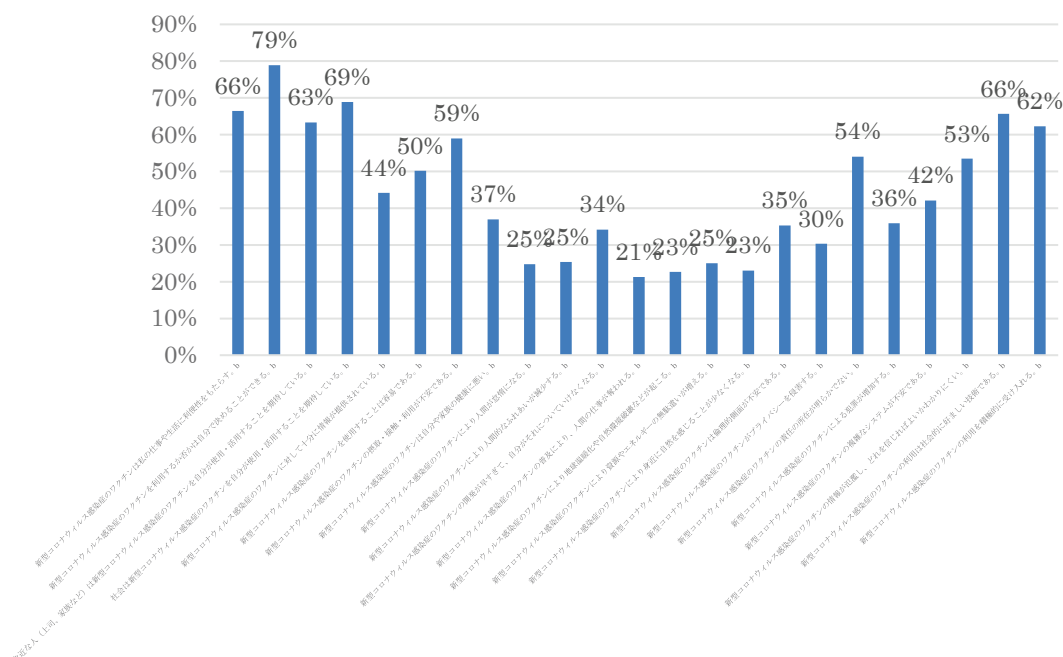
新型コロナウイルス感染症の大規模発生などの緊急時にとるべき対策(国民の安全確保対策、その他の応急対策など)は、どのようなものであるべきと思われるか訊いたところ(図表 11)、正確な科学的データや分析結果に基づいた対策であることで 61%と最も高く、次いで、可能な限り迅速な対策であること、内容が明確で分かりやすい対策であること(ともに 42%)となっている。何よりも正確さを求めている国民の意識が分かる。





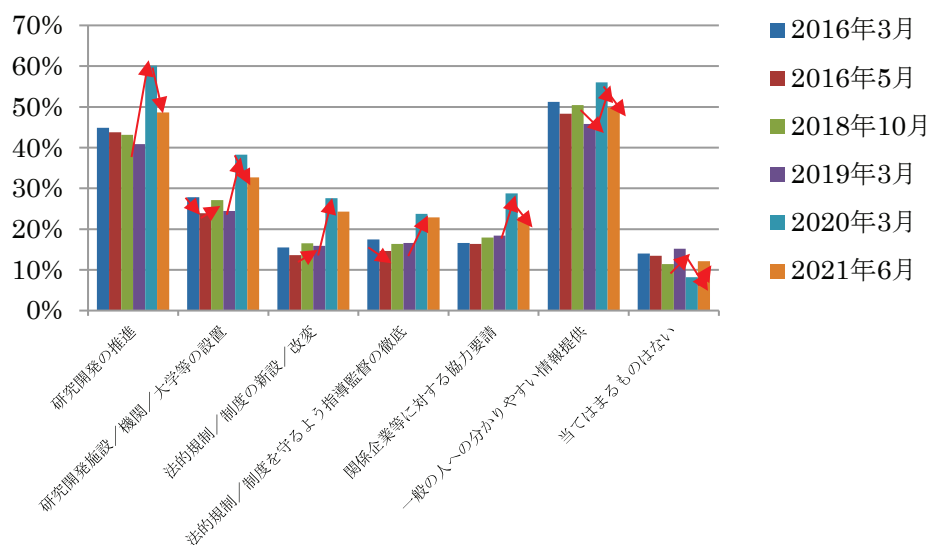
図表 12 新型コロナウイルス感染症の対策の強化のためには、科学者や技術者はどのような研究に力を入れるべきだと思いますか

次いで、新型コロナウイルス感染症の対策の強化のためには、科学者や技術者はどのような研究に力を入れるべきだと思うか訊いたところ(図表 12)、大流行してもその影響を極小化できたり、早期の回復が容易なシステムやネットワークの構築につながるような研究が 42%と最も高く、大流行前の兆しを検知し、発生を予測できるような研究がそれに次いで 35%となっている。続いて大流行後に、その時々状況を早期に把握し、今後の展開を正確に予測できるような研究が 33%となっている。



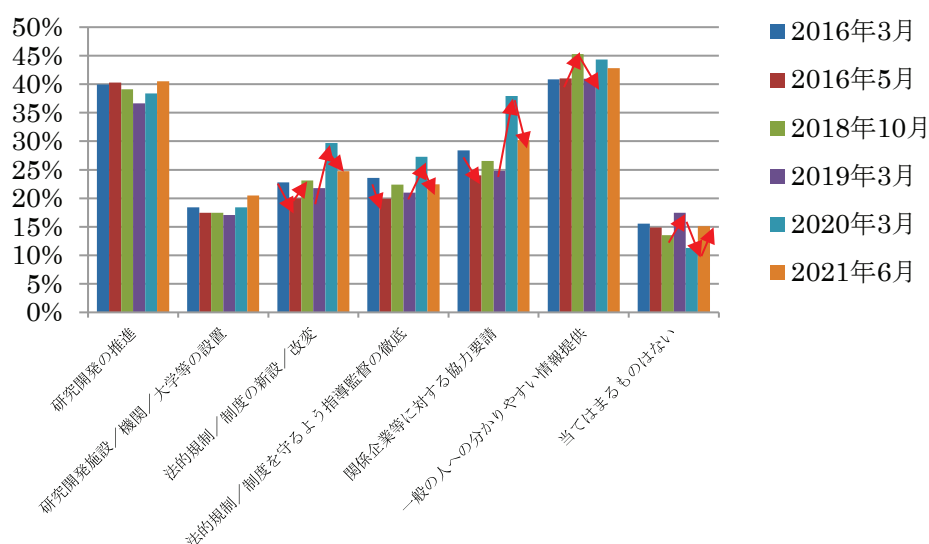
図表 13 新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する次の意見や考えについて、どうお考えですか

更に、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する次の意見や考えについて、どう考えるか訊いたところ(図表 13)、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、新型コロナウイルス感染症のワクチンを利用するか否かは自分で決めることができる(79%)、社会は新型コロナウイルス感染症のワクチンを自分が使用・活用することを期待している(69%)などが高くなっている。一方、新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及により、人間の仕事が奪われる(21%)、新型コロナウイルス感染症のワクチンにより地球温暖化や自然環境破壊などが起こる(23%)、新型コロナウイルス感染症のワクチンにより身近に自然を感じることが少なくなる(23%)などは値が小さい。値が小さいものは因果関係が不明であったりすることが多いように思われる。



図表 14-1 新型コロナウイルス、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか<sup>1</sup>

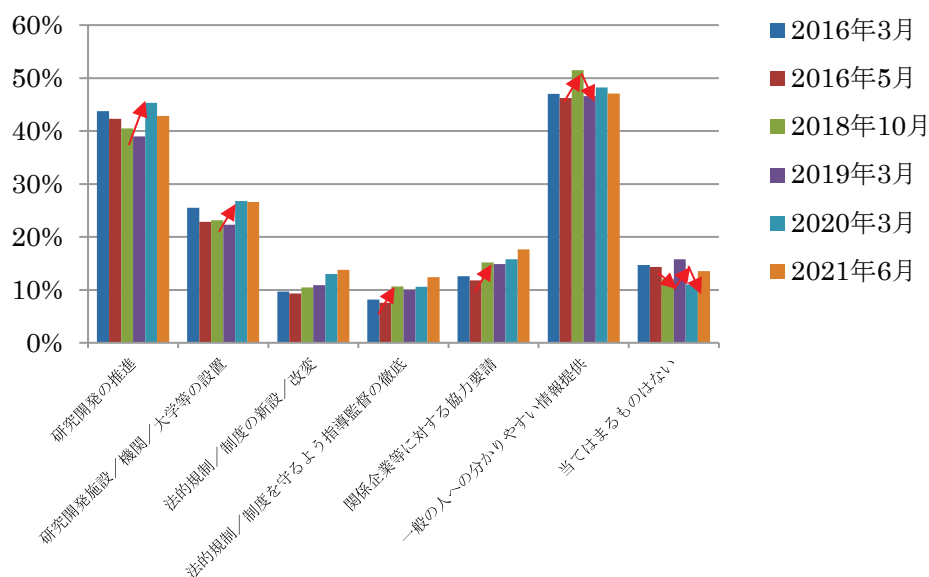
新型コロナウイルス、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うかとの問い(図表 14-1)に対して、「研究開発の推進」を選んだ人が全体の 48.6% (前回 20 年 3 月 60.1%)、「一般の人々への分かりやすい情報提供」を選んだ人が全体の 49.9% (前回 20 年 3 月 56.0%) であった。また、感染症に関しては 2016 年 3 月以降今回まで 6 回の調査で同様の質問をしている。研究開発の推進や一般の人への分かりやすい情報提供は、前回調査からの有意差も見られた。



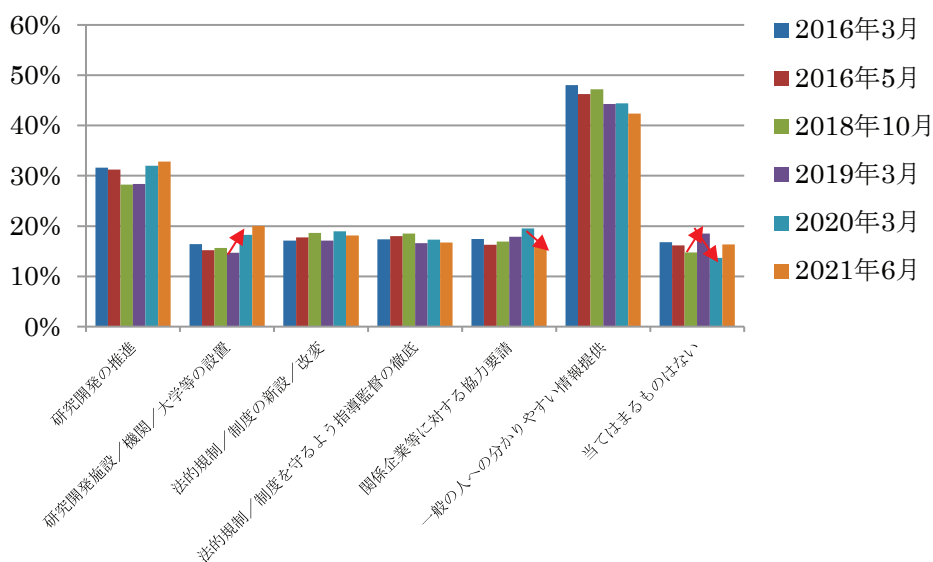
図表 14-2 地球温暖化現象のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか

<sup>1</sup> 図の矢印は1%有意性水準による統計的仮説検定の結果、有意差が認められるもの。

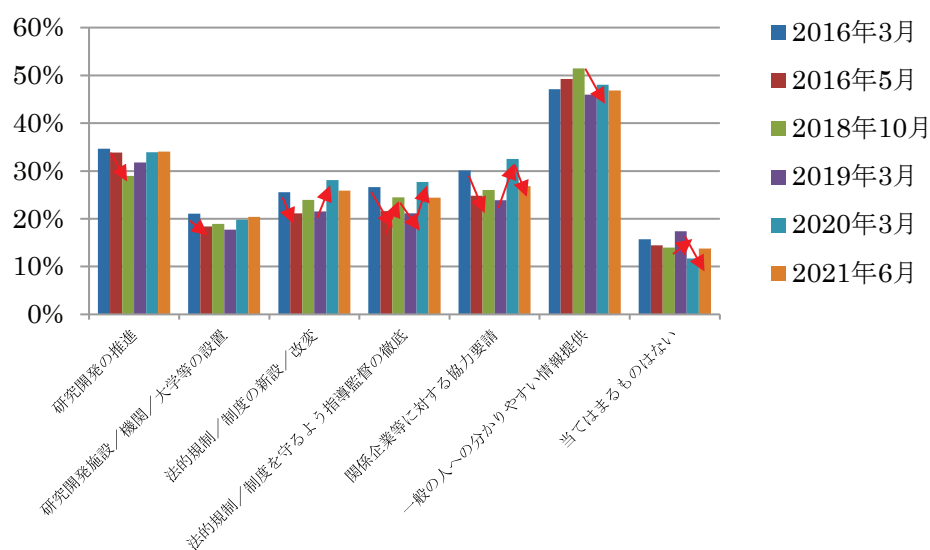
新型コロナウイルス以外にも本質問は訊いており(図表 14-2 から図表 14-7)、今回の 2021 年 6 月調査では観測値が減少しているケースが目立つように思われる。



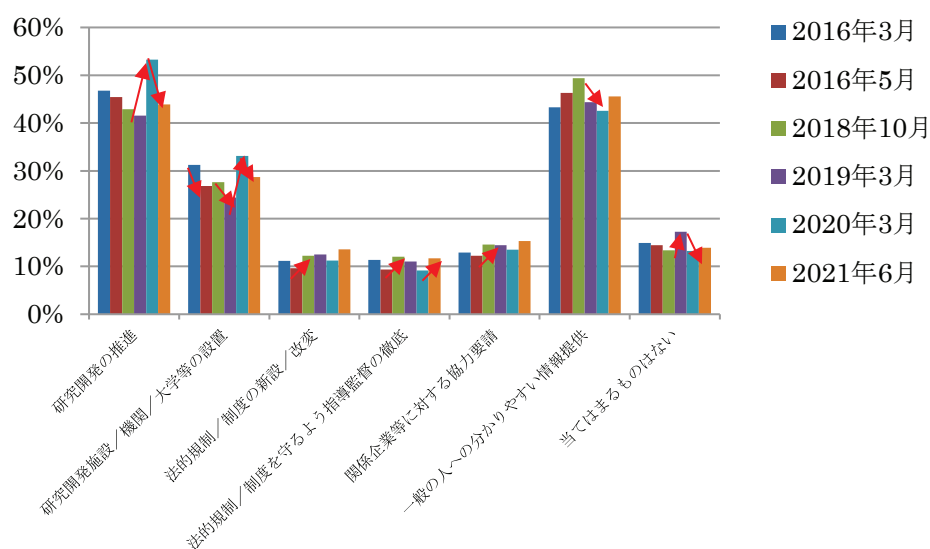
図表 14-3 スーパー台風や爆弾低気圧、ゲリラ豪雨など気象災害の予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか



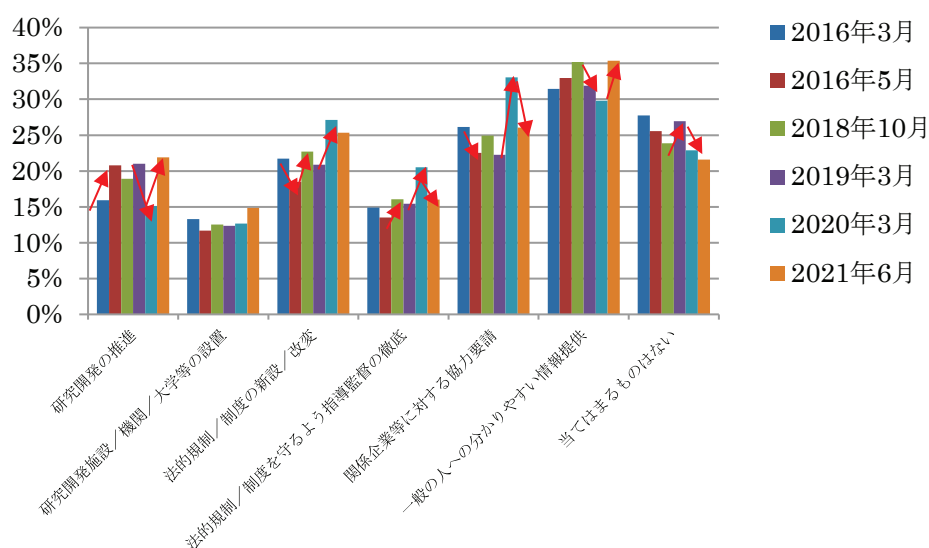
図表 14-4 主に中国からの PM2.5 の飛散の予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか



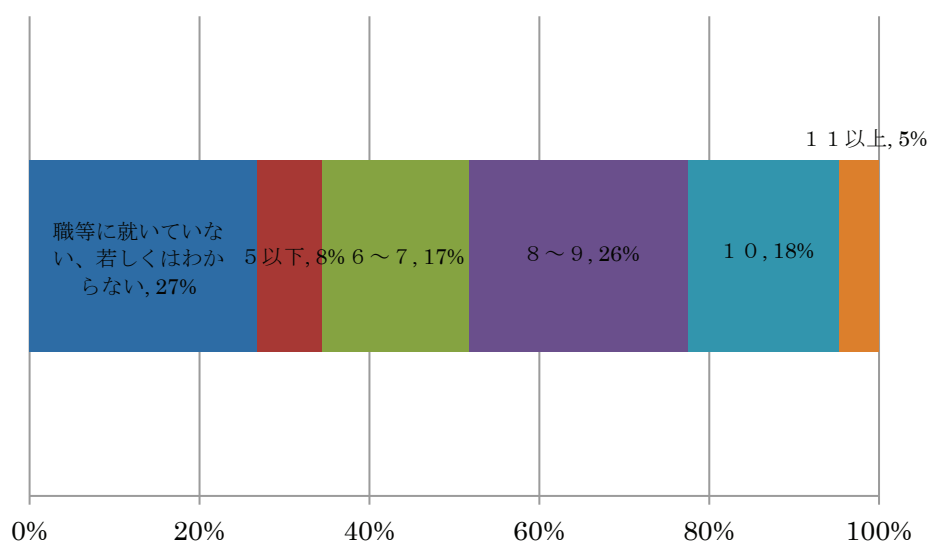
図表 14-5 東日本大震災による福島第一原子力発電所事故対応のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか



図表 14-6 地震や火山噴火の予測と対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか

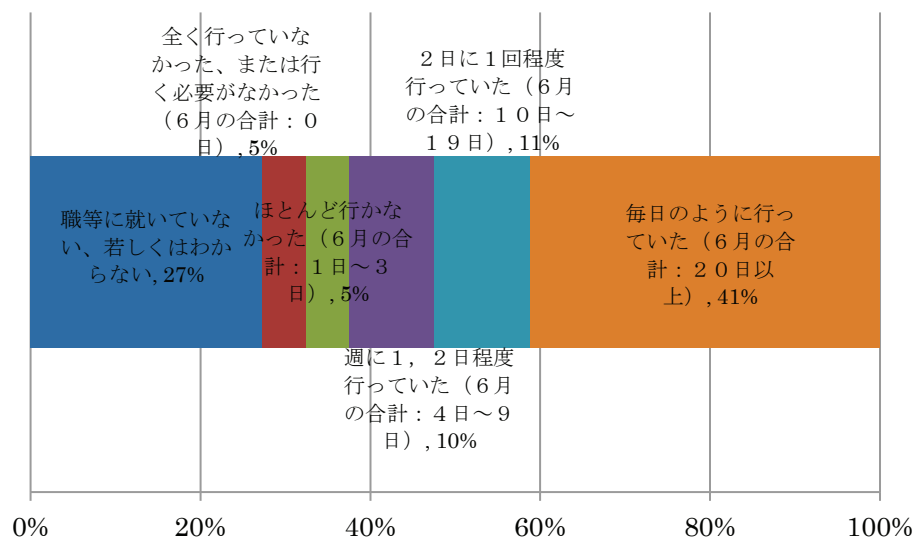


図表 14-7 東京一極集中を是正する地方創生対策のために、科学技術に関連して政府はなにをすればよいと思うか



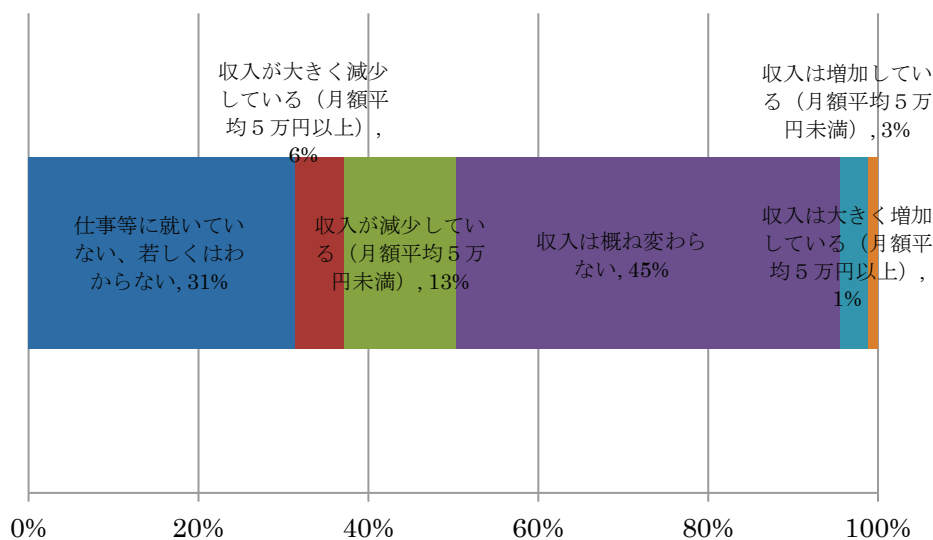
図表 15 新型コロナウイルス感染症の流行がなかった場合のあなたの業務や学業の生産性を 100 とすると、現在の業務や学業の生産性(労働や学習の時間当たりの成果や効果、効率)を自然数で表すなら、いくつになると考えられますか

新型コロナウイルス感染症の流行による業務や学業の生産性の低下を調べると(図表 15)、全体の過半数である 51% が 9 以下と回答しており、新型コロナウイルス感染症の流行による生産性の低下は著しいと考えられる。



図表 16 2021 年 6 月において職、学籍があった方にお尋ねします。あなたはどの程度職場や学校に行っていましたか

また、あなたはどの程度職場や学校に行っていたか尋ねたところ(図表 16)、毎日のように行っていた、が 41%と最多となる一方、2 日に 1 回程度以下として 31%が回答しており、リモートワークや遠隔学習の試みはある程度は定着してきたと思われる。

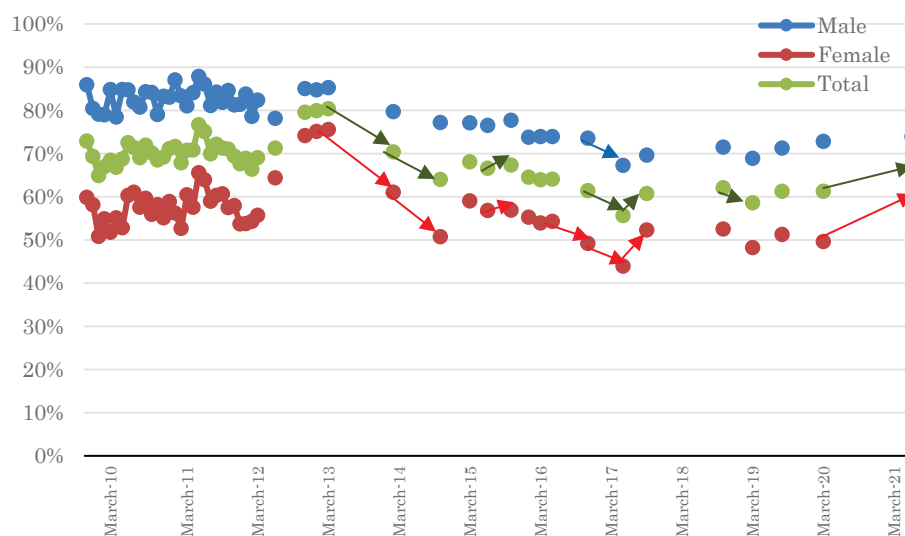


図表 17 「新型コロナウイルス」の流行および対応によって、あなたの仕事による収入はどのように変化しましたか

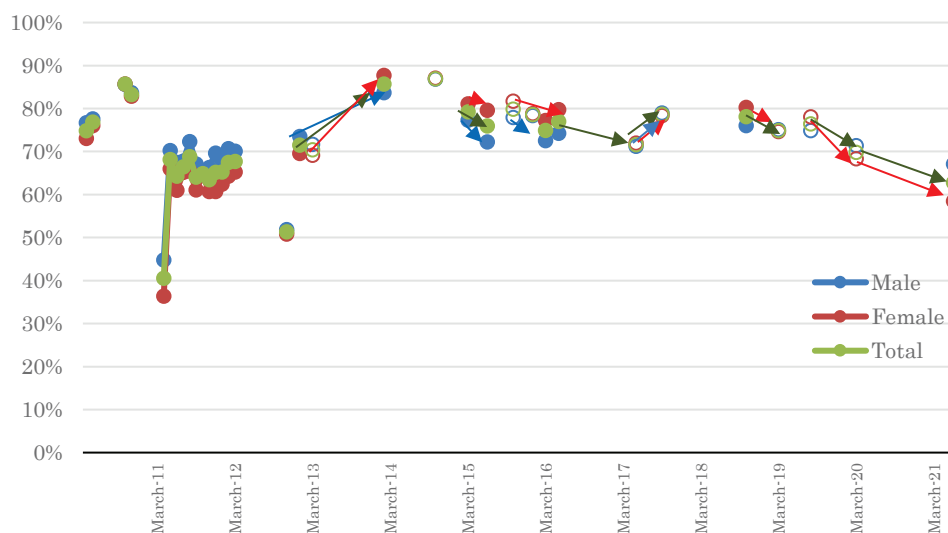
「新型コロナウイルス」の流行および対応によって、あなたの仕事による収入はどのように変化したかを訊いたところ(図表 17)、収入は概ね変わらないが最多で 45%を占める一方、収入が(大きく)減少している、が 19%に届いている。この値は予想よりも小さいものの、今後もコロナ禍の衰え

が見えない中、注視すべき変量であろう。

(4) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種以外の科学技術政策に関する変量について回答された割合



図表 18 科学技術関心度の性別変化<sup>2</sup>



図表 19 科学者の信頼度の性別変化

科学技術関心度(図表 18)は女性の関心増加により、全体増加している一方、科学者の信頼度(図表 19)は女性の信頼低下により、全体低下している。

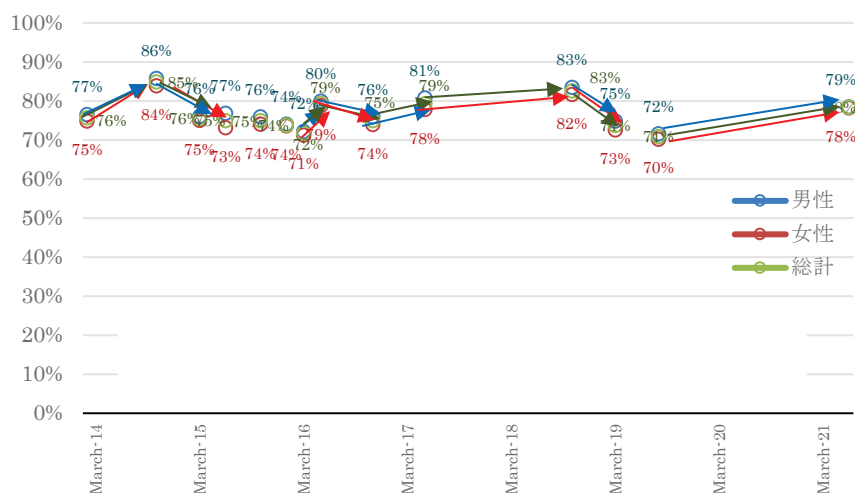
<sup>2</sup> 図の矢印は1%有意性水準による統計的仮説検定の結果、有意差が認められるもの。以下同じ。



特に科学者の信頼度に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う専門家間の意見の相違が見られた結果、どれを信じればよいか分からなくなって結果、信頼度の低下に結びついていると考えられる。同じような解釈が 2011 年 3 月の東日本大震災にも適用される可能性がある。



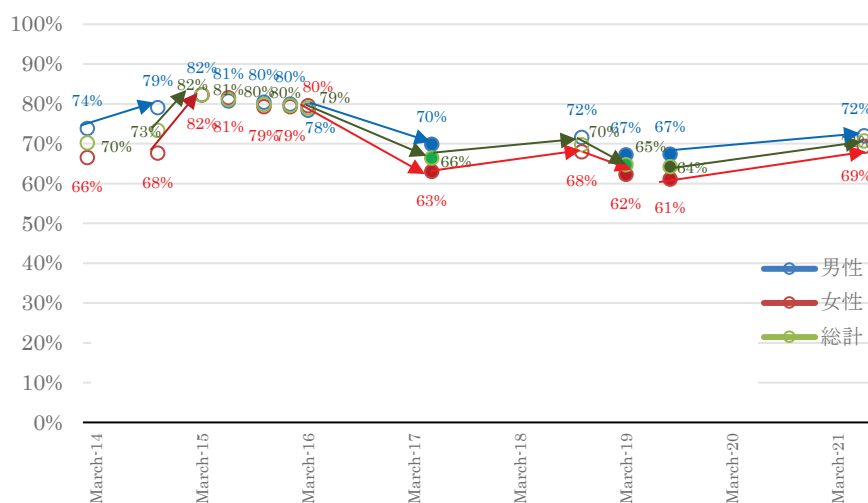
図表 20 科学技術発展をプラスとするかマイナスとするかの性別変化



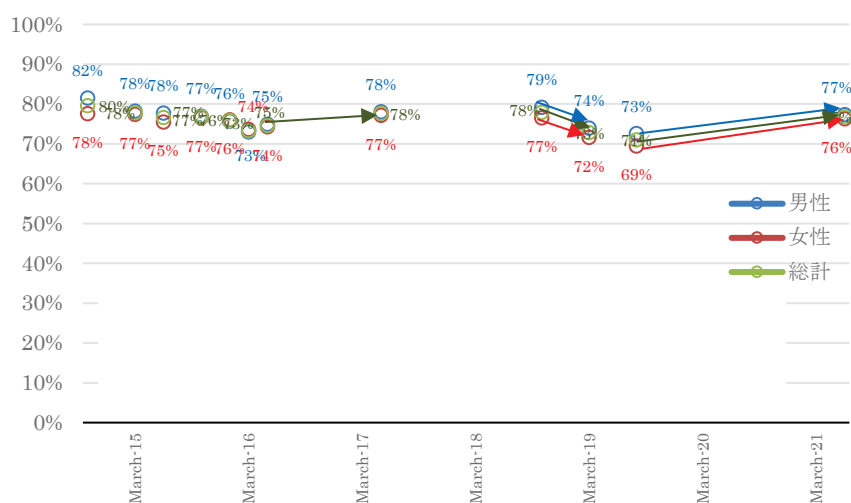
図表 21 科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになるの性別変化

科学技術発展をプラスとするかマイナスとするか(図表 20)では男女ともに特に変化がない一方、科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる(図表 21)では男女ともに増加傾向

にある。

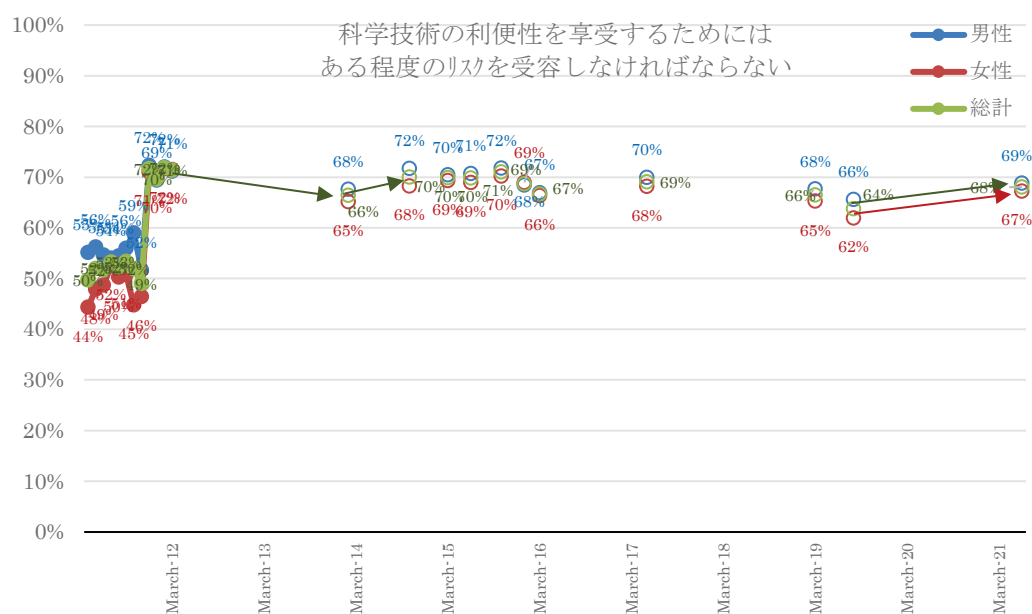


図表 22 日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことであるの性別変化

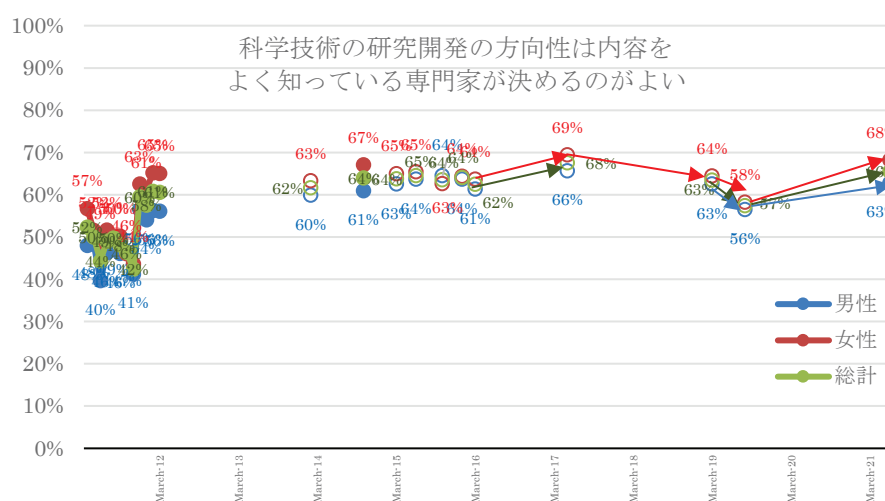


図表 23 たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべきの性別変化

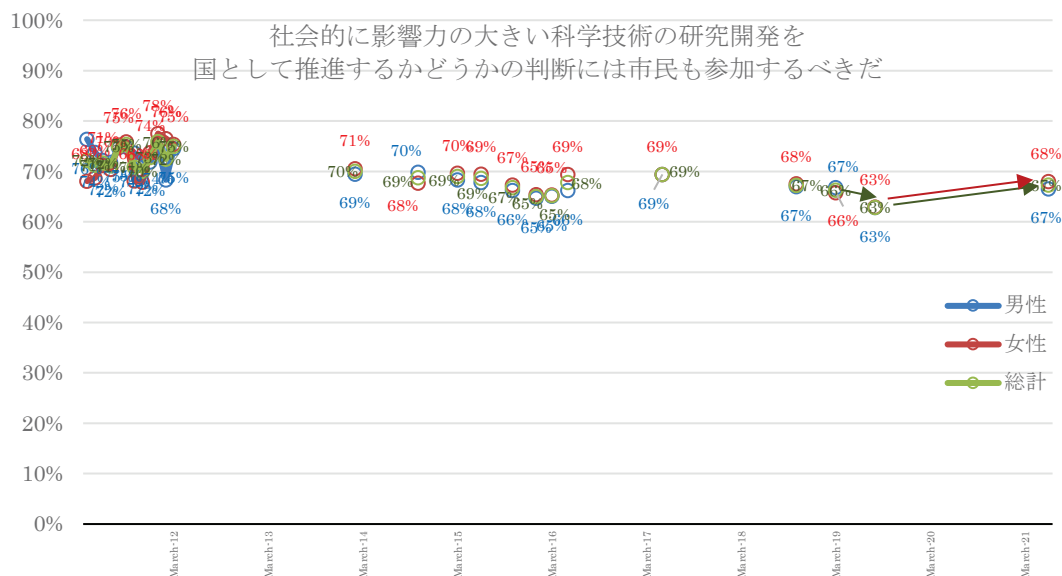
また、日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである(図表 22)では男女ともに増加傾向にあり、たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべき(図表 23)でも男女ともに増加傾向にある。



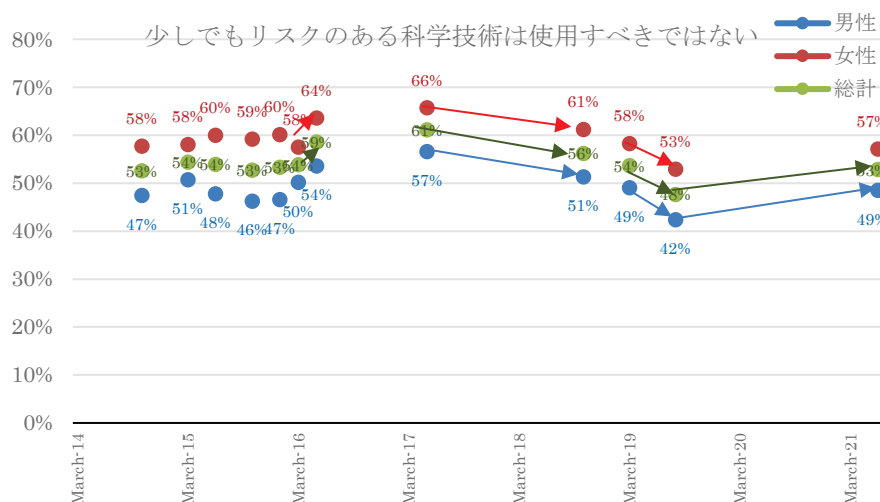
図表 24 科学技术の利便性を享受するためにはある程度のリスクを受容しなければならないの性別変化



図表 25 科学技术の研究開発の方向性は内容をよく知っている専門家が決めるのがよいの性別変化



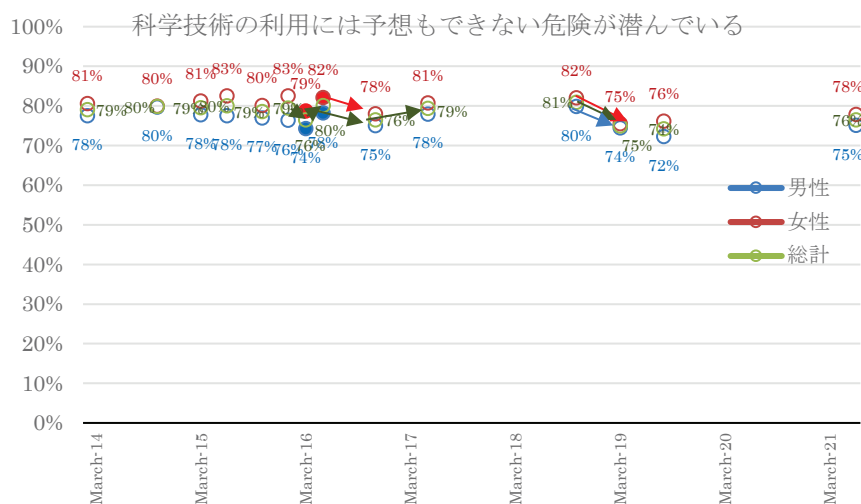
図表 26 社会的に影響力の大きい科学技術の研究開発を国として推進するかどうかの判断には市民も参加するべきだの性別変化



図表 27 少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではないの性別変化

一方、科学技術の利便性を享受するためにはある程度のリスクを受容しなければならない(図表 24)では、女性と全体が有意に増加しており、科学技術の研究開発の方向性は内容をよく知っている専門家が決めるのがよい(図表 25)は男女ともに増加している。社会的に影響力の大きい科学技術の研究開発を国として推進するかどうかの判断には市民も参加するべきだ(図表 26)では女性と全体が有意に増加している。少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない(図表 27)では男性と全体が増加している。以上から、全体的に低下傾向が見られないことから、意識の向上

傾向が見られると考えられる。女性の方が男性より意見の変化が顕著であることが見て取れるだろう。



図表 28 科学技術の利用には予想もできない危険が潜んでいるの性別変化

以下では、科学技術に対する関心として、どのような分野に関心を持っているのかを時系列で分析した。結果、多くの変量では、時間変化は見られなかったが、一部の変量に関しては前回観測時(19年8月)から有意な変化を観測できた。まとめると次のとおりである。

・男性のみ減少

地球温暖化や気候変動対策に関心がある

・全体のみ減少

少子高齢化社会対策に関心がある

・女性、全体が減少

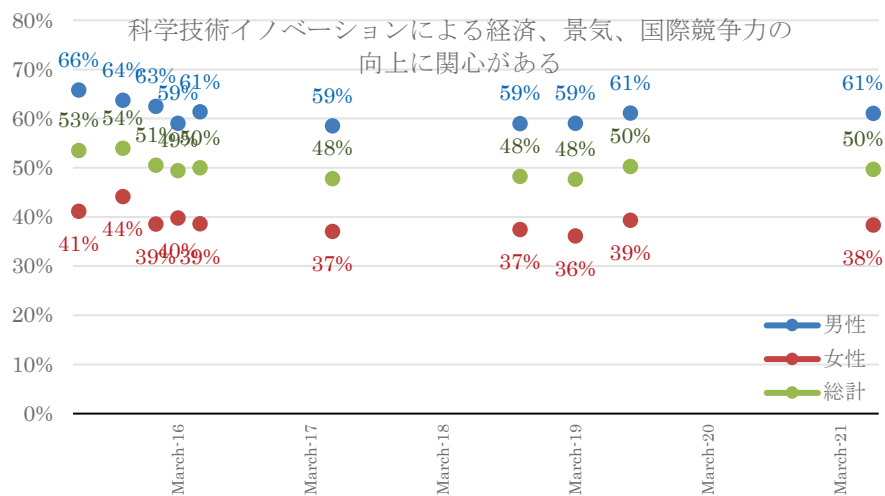
安全保障・テロ対策に関心がある

・男性、全体が減少

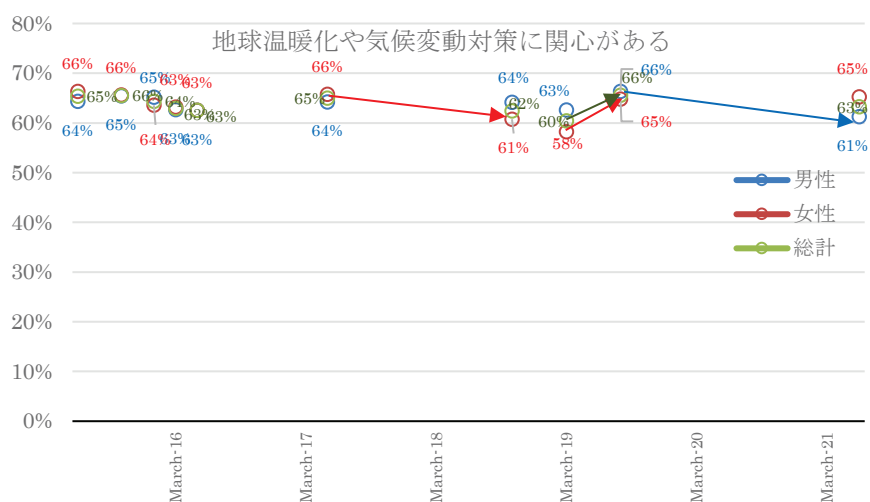
自然環境の保全に関心がある

以上のように、統計的に有意に減少している変量はあるが、増加している変量はない。

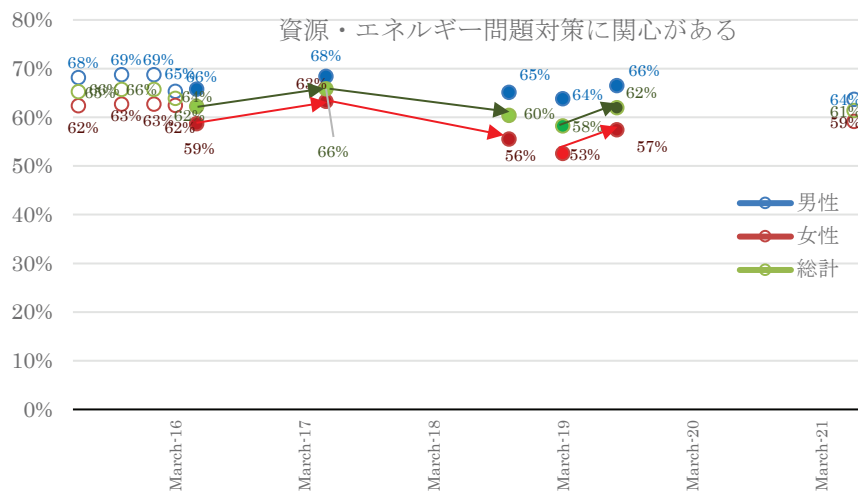
関心はイベントによって誘起される一方、時間的には指数関数的に減衰するモデルが提案されている。そのモデルに基づくと今回の調査期間の直前にはそういったイベントが起これなかったと考えられる。



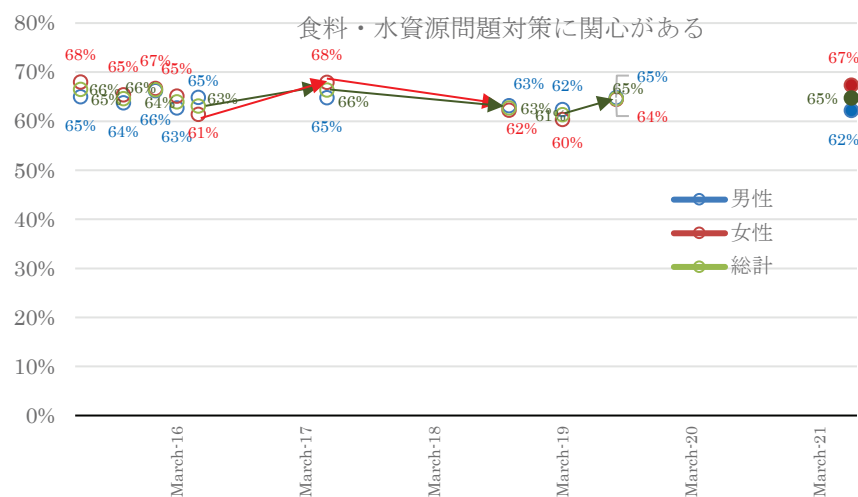
図表 29 科学技術イノベーションによる経済、景気、国際競争力の向上に関心があるの性別変化



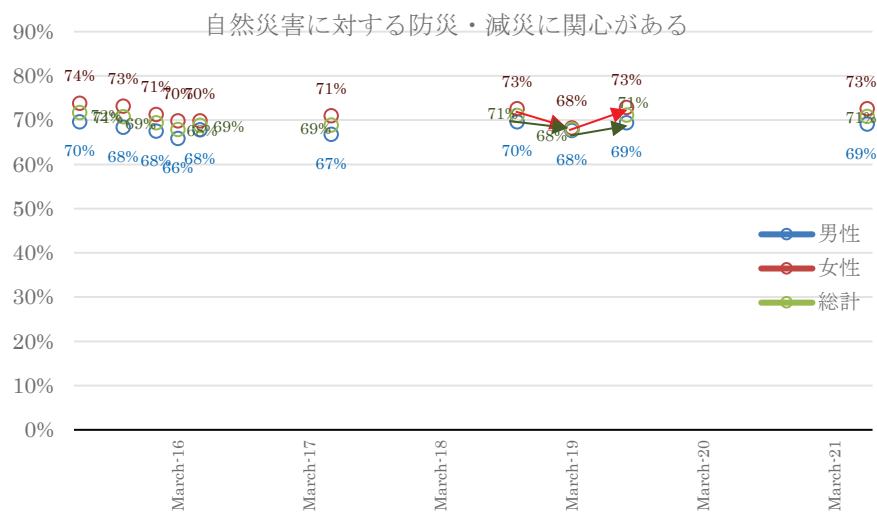
図表 30 地球温暖化や気候変動対策に関心があるの性別変化



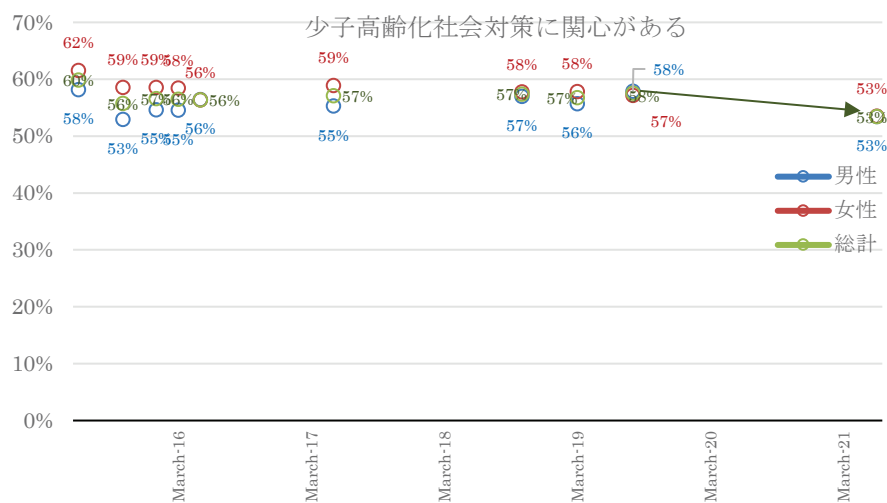
図表 31 資源・エネルギー問題対策に関心があるの性別変化



図表 32 食料・水資源問題対策に関心があるの性別変化

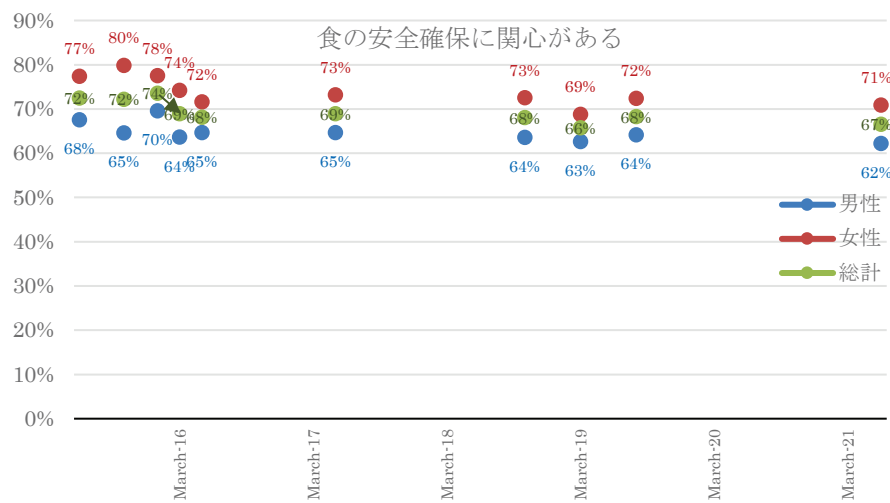


図表 33 自然災害に対する防災・減災に関心があるの性別変化

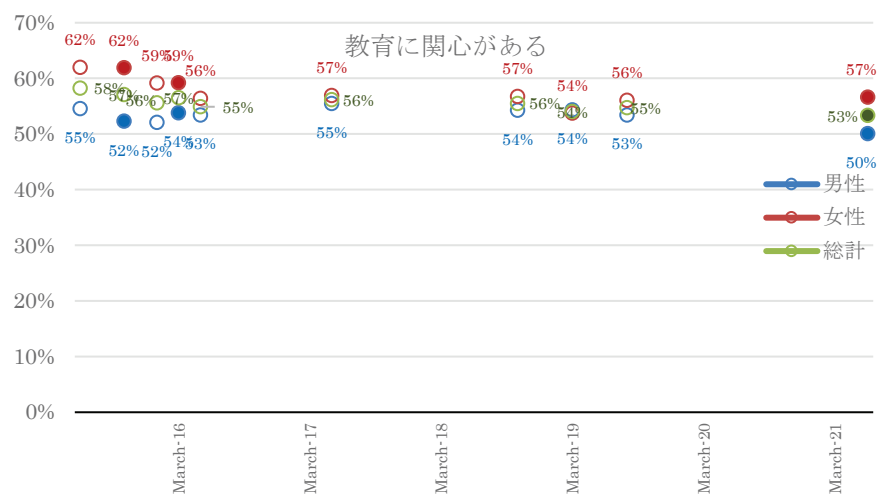


図表 34 少子高齢化社会対策に関心があるの性別変化

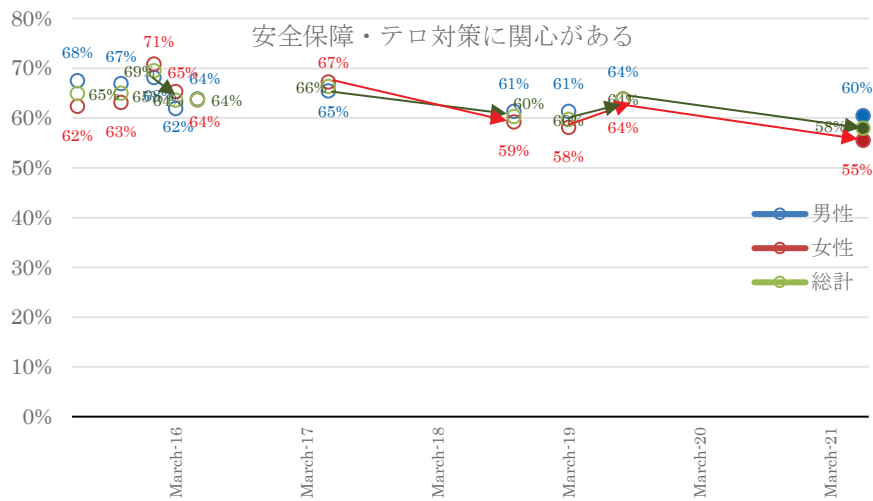




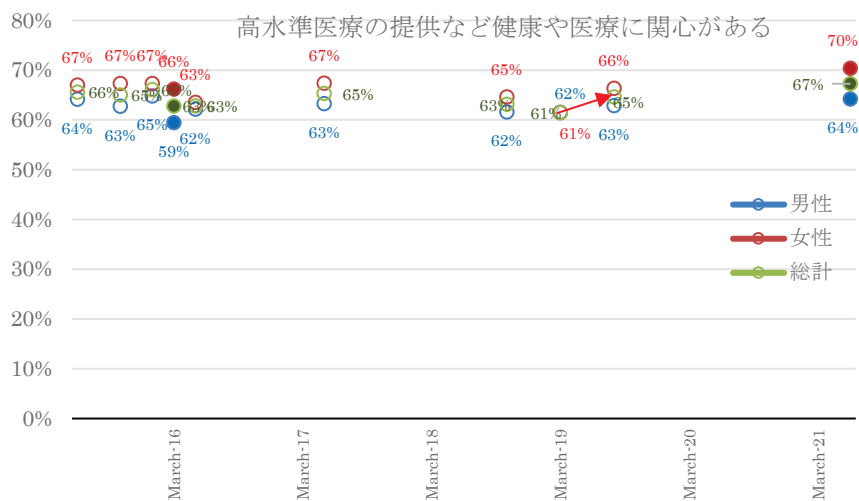
図表 35 食の安全確保に関心があるの性別変化



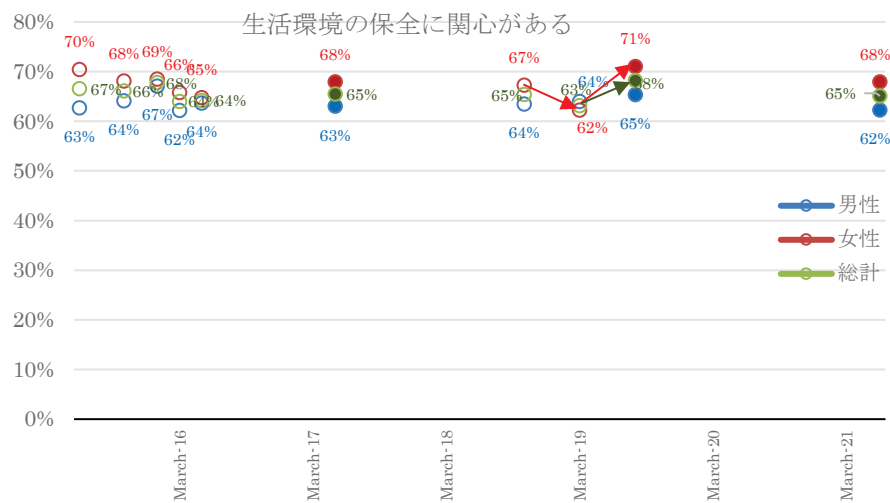
図表 36 教育に関心があるの性別変化



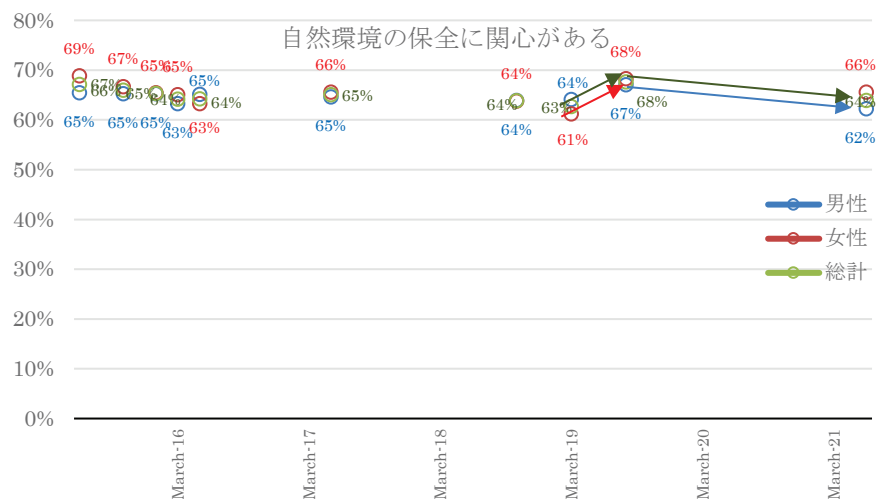
図表 37 安全保障・テロ対策に関心があるの性別変化



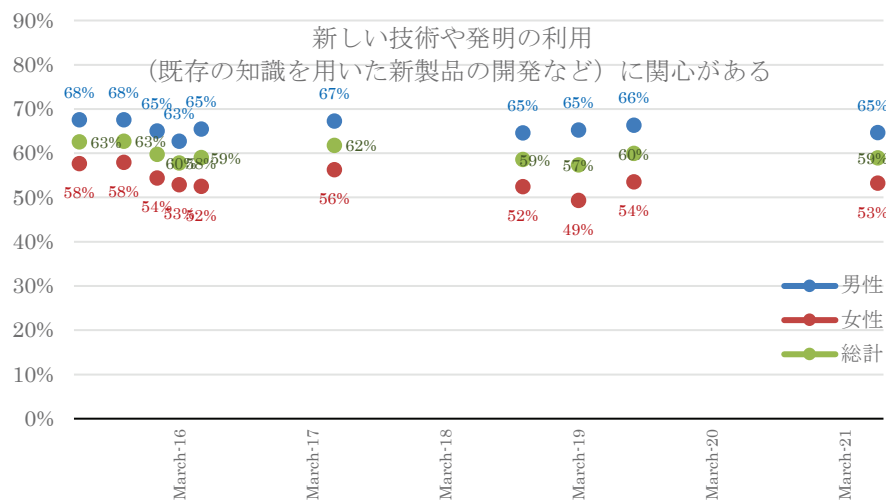
図表 38 高水準医療の提供など健康や医療に関心があるの性別変化



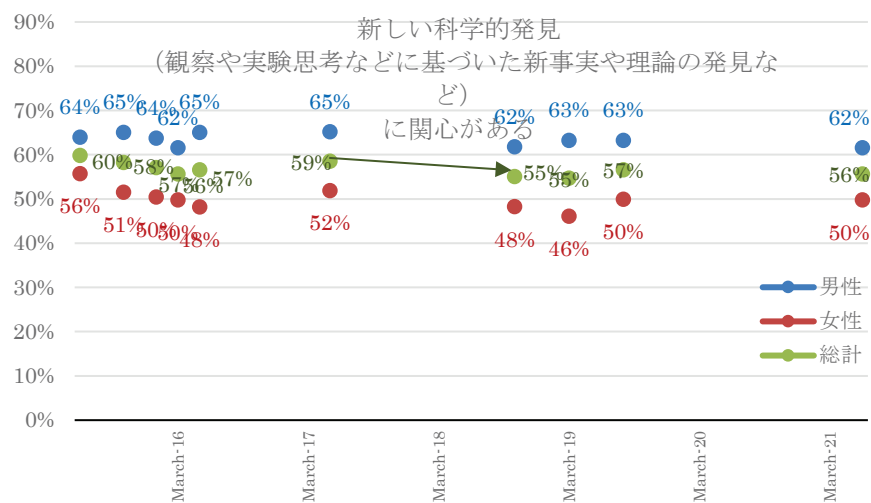
図表 39 生活環境の保全に関心があるの性別変化



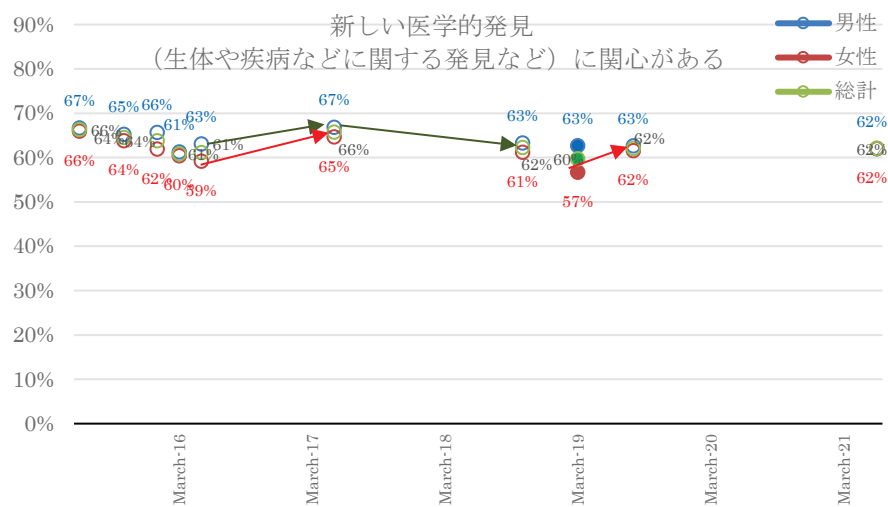
図表 40 自然環境の保全に関心があるの性別変化



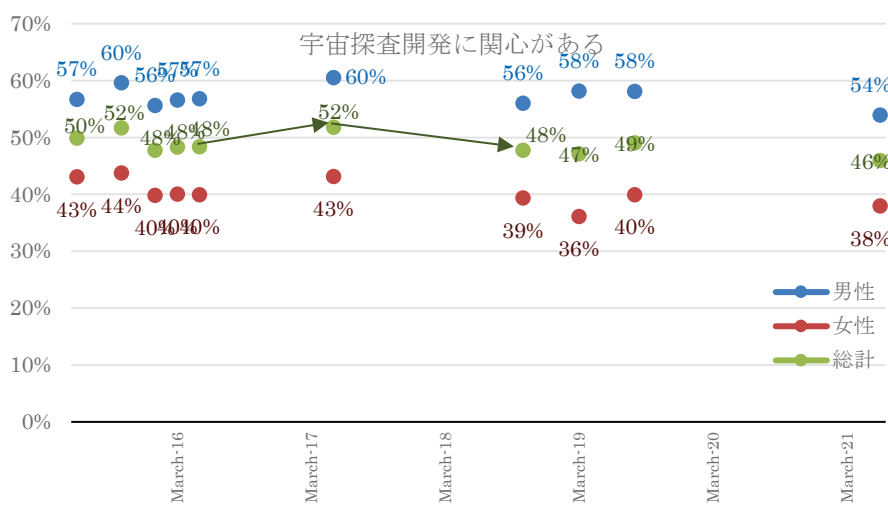
図表 41 新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)に関心があるの性別変化



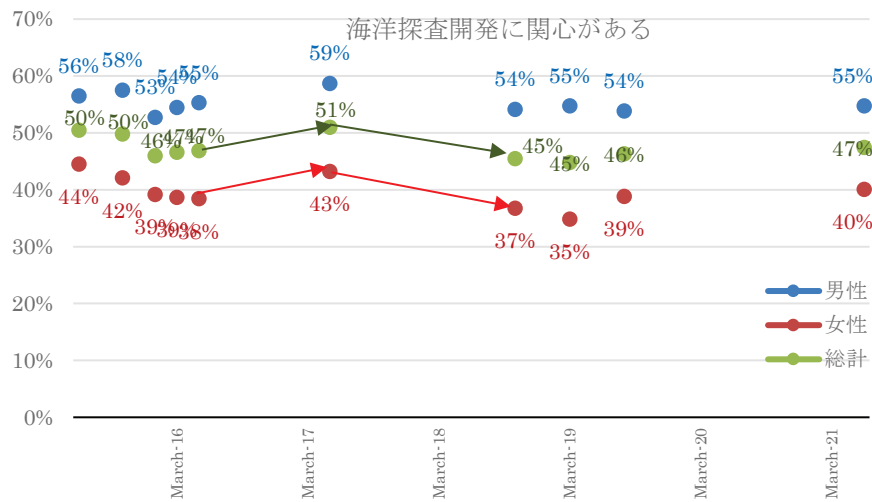
図表 42 新しい科学的発見(観察や実験思考などに基づいた新事実や理論の発見など)に関心があるの性別変化



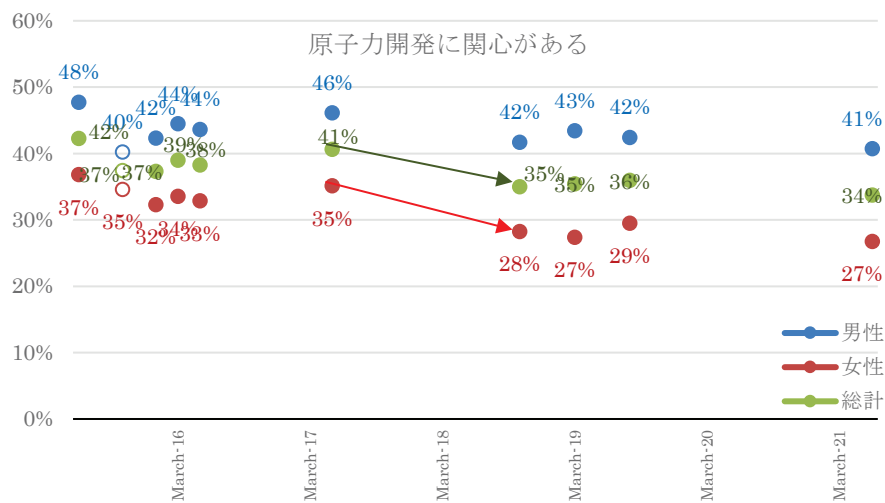
図表 43 新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)に関心があるの性別変化



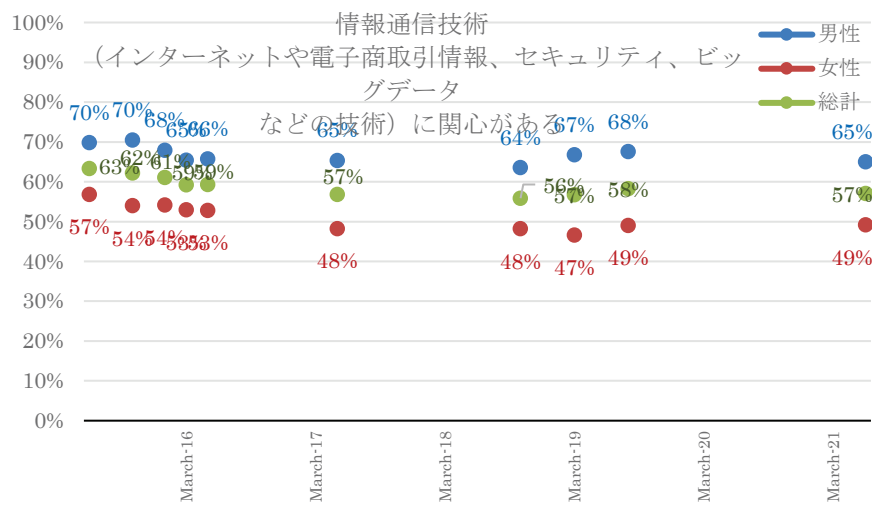
図表 44 宇宙探査開発に関心があるの性別変化



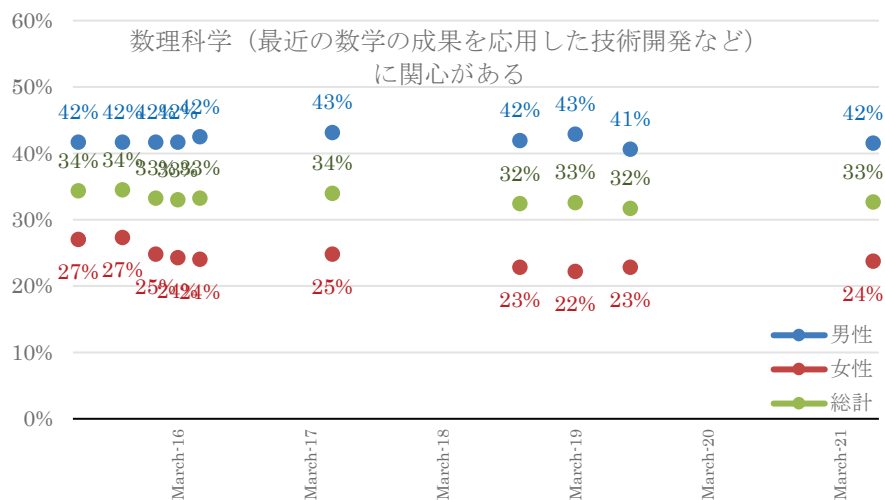
図表 45 海洋探査開発に関心があるの性別変化



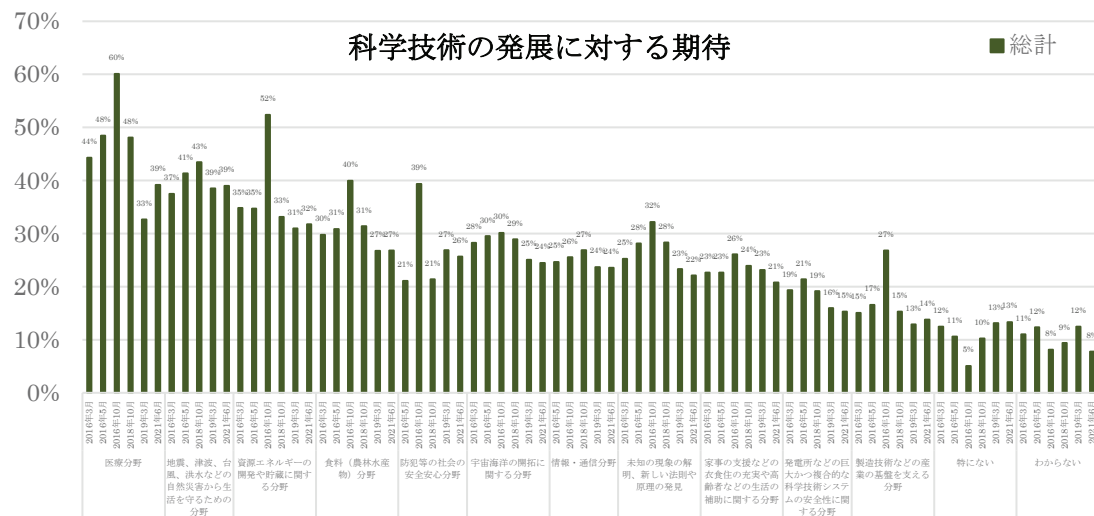
図表 46 原子力開発に関心があるの性別変化



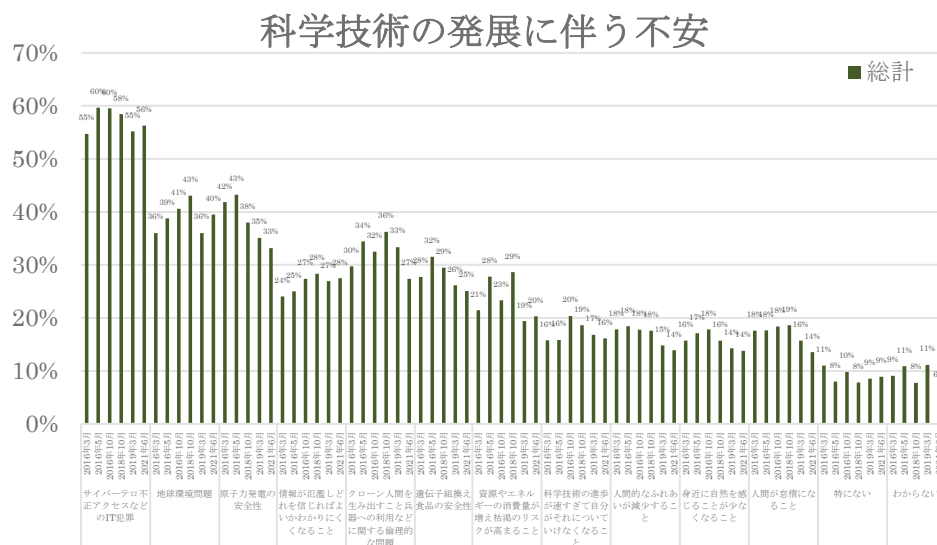
図表 47 情報通信技術(インターネットや電子商取引情報、セキュリティ、ビッグデータなどの技術)に関心があるの性別変化



図表 48 数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)に関心があるの性別変化



図表 49 科学技術の発展に対する期待

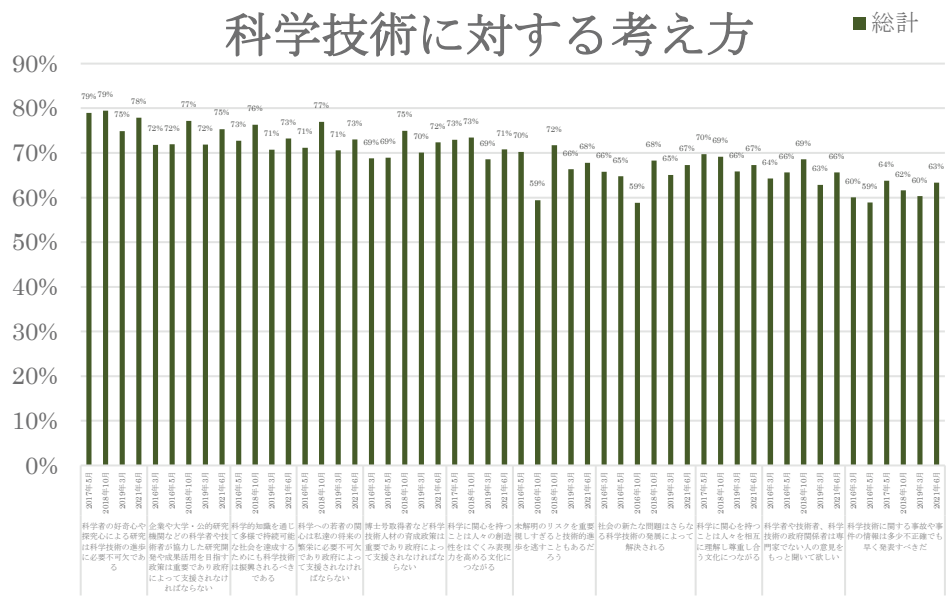


図表 50 科学技術の発展に伴う不安

また、科学技術の発展に対する期待(図表 49)と科学技術の発展に伴う不安(図表 50)を調べた。両図表中の変量の並びは左側から 2021 年 6 月調査の観測値が高い順となっている。有意性検定も行ったが、図表中に矢印を書き込むと大変煩い図表になってしまうため、両図表では検定結果を割愛した。科学技術の発展に対する期待では、医療分野(2021 年 6 月、39%)、自然災害から生活を守る分野(同、39%)、資源エネルギーの開発等の分野(同、32%)、食料(農林水産物)分野(同、27%)などへの期待が高くなっている。一方、科学技術の発展に伴う不安ではサイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪(2021 年 6 月、56%)が顕著に高く、地球環境問題(同、40%)、原子力発電の安全性(同、33%)、情報が氾濫しどれを信じればよいかかわりにくくなること(同、27%)などへの不安が高くなっている。



28%)などへの不安が高くなっている。



図表 51 科学技術に対する考え方

最後に、科学技術に対する考え方について問うた設問を整理した。ここでも期待・不安と同じく統計的仮説検定は行っているものの、視認性の問題から図表中に矢印を書かないでいる。また、変量の並びも 2021 年 6 月の観測値が高かったものから左に並べている。例えば、「科学者の好奇心や探求心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である」(2021 年 6 月、78%)、「企業や大学・公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり政府によって支援されなければならない」(同、75%)、「科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである」(同、73%)などとなっている。

4. おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。

5. 参考文献

[1] The State of Vaccine Confidence 2016: Global Insights Through a 67-Country Survey, Heidi J. Larson, PhD, Alexandre de Figueiredo, MS, Zhao Xiaohong, BS, William S. Schulz, MS, Pierre Verger, PhD, Iain G. Johnston, PhD, Alex R. Cook, PhD, Nick S. Jones, PhD, EBioMedicine 12 (2016) 295-301.

[2] どういう人々が新型コロナウイルスのワクチンを接種したがいらないか: インターネット調査における検証(改訂版), 関沢 洋一, 経済産業研究所, 橋本 空, ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション

ン株式会社, 越智 小枝, 東京慈恵会医科大学, 宗 未来, 東京歯科大学, 傳田 健三, 平松記念病院, RIETI Discussion Paper Series 21-J-026.

[3] 新型コロナウイルスワクチン忌避者は1割。忌避者の年齢・性別差、理由と関連する要因を明らかに: 日本初全国大規模インターネット調査より, 国立精神・神経医療研究センター(NCNP), 2021年6月25日, <https://www.ncnp.go.jp/topics/2021/20210625p.html>

[4] 新型コロナワクチンをすぐには接種しない人の理由と特徴ー「安全性への不安」「順番待ち・様子見」「面倒」「ワクチン不要」, 基礎研REPORT(冊子版)8月号[vol.293], 保険研究部 准主任 研究員・ヘルスケアリサーチセンター兼任 村松 容子, 「第4回新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」, <https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=68413?site=nli>

[5] 09 新型コロナウイルス感染症対策(ワクチン)に関する意識調査, (第60回)東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料(令和3年8月26日), <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/saigai/1013388/1014827.html>

[6] 特別寄稿, 予防接種: 公衆衛生事業としての意義とわが国の課題, 田中 政宏, 大阪府立成人病センターがん予防情報センター, 医療経済研究 Vol.22 No.1 2010, pp.5-29.

(インターネット調査質問票その1)

はじめに、あなた自身に関するアンケートにお答えいただき、  
その後で、科学技術に関する意識についてお尋ねします。  
回答所要時間は約30分です。

次へ

F1

あなたの性別をお答えください。

- ☐ 男性
- ☐ 女性

F2

あなたのお年は満でいくつですか。

歳

F3

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

--- ▼

F4

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)は、次のどれに当てはまりますか。

なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

- ☐ 中学校
- ☐ 高等学校、または専修学校高等課程
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 短期大学
- ☐ 専門学校、または専修学校専門課程
- ☐ 大学
- ☐ 専門職学位
- ☐ 大学院修士課程
- ☐ 大学院博士課程
- ☐ その他

F5

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。

なお、F4で「中学校」又は「高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「該当しない」をお選びください。

- ☐ 人文・社会科学系  
(政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など)
- ☐ 自然科学・工学系  
(数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など)
- ☐ スポーツ・文化芸術系(体育、音楽、美術、造形、デザインなど)
- ☐ その他
- ☐ 該当しない

#### 職種の分類

分類における注意事項又は具体的な職種の事例

(1) 農林漁業

農林漁業従事による収入を生計の主としている者

(2) 自営の商工サービス業

家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者

(3) 自由業

俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者

(4) 管理的職業

管理職の公務員(議会議員を含む)、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者

(5) 科学技術的職業

科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦(士)、栄養士、教員(大学等の教員)、その他の科学技術的職業に従事する者

(6) その他専門的・技術的職業

保育士、弁護士、会計士、教員(小・中・高の教員)、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者

(7) 事務的職業

総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者

(8) 労務的職業

生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者

(9) 販売的職業

百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者

(10) サービス的職業

家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者

(11) 保安的職業

自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者

(12) 家事

主婦、主として家事を務めている夫等

(13) 学生

学業を主としている者(アルバイト等による収入のある学生を含む)

(14) 無職

就職の希望を有している者

(15) 無職(退職等)

定年退職等により、就職の希望を有していない者

(16) その他

上記に該当しない者

F7

あなたの現在の職業(学生等を含む)は、次のどの分類に当てはまりますか。

- ☐ 農林漁業
- ☐ 自営の商工サービス業
- ☐ 自由業
- ☐ 管理的職業
- ☐ 科学技術的職業

- ☐ その他専門的・技術的職業
- ☐ 事務的職業
- ☐ 労務的職業
- ☐ 販売的職業
- ☐ サービス的職業
- ☐ 保安的職業
- ☐ 家事
- ☐ 学生
- ☐ 無職
- ☐ 無職(退職等)
- ☐ その他

F8

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。

次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- ☐ 同居している小学生未満の子どもがいる
- ☐ 同居している小学生の子どもがいる
- ☐ 同居している中学生の子どもがいる
- ☐ 同居している高校生(専修学校高等課程を含む)の子どもがいる
- ☐ 同居している大学生(高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む)の子どもがいる
- ☐ 同居している大学院生の子どもがいる
- ☐ 同居している社会人の子どもがいる
- ☐ 上記以外の同居している子どもがいる
- ☐ 同居している子どもはいない
- ☐ 子どもはいない

F9

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。

この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。

回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

郵便番号はこちら<<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>>から検索して入力してください。

-

Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きしたり、読んだり、利用したりしますか。

それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		ほぼ 毎日 のよう に	週 に 3 ～ 4 日 程 度	週 に 1 ～ 2 日 程 度	月 に 1 ～ 2 日 程 度	左 記 未 満	見 聞 き し な い / 読 ま な い / 利 用 し な い
1	新聞(印刷版)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	新聞(電子版)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	ラジオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	インターネット(新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	SNS(FacebookやTwitter、LINEなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	電子メール(ウェブメールを含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	一般向け書籍(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	週刊誌や情報誌など雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	専門書籍や論文雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q2

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。  
それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い
1	科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	地球温暖化や気候変動対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	資源・エネルギー問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	食料・水資源問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	自然災害に対する防災・減災	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	少子高齢化社会対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	食の安全確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	安全保障・テロ対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	予防措置や医療の提供など健康や医療	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い
11	生活環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	自然環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	新しい科学的発見(観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	新しい医学的発見(新たな疾病や治療薬などに関する発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	宇宙探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	海洋探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	原子力開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	情報通信技術(インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q3

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。  
この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつでもあげてください。(いくつでも)

- ☐ 未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見
- ☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野
- ☐ 地球環境の保全に関する分野
- ☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野
- ☐ 医療分野など生命に関する科学技術
- ☐ 食料(農林水産物)分野
- ☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野
- ☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野
- ☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野
- ☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野
- ☐ 情報・通信分野
- ☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野
- ☐ その他
- ☐ 特にない
- ☐ わからない

Q4

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。  
ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- ☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪
- ☐ 遺伝子組換え食品の安全性
- ☐ 原子力発電の安全性
- ☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること
- ☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題
- ☐ 身近に自然を感じる事が少なくなること
- ☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること
- ☐ 人間的なふれあいが減少すること
- ☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題
- ☐ 人間が怠惰になること
- ☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなること
- ☐ 人工知能(AI)などの発達により、人間の仕事が奪われること
- ☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部の人がしか恩恵を受けられないこと
- ☐ その他
- ☐ 特に不安を感じない
- ☐ わからない

Q5

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ 関心がない
- ☐ どちらかというと関心がない
- ☐ どちらかというと関心がある
- ☐ 関心がある

Q6

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ わからない
- ☐ 信頼できない
- ☐ どちらかという信頼できない
- ☐ どちらかという信頼できる
- ☐ 信頼できる

Q7

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ マイナス面が多い
- ☐ どちらかというマイナス面が多い
- ☐ 両方同じくらいである
- ☐ どちらかというプラス面が多い
- ☐ プラス面が多い

Q8

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。  
あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1	科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない
13	資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9

普段、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報をどこから得ていますか、又は得ようと思いますか。

当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- ☐ 新聞(電子版を含む)
- ☐ テレビ
- ☐ ラジオ
- ☐ 一般向け週刊誌や情報誌など雑誌(電子版を含む)
- ☐ 書籍、専門誌
- ☐ インターネット
- ☐ 国や地方の行政機関(保健所を含む)
- ☐ 国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関  
(国立感染症研究所、理化学研究所など)
- ☐ 科学館や博物館などの科学技術関連施設
- ☐ 講演会やシンポジウム、大学や研究機関のイベント
- ☐ 仕事を通じて
- ☐ 家族や友人、知人、職場の人の話
- ☐ その他
- ☐ 特にどこからも得ていない
- ☐ わからない

Q10

新型コロナウイルス感染症のワクチンの話題に関する情報の発信媒体、発信組織、発信者などの情報源について、どの程度信頼できますか。  
それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		信頼 できる	どちら かとい うと信 頼でき る	ど ちら かとい うと信 頼でき ない	信 頼 でき ない
1	新聞(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	ラジオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	一般向け書籍(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	週刊誌や情報誌など雑誌(電子版含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	専門書籍や論文雑誌(電子版含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	インターネット(電子掲示板やSNSを除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	電子掲示板やSNS(Facebook、Twitter、LINEなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	政治家(国会議員や地方議会議員など)や国会などの立法機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



		信頼 できる	どちら かとい うと信 頼でき る	どちら かとい うと信 頼でき ない	信 頼 でき ない
11	国や地方の行政機関(政府や自治体のテレビやインターネットでの広報や広報誌などを含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関(国立感染症研究所や理化学研究所など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	大学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	科学館や博物館など科学技術関連施設	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	学会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	科学者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	技術者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	家族や友人、知人、職場の人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	一般の個人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

#### Q11

あなたは、機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ 聞いてみたいとは思わない
- ☐ あまり聞いてみたいとは思わない
- ☐ できれば聞いてみたい
- ☐ 聞いてみたい

#### 1) 地球温暖化現象

米航空宇宙局(NASA)と米海洋大気局(NOAA)は、2014年の平均気温が1880年以降で最も高かったと発表した。

#### 2) スーパー台風や爆弾低気圧、ゲリラ豪雨など気象災害の予測と対策

スーパー台風とは、最大風速が毎秒51.4m～56.7m以上に相当する台風である。

爆弾低気圧とは急速に発達し、台風なみの暴風雨をもたらす低気圧のことである。

名古屋大などの研究グループは、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を用いて解析した結果、地球温暖化が進んだ今世紀後半には、スーパー台風の最大風速が約10～15メートル増大するとみられると発表した。

#### 3) 主に中国からのPM2.5の飛散の予測と対策

PM2.5とは、主に、燃焼で生じた煤、風で舞い上がった土壌粒子(黄砂など)、工場や建設現場で生じる粉塵のほか、排出ガスや、石油からの揮発成分が大気中で変質してできる、粒子径が概ね2.5 $\mu$ m以下の粒子などである。非常に粒子が細かいため、人体内の肺胞の中に入り込み、炎症反応や血液中に混入するなど健康への悪影響が大きいと考えられている。

#### 4) 新型コロナウイルス感染症、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策

新型コロナウイルス感染症については、水際での対策も講じてきているが、国内の地域で、感染経路が明らかではない患者が発生しており、一部地域には患者クラスター(集団)が把握されている状態になった。

一方、エボラ出血熱は、人類が発見したウイルスの中で最も危険なウイルスの1つとされ、2014年には西アフリカで大流行した。同年9月、国連の世界保健機関(WHO)は、感染者6263名、死亡者2917名と報告した。WHOは未報告例が多いことを認め、感染者の実数はその約2.5倍(1.5～2万)と推定されている。

#### 5) 東日本大震災による福島第一原子力発電所事故対応

2011年3月の東日本大震災後に、東京電力福島第一原子力発電所において、炉心溶融状態となりガス爆発が発生した。その後、炉心は冷却されており、現在、基準値未満に処理した冷却水の海洋放出や廃炉に向けた作業等が行われている。

2015年8月、国際原子力機関(IAEA)は本事故の最終報告書を発表した。報告書は、日本では原発は絶対安全であるとの思い込みがあったことにより大事故につながったと批判し、問題点などを列挙した。一方、原子力規制委員会の設置や、緊急事態への備えの強化等の改革は評価された。

#### 6) 地震や火山噴火の予測と対策

この10年間程で、阪神・淡路大震災(1995年1月)、新潟県中越地震(2004年10月)、東日本大震災(2011年3月)、熊本地震(2016年4月)など大きな地震が発生し、日本国民に甚大な被害を及ぼしてきた。

また、2014年、御嶽山(おんたけさん)が噴火し、登山客が災害に巻き込まれた。また、2015年には口永良部島(くちのえらぶじま)で、2016年には阿蘇山でも噴火が確認された。

#### 7) 東京一極集中を是正する地方創生対策

21世紀に入り、経済・政治・行政の効率性などのため、東京特別区への人口集中は一層進んできた。このままでは、東京圏以外の地方が衰退するだけでなく、自然災害やテロ等のリスクに脆弱な国となるなどの問題が指摘されている。2016年、文化庁を京都に全面的に移転するなど、政府の一部を地方に分散することを決定した。

#### Q12

あなたは、これらの事態の解決に向けて、科学技術に関連して、政府は何をすれば良いと思いますか。

それぞれについて、当てはまるものをいくつかもお選びください。(それぞれいくつでも)

		研究開発の推進	研究開発施設／機関／大学等の設置	法的規制／制度の新設／改変	法的規制／制度を守るよう指導監督の徹底	関係企業等に対する協力要請	一般の人への分かりやすい情報提供	当てはまるものはない
1	地球温暖化現象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	スーパー台風や爆弾低気圧、ゲリラ豪雨など自然災害の予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	主に中国からのPM2.5の飛散の予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	新型コロナウイルス感染症、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	東日本大震災による福島第一原子力発電所事故対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	地震や火山噴火の予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	東京一極集中を是正する地方創生対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### Q13

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いませんか。  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 接種した、または接種しようと思う
- ☐ どちらかという接種しようと思う
- ☐ どちらかという接種しようとは思わない
- ☐ 接種していない、または接種しようとは思わない



Q14

今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか。  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 接種しようと思う
- ☐ どちらかというと接種しようと思う
- ☐ どちらかというと接種しようとは思わない
- ☐ 接種しようとは思わない

Q15

将来、あなたはどのような新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種したいと思いますか。  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 外国産がよいと思う
- ☐ どちらかというと外国産がよいと思う
- ☐ 外国産でも国産でも構わない
- ☐ どちらかというと国産がよいと思う
- ☐ 国産がよいと思う

Q16

科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、どのような方法でそのような活動を促進したらよいと思いますか。  
この中から適切と思われる方法をいくつでもお選びください。(いくつでも)

- ☐ テレビやラジオなどの番組に出演して説明する
- ☐ 新聞に投稿したり、取材を受けて新聞紙上で説明する
- ☐ 雑誌に投稿する
- ☐ インターネット(SNSを除く)を利用して情報を発信する  
(研究機関や個人のホームページ上で説明するなど)
- ☐ SNS(Facebook、Twitter、LINEなど)を利用して情報を発信する
- ☐ 小学校や中学校、高校などに出向いて、授業や体験学習を開催する
- ☐ 公民館やホールなどで地域の一般の方を対象とした講演会やセミナーを開催する
- ☐ その他
- ☐ わからない

Q17

科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、以下の方法について、どの程度信頼できますか。  
それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選び下さい。(それぞれひとつずつ)

		信頼できる	どちらかという信頼できる	どちらかという信頼できない	信頼できない
1	テレビやラジオなどの番組に出演して説明する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	新聞に投稿したり、取材を受けて新聞紙上で説明する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	雑誌に投稿する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	インターネット(SNSを除く)を利用して情報を発信する (研究機関や個人のホームページ上で説明するなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	SNS(Facebook、Twitter、LINEなど)を利用して情報を発信する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	小学校や中学校、高校などに出向いて、授業や体験学習を開催する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	公民館やホールなどで地域の一般の方を対象とした講演会やセミナーを開催する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q18

新型コロナウイルス感染症の大規模発生などの緊急時にとるべき対策(国民の安全確保対策、その他の応急対策など)は、どのようなものであるべきと思われますか。  
あなたの考えに近いものを、この中から3つまでお選びください。(3つまで)

- ☐ 正確な科学的データや分析結果に基づいた対策であること
- ☐ 科学的に予測される最悪の事態に備えた対策であること
- ☐ 可能な限り迅速な対策であること
- ☐ 国民に安心感を与えるような対策であること
- ☐ 内容が明確で分かりやすい対策であること
- ☐ その他
- ☐ わからない

Q19

新型コロナウイルス感染症の対策の強化のためには、科学者や技術者はどのような研究に力を入れるべきだと思いますか。

あなたの考えに近いものを、この中から3つまであげてください。(3つまで)

- ☐ 大流行前の兆しを検知し、発生を予測できるような研究
- ☐ 大流行後に、その時々状況を早期に把握し、今後の展開を正確に予測できるような研究
- ☐ 大流行後に、情報の収集・伝達・共有や意志決定が円滑に行われ、対策要員や機材といったリソースが最大限有効に活用されることを支援するような研究
- ☐ 大流行してもその影響を極小化できたり、早期の回復が容易なシステムやネットワークの構築につながるような研究
- ☐ 回復の最適化・効率化のための研究
- ☐ 日夜対応に当たる救急隊員や医師、看護師や自治体職員などの健康対策に関する研究
- ☐ 障害者や高齢者等も含めて、個人の通信端末を活用した隔離を誘導する研究
- ☐ 既存の細分化された分野ごとの研究ばかりではなく、縦割りを排除した(領域横断的な)科学技術の研究
- ☐ その他
- ☐ わからない

Q20

新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。

それぞれについて、できるだけあなたの考えに近いものを1つお選びください。

これからの技術については将来使用できるようになった場合を考えてお答えください。

(それぞれひとつずつ)

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
1	新型コロナウイルス感染症のワクチンは私の仕事や生活に利便性をもたらす。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	新型コロナウイルス感染症のワクチンを利用するか否かは自分で決めることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	身近な人(上司、家族など)は新型コロナウイルス感染症のワクチンを自分が使用・活用することを期待している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	社会は新型コロナウイルス感染症のワクチンを自分が使用・活用することを期待している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	新型コロナウイルス感染症のワクチンに対して十分に情報が提供されている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	新型コロナウイルス感染症のワクチンを使用することは容易である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	新型コロナウイルス感染症のワクチンの摂取・接触・利用が不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	新型コロナウイルス感染症のワクチンは自分や家族の健康に悪い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	新型コロナウイルス感染症のワクチンにより人間が怠惰になる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	新型コロナウイルス感染症のワクチンにより人間的なふれあいが減少する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	新型コロナウイルス感染症のワクチンの開発が早すぎて、自分がそれについていけなくなる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
12	新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及により、人間の仕事が奪われる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	新型コロナウイルス感染症のワクチンにより地球温暖化や自然環境破壊などが起こる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	新型コロナウイルス感染症のワクチンにより資源やエネルギーの無駄遣いが増える。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	新型コロナウイルス感染症のワクチンにより身近に自然を感じる事が少なくなる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	新型コロナウイルス感染症のワクチンは倫理的側面が不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	新型コロナウイルス感染症のワクチンがプライバシーを侵害する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	新型コロナウイルス感染症のワクチンの責任の所在が明らかでない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	新型コロナウイルス感染症のワクチンによる犯罪が増加する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	新型コロナウイルス感染症のワクチンの複雑なシステムが不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	新型コロナウイルス感染症のワクチンの情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用は社会的に好ましい技術である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を積極的に受け入れる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q21

あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか？

次の選択肢から回答してください。(上位2つまで選択)(2つまで)

- ☐ ワクチンが多くの人々に普及すること
- ☐ 社会システム(規制、インフラ)が整うことなどにより、ワクチンの効果を自分が実感できるようになること
- ☐ ワクチンの安全性を明確に理解できるようになること
- ☐ ワクチンの有用性が明確に理解できるようになること
- ☐ ワクチンの十分な説明が行われること
- ☐ コストパフォーマンスに優れること
- ☐ 公衆衛生の観点から公共のためにワクチンを接種するという意識を持つこと
- ☐ わからない

Q22

あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか。(上位2つまで選択)(2つまで)

- ☐ 国や自治体など行政から
- ☐ 企業・技術開発者から
- ☐ 大学や研究機関の科学者・専門家から
- ☐ 技術をすでに利用しているユーザーから
- ☐ 友人や家族など身近な人から
- ☐ 俳優やタレントなど親しみやすい人から
- ☐ わからない

Q23

新型コロナウイルス感染症の流行がなかった場合のあなたの業務や学業の生産性を10とすると、現在の業務や学業の生産性(労働や学習の時間当たりの成果や効果、効率)を自然数で表すなら、いくつになると考えられますか？

- ☐ 職等に就いていない、若しくはわからない
- ☐ 5以下
- ☐ 6～7
- ☐ 8～9
- ☐ 10
- ☐ 11以上

Q24

2021年6月において職、学籍があった方にお尋ねします。  
あなたはどの程度職場や学校に行っていましたか。

- ☐ 職等に就いていない、若しくはわからない
- ☐ 全く行っていなかった、または行く必要がなかった(6月の合計:0日)
- ☐ ほとんど行かなかった(6月の合計:1日～3日)
- ☐ 週に1,2日程度行っていた(6月の合計:4日～9日)
- ☐ 2日に1回程度行っていた(6月の合計:10日～19日)
- ☐ 毎日のように行っていた(6月の合計:20日以上)

Q25

「新型コロナウイルス」の流行および対応によって、あなたの仕事による収入はどのように変化しましたか。

- ☐ 仕事等に就いていない、若しくはわからない
- ☐ 収入が大きく減少している(月額平均5万円以上)
- ☐ 収入が減少している(月額平均5万円未満)
- ☐ 収入は概ね変わらない
- ☐ 収入は増加している(月額平均5万円未満)
- ☐ 収入は大きく増加している(月額平均5万円以上)

(インターネット調査質問票その2)

**Q1.**

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きたり、読んだり、利用したりしますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	ほぼ毎日のように	週に3〜4日程度	週に1〜2日程度	月に1〜2日程度	左記未満	見聞きしない／読まない／利用しない
新聞（印刷版）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新聞（電子版）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ラジオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネット（新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SNS（FacebookやTwitter、LINEなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電子メール（ウェブメールを含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
一般向け書籍（電子版を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
週刊誌や情報誌など雑誌（電子版を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門書籍や論文雑誌（電子版を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q2.**

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない
科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地球温暖化や気候変動対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資源・エネルギー問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食料・水資源問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然災害に対する防災・減災	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少子高齢化社会対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食の安全確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安全保障・テロ対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
予防措置や医療の提供など健康や医療	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生活環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい技術や発明の利用（既存の知識を用いた新製品の開発など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい科学的発見（観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい医学的発見（新たな疾病や治療薬などに関する発見など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
宇宙探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
海洋探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
原子力開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報通信技術（インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
数理科学（最近の数学の成果を応用した技術開発など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q3.**

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつかあげてください。

（いくつでも）【必須】

未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見

- ☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野
- ☐ 地球環境の保全に関する分野
- ☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野
- ☐ 医療分野など生命に関する科学技術
- ☐ 食料（農林水産物）分野
- ☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野
- ☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野
- ☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野
- ☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野
- ☐ 情報・通信分野
- ☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野
- ☐ その他
- ☐ 特にない
- ☐ わからない

**Q4.**

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつでもお選びください。

(いくつでも) 【必須】

- ☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪
- ☐ 遺伝子組換え食品の安全性
- ☐ 原子力発電の安全性
- ☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること
- ☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題
- ☐ 身近に自然を感じる事が少なくなる事
- ☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること
- ☐ 人間的なふれあいが減少すること
- ☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題
- ☐ 人間が怠惰になること
- ☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなる事
- ☐ 人工知能（AI）などの発達により、人間の仕事が奪われること
- ☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部のしか恩恵を受けられないこと
- ☐ その他
- ☐ 特に不安を感じない
- ☐ わからない

**Q5.**

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 関心がある
- ☐ どちらかというと関心がある
- ☐ どちらかというと関心がない
- ☐ 関心がない

**Q6.**

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 信頼できる
- ☐ どちらかというと信頼できる
- ☐ どちらかというと信頼できない
- ☐ 信頼できない
- ☐ わからない



Q7.

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ プラス面が多い
- ☐ どちらかというとプラス面が多い
- ☐ 両方同じくらいである
- ☐ どちらかというとマイナス面が多い
- ☐ マイナス面が多い

Q8.

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	そう思わない
科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	そう思わない
科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9.

普段、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報をどこから得ていますか、又は得ようと思いますか。当てはまるものをいくつでもお選びください。

(いくつでも) 【必須】



- ☐ 新聞（電子版を含む）
- ☐ テレビ
- ☐ ラジオ
- ☐ 一般向け週刊誌や情報誌など雑誌（電子版を含む）
- ☐ 書籍、専門誌
- ☐ インターネット
- ☐ 国や地方の行政機関（保健所を含む）
- ☐ 国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関（国立感染症研究所、理化学研究所など）
- ☐ 科学館や博物館などの科学技術関連施設
- ☐ 講演会やシンポジウム、大学や研究機関のイベント
- ☐ 仕事を通じて
- ☐ 家族や友人、知人、職場の人の話
- ☐ その他
- ☐ 特にどこからも得ていない
- ☐ わからない

Q10.

新型コロナウイルス感染症のワクチンの話題に関する情報の発信媒体、発信組織、発信者などの情報源について、どの程度信頼できますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	信頼できる	どちらかというと信頼できる	どちらかというと信頼できない	信頼できない
新聞（電子版を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ラジオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
一般向け書籍（電子版を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
週刊誌や情報誌など雑誌（電子版含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門書籍や論文雑誌（電子版含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネット（電子掲示板やSNSを除く）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電子掲示板やSNS（Facebook、Twitter、LINEなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
政治家（国会議員や地方議会議員など）や国会などの立法機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国や地方の行政機関（政府や自治体のテレビやインターネットでの広報や広報誌などを含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関（国立感染症研究所や理化学研究所など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	信頼できる	どちらかというと信頼できる	どちらかというと信頼できない	信頼できない
科学館や博物館など科学技術関連施設	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
技術者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族や友人、知人、職場の人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
一般の個人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q11.**

あなたは、機会があれば、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 聞いてみたい
- ☐ できれば聞いてみたい
- ☐ あまり聞いてみたいとは思わない
- ☐ 聞いてみたいとは思わない

**1) 地球温暖化現象**

米航空宇宙局（NASA）と米海洋大気局（NOAA）は、2014年の平均気温が1880年以降で最も高かったと発表した。

**2) スーパー台風や爆弾低気圧、ゲリラ豪雨など気象災害の予測と対策**

スーパー台風とは、最大風速が毎秒51.4m～56.7m以上に相当する台風である。

爆弾低気圧とは急速に発達し、台風なみの暴風雨をもたらす低気圧のことである。

名古屋大などの研究グループは、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を用いて解析した結果、地球温暖化が進んだ今世紀後半には、スーパー台風の最大風速が約10～15メートル増大するとみられると発表した。

### 3) 主に中国からのPM2.5の飛散の予測と対策

PM2.5とは、主に、燃焼で生じた煤、風で舞い上がった土壌粒子（黄砂など）、工場や建設現場で生じる粉塵のほか、排出ガスや、石油からの揮発成分が大気中で変質してできる、粒子径が概ね2.5μm以下の粒子などである。非常に粒子が細かいため、人体内の肺胞の中に入り込み、炎症反応や血液中に混入するなど健康への悪影響が大きいと考えられている。

### 4) 新型コロナウイルス感染症、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策

新型コロナウイルス感染症については、水際での対策も講じてきているが、国内の地域で、感染経路が明らかではない患者が発生しており、一部地域には患者クラスター（集団）が把握されている状態になった。

一方、エボラ出血熱は、人類が発見したウイルスの中で最も危険なウイルスの1つとされ、2014年には西アフリカで大流行した。同年9月、国連の世界保健機関（WHO）は、感染者6263名、死亡者2917名と報告した。WHOは未報告例が多いことを認め、感染者の実数はその約2.5倍（1.5～2万）と推定されている。

### 5) 東日本大震災による福島第一原子力発電所事故対応

2011年3月の東日本大震災後に、東京電力福島第一原子力発電所において、炉心溶融状態となりガス爆発が発生した。その後、炉心は冷却されており、現在、基準値未満に処理した冷却水の海洋放出や廃炉に向けた作業等が行われている。

2015年8月、国際原子力機関（IAEA）は本事故の最終報告書を発表した。報告書は、日本では原発は絶対安全であるとの思い込みがあったことにより大事故につながったと批判し、問題点などを列挙した。一方、原子力規制委員会の設置や、緊急事態への備えの強化等の改革は評価された。

### 6) 地震や火山噴火の予測と対策

この10年間で、阪神・淡路大震災（1995年1月）、新潟県中越地震（2004年10月）、東日本大震災（2011年3月）、熊本地震（2016年4月）など大きな地震が発生し、日本国民に甚大な被害を及ぼしてきた。

また、2014年、御嶽山（おんたけさん）が噴火し、登山客が災害に巻き込まれた。また、2015年には口永良部島（くちのえらぶじま）で、2016年には阿蘇山でも噴火が確認された。

### 7) 東京一極集中を是正する地方創生対策

21世紀に入り、経済・政治・行政の効率性などのため、東京特別区への人口集中は一層進んできた。このままでは、東京圏以外の地方が衰退するだけでなく、自然災害やテロ等のリスクに脆弱な国となるなどの問題が指摘されている。2016年、文化庁を京都に全面的に移転するなど、政府の一部を地方に分散することを決定した。

**Q12.**

あなたは、これらの事態の解決に向けて、科学技術に関連して、政府は何をすれば良いと思いますか。それぞれについて、当てはまるものをいくつでもお選びください。



(横にそれぞれいくつでも) 【必須】

	研究開発の推進	研究開発施設／機関／大学等の設置	法的規制／制度の新設／改変	法的規制／制度を守るよう指導監督の徹底	関係企業等に対する協力要請	一般の人への分かりやすい情報提供	当てはまるものはない
地球温暖化現象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スーパー台風や爆弾低気圧、ゲリラ豪雨など自然災害の予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
主に中国からのPM2.5の飛散の予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染症、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
東日本大震災による福島第一原子力発電所事故対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地震や火山噴火の予測と対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
東京一極集中を是正する地方創生対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**Q13.**

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が進んでいますが、今回の接種に関し、あなたは接種した、または接種しようと思いますか。当てはまるものを一つお選びください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 接種した、または接種しようと思う
- ☐ どちらかという接種しようと思う
- ☐ どちらかという接種しようとは思わない
- ☐ 接種していない、または接種しようとは思わない

**Q14.**

今後、新型コロナウイルス感染症のワクチンを定期的に接種することになった場合、将来にわたり継続的に、あなたは接種しようと思いますか。当てはまるものを一つお選びください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 接種しようと思う
- ☐ どちらかという接種しようと思う
- ☐ どちらかという接種しようとは思わない
- ☐ 接種しようとは思わない

**Q15.**

将来、あなたはどのような新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種したいと思いますか。当てはまるものを一つお選びください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 外国産がよいと思う
- ☐ どちらかという外国産がよいと思う
- ☐ 外国産でも国産でも構わない
- ☐ どちらかという国産がよいと思う
- ☐ 国産がよいと思う

**Q16.**

科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、どのような方法でそのような活動を促進したらよいと思いますか。この中から適切と思われる方法をいくつでもお選びください。

(いくつでも) 【必須】

- ☐ テレビやラジオなどの番組に出演して説明する
- ☐ 新聞に投稿したり、取材を受けて新聞紙上で説明する
- ☐ 雑誌に投稿する
- ☐ インターネット（SNSを除く）を利用して情報を発信する（研究機関や個人のホームページ上で説明するなど）
- ☐ SNS（Facebook、Twitter、LINEなど）を利用して情報を発信する
- ☐ 小学校や中学校、高校などに出向いて、授業や体験学習を開催する
- ☐ 公民館やホールなどで地域の一般の方を対象とした講演会やセミナーを開催する
- ☐ その他
- ☐ わからない



Q17.

科学者や学会、科学者が所属する研究機関や大学などが、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を積極的に社会へ発信しようとする場合、以下の方法について、どの程度信頼できますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選び下さい。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	信頼できる	どちらかという信頼できる	どちらかという信頼できない	信頼できない
テレビやラジオなどの番組に出演して説明する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新聞に投稿したり、取材を受けて新聞紙上で説明する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雑誌に投稿する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネット（SNSを除く）を利用して情報を発信する（研究機関や個人のホームページ上で説明するなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SNS（Facebook、Twitter、LINEなど）を利用して情報を発信する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学校や中学校、高校などに出向いて、授業や体験学習を開催する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
公民館やホールなどで地域の一般の方を対象とした講演会やセミナーを開催する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q18.

新型コロナウイルス感染症の大規模発生などの緊急時にとるべき対策（国民の安全確保対策、その他の応急対策など）は、どのようなものであるべきと思われますか。あなたの考えに近いものを、この中から3つまでお選びください。

(3つまで選択可) 【必須】

- ☐ 正確な科学的データや分析結果に基づいた対策であること
- ☐ 科学的に予測される最悪の事態に備えた対策であること
- ☐ 可能な限り迅速な対策であること
- ☐ 国民に安心感を与えるような対策であること
- ☐ 内容が明確で分かりやすい対策であること
- ☐ その他
- ☐ わからない

Q19.

新型コロナウイルス感染症の対策の強化のためには、科学者や技術者はどのような研究に力を入れるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを、この中から3つまであげてください。

(3つまで選択可) 【必須】

- ☐ 大流行前の兆しを検知し、発生を予測できるような研究
- ☐ 大流行後に、その時々状況を早期に把握し、今後の展開を正確に予測できるような研究
- ☐ 大流行後に、情報の収集・伝達・共有や意思決定が円滑に行われ、対策要員や機材といったリソースが最大限有効に活用されることを支援するような研究
- ☐ 大流行してもその影響を極小化できたり、早期の回復が容易なシステムやネットワークの構築につながるような研究
- ☐ 回復の最適化・効率化のための研究
- ☐ 日夜対応に当たる救急隊員や医師、看護師や自治体職員などの健康対策に関する研究
- ☐ 障害者や高齢者等も含めて、個人の通信端末を活用した隔離を誘導する研究
- ☐ 既存の細分化された分野ごとの研究ばかりではなく、縦割りを排除した（領域横断的な）科学技術の研究
- ☐ その他
- ☐ わからない

Q20.

新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。それぞれについて、できるだけあなたの考えに近いものを1つお選びください。これからの技術については将来使用できるようになった場合を考えてお答えください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない
新型コロナウイルス感染症のワクチンは私の仕事や生活に利便性をもたらす。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンを利用するか否かは自分で決めることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
身近な人（上司、家族など）は新型コロナウイルス感染症のワクチンを自分が使用・活用することを期待している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



	そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない	わからない
社会は新型コロナウイルス感染症のワクチンを自分が使用・活用することを期待している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンに対して十分に情報が提供されている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンを使用することは容易である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの摂取・接触・利用が不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンは自分や家族の健康に悪い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンにより人間が怠惰になる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンにより人間的なふれあいが減少する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの開発が早すぎて、自分がそれについていけなくなる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの普及により、人間の仕事が奪われる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンにより地球温暖化や自然環境破壊などが起こる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンにより資源やエネルギーの無駄遣いが増える。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンにより身近に自然を感じる事が少なくなる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンは倫理的側面が不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンがプライバシーを侵害する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの責任の所在が明らかでない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンによる犯罪が増加する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの複雑なシステムが不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用は社会的に好ましい技術である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を積極的に受け入れる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q21.**

あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか？次の選択肢から回答してください（上位2つまでを選択）。

（2つまで選択可）【必須】

- ☐ ワクチンが多くの人々に普及すること
- ☐ 社会システム（規制、インフラ）が整うことなどにより、ワクチンの効果を自分が実感できるようになること
- ☐ ワクチンの安全性を明確に理解できるようになること
- ☐ ワクチンの有用性が明確に理解できるようになること
- ☐ ワクチンの十分な説明が行われること
- ☐ コストパフォーマンスに優れること
- ☐ 公衆衛生の観点から公共のためにワクチンを接種するという意識を持つこと
- ☐ わからない

**Q22.**

あなたが新型コロナウイルス感染症のワクチンの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか（上位2つまでを選択）。

（2つまで選択可）【必須】

- ☐ 国や自治体など行政から
- ☐ 企業・技術開発者から
- ☐ 大学や研究機関の科学者・専門家から
- ☐ 技術をすでに利用しているユーザーから
- ☐ 友人や家族など身近な人から
- ☐ 俳優やタレントなど親しみやすい人から
- ☐ わからない

**Q23.**

新型コロナウイルス感染症の流行がなかった場合のあなたの業務や学業の生産性を10とすると、現在の業務や学業の生産性（労働や学習の時間当たりの成果や効果、効率）を自然数で表すなら、いくつになると考えられますか？

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 11以上
- ☐ 10
- ☐ 8～9
- ☐ 6～7
- ☐ 5以下
- ☐ 職等に就いていない、若しくはわからない

**Q24.**

2021年6月において職、学籍があった方にお尋ねします。あなたはどの程度職場や学校に行っていましたか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 毎日のように行っていた (6月の合計 : 20日以上)
- ☐ 2日に1回程度行っていた (6月の合計 : 10日~19日)
- ☐ 週に1, 2日程度行っていた (6月の合計 : 4日~9日)
- ☐ ほとんど行かなかった (6月の合計 : 1日~3日)
- ☐ 全く行っていなかった、または行く必要がなかった (6月の合計 : 0日)
- ☐ 職等に就いていない、若しくはわからない

**Q25.**

「新型コロナウイルス」の流行および対応によって、あなたの仕事による収入はどのように変化しましたか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 収入は大きく増加している (月額平均5万円以上)
- ☐ 収入は増加している (月額平均5万円未満)
- ☐ 収入は概ね変わらない
- ☐ 収入が減少している (月額平均5万円未満)
- ☐ 収入が大きく減少している (月額平均5万円以上)
- ☐ 仕事等に就いていない、若しくはわからない

**F1.**

あなたの性別をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 男性
- ☐ 女性

**F2.**

あなたの年齢をお知らせください。

【必須】

歳

**F3.**

あなたのお住まいをお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

(回答を選択してください) ▼

**F4.**

あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）は、次のどれに当てはまりますか。なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 中学校
- ☐ 高等学校、または専修学校高等課程
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 短期大学
- ☐ 専門学校、または専修学校専門課程
- ☐ 大学
- ☐ 専門職学位
- ☐ 大学院修士課程
- ☐ 大学院博士課程
- ☐ その他

**F5.**

あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。なお、F4で「1. 中学校」又は「2. 高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「5. 該当しない」をお選びください。

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 人文・社会科学系（政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など）
- ☐ 自然科学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など）
- ☐ スポーツ・文化芸術系（体育、音楽、美術、造形、デザインなど）
- ☐ その他
- ☐ 該当しない

**F6.**

あなたの現在の職業（学生等を含む）は、次のどの分類に当てはまりますか。

（ひとつだけ）【必須】

職種の分類	分類における注意事項又は具体的な職種の事例
(1)農林漁業	農林漁業従事による収入を生計の主としている者
(2)自営の商工サービス業	家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者
(3)自由業	俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者
(4)管理的職業	管理職の公務員(議会議員を含む)、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者
(5)科学技術的職業	科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦(士)、栄養士、教員(大学等の教員)、その他の科学技術的職業に従事する者
(6)その他専門的・技術的職業	保育士、弁護士、会計士、教員(小・中・高の教員)、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・芸芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者
(7)事務的職業	総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者
(8)労務的職業	生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者
(9)販売的職業	百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲介人、その他の販売的職業に従事する者
(10)サービスの職業	家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者
(11)保安的職業	自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者
(12)家事	主婦、主として家事を務めている夫等
(13)学生	学業を主としている者(アルバイト等による収入のある学生を含む)
(14)無職	就職の希望を有している者
(15)無職(退職等)	定年退職等により、就職の希望を有していない者
(16)その他	上記に該当しない者

- (1) 農林漁業
- ☐ (2) 自営の商工サービス業
- ☐ (3) 自由業
- ☐ (4) 管理的職業
- ☐ (5) 科学技術的職業
- ☐ (6) その他専門的・技術的職業
- ☐ (7) 事務的職業
- ☐ (8) 労務的職業
- ☐ (9) 販売的職業
- ☐ (10) サービス的職業
- ☐ (11) 保安的職業
- ☐ (12) 家事
- ☐ (13) 学生
- ☐ (14) 無職
- ☐ (15) 無職（退職等）
- ☐ (16) その他

**F7.**

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。

（いくつでも） **【必須】**

- ☐ 同居している小学生未満の子どもがいる
- ☐ 同居している小学生の子どもがいる
- ☐ 同居している中学生の子どもがいる
- ☐ 同居している高校生（専修学校高等課程を含む）の子どもがいる
- ☐ 同居している大学生（高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む）の子どもがいる
- ☐ 同居している大学院生の子どもがいる
- ☐ 同居している社会人の子どもがいる
- ☐ 上記以外の同居している子どもがいる
- ☐ 同居している子どもはいない
- ☐ 子どもはいない

**F8.**

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

**【必須】**

郵便番号 左（3桁）

郵便番号 右（4桁）

DISCUSSION PAPER No.201

科学技術に関する国民意識調査－新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について－

2021 年 9 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所  
第1調査研究グループ  
細坪護孝、加納圭、星野利彦

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階  
TEL: 03-3581-2395 FAX: 03-3503-3996

Public Attitudes to Science and Technology - About vaccination of new coronavirus infection -

September 2021

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei, HOSHINO Toshihiko  
1st Policy-Oriented Research Group  
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)  
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan

<http://doi.org/10.15108/dp201>





<https://www.nistep.go.jp>